E30HT

取扱説明書

READ THIS MANUAL TO MASTER
THE CELLULAR PHONE

www.au.kddi.com

ごあいさつ

このたびは、E30HTをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

オンラインマニュアルのご利用について
E30HTに付属する『取扱説明書』(本書)は、オンラインマニュアルでもご用意しております。
auホームページでは以下のマニュアルがご利用いただけます。
- 『取扱説明書』のダウンロード
(http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html)

For Those Requiring an English/Chinese Instruction Manual
英語版・中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

English/Chinese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版/中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

E30HTをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- E30HTは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。

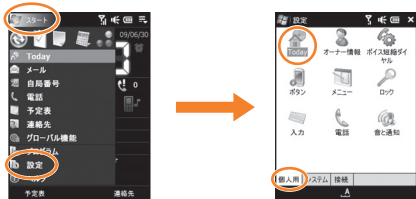
本書の使いかた

操作手順の表記について

■項目選択

以下の例のように選択する項目名やタブ名、アイコンの名称などは括弧で示しています。

<例>

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[Today] をタップ

■TouchFLO

以下の例のようにタッチスクリーンでの操作を説明しています。

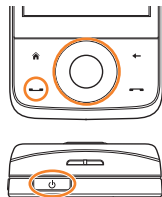
タッチスクリーンを軽く左右にスライドすると、前後の静止画に切り替わります。

■ボタン

以下の例のように名称で説明しています。(各部の名称については、「各部の名称・機能と周辺機器について」(▶P.20)をご参照ください。)

通話ボタンを押す

ナビゲーションコントロールの上下ボタンを押す

電源ボタンを長押しする

memo

◎本書では「microSD™メモリカード(市販品)」の名称を、本文中は「microSDメモリカード」と省略しています。

◎本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

◎本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

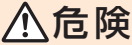
◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本商品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
◎ 『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本商品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Bluetooth®およびワイヤレスLANに関するご注意

本機の使用周波数帯は、電子レンジなどの家電製品、産業・科学・医療用機器、工場の製造ラインなどで使用される免許が必要な移動体識別構内無線局、免許を必要としない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」)が利用しています。
◎ 本機を使用する前に、その周囲で「他の無線局」が利用されていないことをご確認ください。
◎ 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合、すぐに使用場所を変更するか、電源を切るなど電波干渉を解消するように対処してください。
◎ 不明な点その他お困りのことが起きたときは、auショップまでお問い合わせください。

■ 周波数帯について

Bluetooth®およびワイヤレスLAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機の本体ラベルに以下の表記で記載されています。

2.4:周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。
FH/DS/OF:変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1:想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■ :2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

◎ 本機のBluetooth®通信機能には、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetooth®による通信を行うときは十分ご注意ください。
◎ Bluetooth®を使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。Bluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
◎ ワイヤレスLAN機能は日本国内でご使用ください。ワイヤレスLAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために必ずお読みください。

- この「安全上のご注意」にはE30HTを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容」を示しています。
注意	この表示は「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1重傷 ： 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害 ： 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3物的損害 ： 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	行ってはいけない(禁止)内容を示しています。		水に濡らしてはいけない(禁止)内容を示しています。
	分解してはいけない(禁止)内容を示しています。		必ず実行していただく(強制)内容を示しています。
	濡れた手で扱ってはいけない(禁止)内容を示しています。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ E30HT本体、au ICカード、電池パック、充電用機器、USBイヤホン共通

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
E30HT専用周辺機器
電池パック(30HTUAA)、ACアダプタ(30HTPQA)、USBイヤホン(30HTQWA)、USBケーブル(30HTHUA)

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

ミニUSB端子やその他接続端子をショートさせないでください。また、ミニUSB端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にau電話の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。

分解や改造、お客様による修理などをしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりau電話・車両などに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに電源プラグ、電池パックを抜いてください。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、修理ができません。

ミニUSB端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

au電話が落下などにより破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる所、極端に低温になる所、湿気やほこりの多い所に保管しないでください。変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息したり、傷害などの原因となる場合があります。

湿気の多い場所で使用しないでください。身に着けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。

使用中に煙が出たり、異臭がする、異常な音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、充電中であれば、充電用機器のACアダプタをコンセントから抜き、冷えたのを確認してから電源を切り電池パックを外して、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

外部から電源が供給されている状態のE30HT本体・電池パック・充電用機器に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

金属製のストラップやアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に電池パックの端子、特にコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
電池パックカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックカバーを外したまま使用しないでください。

■E30HT本体について

自動車・オートバイ・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・オートバイ運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。電源をお切りください。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことを守ってください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーから22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源を切ってください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は携帯電話の電源を切ってください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くではE30HTの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、音楽を聴くときは周囲の安全をご確認ください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

フラッシュライトを目に近付けて点灯させないでください。また、フラッシュライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にフラッシュライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車などの運転者に向けてフラッシュライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不可能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師とご相談ください。

万一、タッチスクリーン部分やカメラのレンズを破損した場合は、au電話の露出した部分や割れた破片にご注意ください。

⚠注意　**必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときにはすぐに使用をやめ、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

使用箇所	使用素材	表面処理
本体ベゼル	ポリカーボネート	ノンコンダクティブ蒸着／アクリル系UV硬化塗装処理
本体ケース	ポリカーボネート	ノンコンダクティブ蒸着／アクリル系UV硬化塗装処理
電池フタ	ポリカーボネート＋ABS樹脂	ノンコンダクティブ蒸着／アクリル系UV硬化塗装処理
タッチスクリーン	ポリエチレン	ノンコンダクティブ蒸着／アクリル系UV硬化塗装処理
ディスプレイ背面部	ポリカーボネート＋ABS樹脂／ステンレス	アクリル系UV硬化塗装処理
ホームボタン／戻るボタン／終了ボタン	ポリカーボネート	ノンコンダクティブ蒸着／アクリル系UV硬化塗装処理
ナビゲーションコントロール／Enterボタン	ポリカーボネート	ノンコンダクティブ蒸着／アクリル系UV硬化塗装処理
QWERTYキーボード／QWERTYキーボード周辺部	ポリカーボネート	–
カメラプレート	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
スタイラス	先端と後部：POM樹脂 本体：銅	クロムメッキ

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びた物を近付けたり、挟んだりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

ミニUSB端子やmicroSDメモリカードスロットに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。

ハンドストラップなどを持って振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因となることがあります。また、ヒモが傷付いているなど、傷んだストラップは取り付けないでください。

携帯電話本体の吸着物にご注意ください。受話口やスピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口やスピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。au電話のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。

ワイヤレスLAN機能は日本国内でご使用ください。au電話のワイヤレスLAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。

E30HTは受話口とスピーカーの位置が近いため、着信音やアラーム音などが耳の近くで鳴ることがあります。通話後はすぐに耳から離すなど、注意してご使用ください。また、待受中も受話口・スピーカーを耳に近付けるときはご注意ください。着信音やアラーム音などが鳴り始める場合があります。耳の近くで大きな音が発生すると聴力に悪影響を与えることがありますので、ご注意ください。

スタイラスの取り付け、取り外しの際、手や指を傷付ける場合があります。ご注意ください。

■電池パックについて

（E30HTの電池パックはリチウムイオン電池です）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。
なお、リチウムイオン電池の取り扱いについては、『取扱説明書』または電池パック（30HTUAA）（別売）の『取扱説明書』をご参照ください。

⚠危険 **誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

電池パックをE30HT本体（や充電機器）に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部を十分にご確認ください。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレス・ヘアピン）などと接続端子が触れないようにビニール袋などに入れてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり破損や漏液した電池パックは使用しないでください。発火・発熱・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を負うおそれがあるのですぐに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗った後、すぐに医師の診断を受けてください。

漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

同梱のACアダプタはAC100Vから240Vまで対応しています。指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。（家庭用交流コンセントのみに接続してください。）

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだACアダプタや緩んだコンセントは使用しないでください。

電源コードを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

ミニUSB端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電やショートの原因となります。また、電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに電源プラグを抜いてください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

充電用機器のご使用につきまして、皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質、体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。au電話が外れたり、火災や故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

au電話本体から電池パックを外した状態でACアダプタを差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■USBイヤホン

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車や自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生などには使用しないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴の原因となる場合があります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

USBイヤホンをE30HT電話本体に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると、耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏み切りや横断歩道などで交通事故の原因となります。

USBイヤホンのご使用につきまして、皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。長時間使用した場合やお客様の体質、体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

■au ICカードについて

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au ICカードの取り付け取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

au ICカードを分解、改造しないでください。
データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードのIC金属部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。
水などの液体が付着すると故障の原因となります。

au ICカードのIC金属部分を傷付けないでください。
故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。
故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。

■USBケーブルの取り扱いについて

⚠危険 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

分解、改造しないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると、感電、火災、故障の原因となります。使用場所、取り扱いにはご注意ください。

⚠警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
故障や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
故障や火災の原因となります。

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

USBケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。
指定の機器以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。故障の原因となります。

USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷付き、感電、火災の原因となります。

USBケーブルのコードの上に重い物を載せたりしないでください。感電、火災の原因となります。

■付属CD-ROMの取り扱いについて

⚠警告　**必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

同梱のCD-ROM は、一般オーディオ用のCDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。再生音によって耳を痛めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

ご使用上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■E30HT本体・au ICカード・電池パック・充電用機器・USBイヤホン共通

- 無理な力がかかるとタッチスクリーンや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。
  特に開いた状態でかばんの中に入れないでください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度 5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
  また、ほこりなどが付着した場合には、軽く拭きはらってからご使用ください。
- 一般電話・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中、充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。
  電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。
  また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。
- E30HTおよび周辺機器は防水仕様ではありません。雨の中や水に濡れるような場所では、使用しないでください。
- 直射日光のあたる所や、高温多湿の所には保管しないでください。

■ E30HT本体について

- 画面のタップの操作は、指または同梱のスタイラスを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなどの先のとがった物は、使わないでください。
- 画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をタッチスクリーンに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- キーの表面を爪や硬い物などで強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- E30HTはタッチスクリーンに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- E30HTで使用しているタッチスクリーンは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本体を開閉する際は指などを挟まないようにご注意ください。
- タッチスクリーンの裏側やQWERTYキーボードのある面にシールなどを貼らないでください。E30HTを閉じたときにボタンを押したままの状態になり、ボタン操作ができなくなるなど、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、E30HT本体が損傷するおそれがあります。
- au電話本体（電池パックを取り外した側面）に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のau電話が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- au電話に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- au電話に保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ミニUSBに外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のプラグが平行になるように抜き差ししてください。
- ミニUSB端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- E30HTを長時間ご利用の場合や充電中に、本体が熱くなることがあります。手や顔で触る場合はご注意ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、E30HT内部に水滴が付くことがあります。（結露といいます。）このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 撮影などしたフォト／ビデオデータは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- E30HTは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通事故の原因となり、道路交通法で禁止されています。
- 心臓の弱い方はバイブレータや着信音量の設定に気を付けてください。心臓に影響を与える可能性があります。
- 磁石やスピーカー、テレビなど磁力を有する機器に近付けると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- このE30HTは、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられています。ご利用になる方が変更になる場合には、新しくご利用者になる方が、このau ICカードをご持参のうえ、auショップ・PiPitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。

- スタイラスの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面が傷付いたり、スタイラスのすべりが悪くなることがあります。
- スタイラスの前部後部共にとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- スタイラスには磁石が内蔵されているため、クレジットカードなどの磁気カードを近付けないでください。
- 電池カバーを取り外した際は、カメラのレンズを傷付けないようご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、E30HT本体から外し高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。（充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。）
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから外してください。
- 周囲の温度が高いもしくは低いため保護機能が働き、充電できない場合があります。周囲温度が5℃～35℃の場所に置いてください。充電を開始します。
- USBケーブルをACアダプタに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ USBイヤホンについて

- 指定のau電話本体以外には使用しないでください。
- コードをau電話に巻きつけて使用しないでください。感度が落ちて通話が途切れたり、雑音が入ることがあります。
- 騒音のひどい所や強風下でのご使用は避けてください。
- 耳に刺激を与えすぎないように、適度な音量でご使用ください。USBイヤホンは音が外に漏れますので、周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- 強い衝撃（落とす、ぶつけるなど）を与えないでください。また、コードを強く引っ張らないでください。
- 携帯するときは袋に入れて持ち運ぶなど、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。

■ カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- au電話の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあり、その場合、当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影、公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない文字情報の記録には、使用しないでください。
- E30HTには、お買い上げ時にタッチスクリーン部に傷防止のためのシートが貼り付けられています。必ずはがしてからお使いください。はがさずにお使いになると画面の確認などのご使用に支障があります。

■ 音楽機能について

- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、音楽を再生しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、USBイヤホンからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様がE30HTで撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像を転送することはできません。
- 本製品は、MPEG LA, LLC社とのMPEG-4およびAVC特許ライセンス契約に基づき、お客様個人による非営利目的を条件に下記使用が許可されています。
  - MPEG-4およびAVC規格に準拠して映像(以下、MPEG-4映像およびAVC映像)を録画すること
  - 個人による非営利目的で録画されたMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること
  - MPEG LA, LLC社よりライセンスを許諾されている提供者から得たMPEG-4映像およびAVC映像を再生すること

  上記以外で使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLC社にお問い合わせください。(http://www.mpegla.com参照)

■ au ICカードについて

- au ICカードはauからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
  不要になったau ICカードは、auショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、au電話本体の金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダーなどにau ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
  お手入れは柔らかい乾いた布などで拭いてください。
- au ICカードにラベルなどを貼り付けないでください。

<本機の記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分で本機に登録された内容や、本機外から本機に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
  本機のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。
  ※ 控え作成の手段
  - 連絡先、撮影したフォトやビデオなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、電子メールに添付して送信したり、「パソコンとの同期」を利用することで、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

ご利用いただく各種暗証番号について

E30HTをご使用いただく場合に、暗証番号をご利用いただきます。設定された暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② auお客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● PINコード

使用例	PIN1コード
初期値	1234

● パスワード(ロック)

E30HTの電源を入れるたびに、パスワードを要求するように設定できます。(▶P.153「パスワードでE30HTを保護する」)

PINコードについて

■PIN 1コード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPIN1コードの入力を必要にすることができます。(▶P.153「PINコードでau ICカードを保護する」)また、PIN 1コードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPIN1コードは「1234」「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号または「入力必要」に変更できます。

■PINロック解除コード

PIN1コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPIN1コードを設定してください。(▶P.153)
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

◎「PIN1コード」は「ソフトリセット」(▶P.157)、「フォーマット」(▶P.158)を行ってもリセットされません。

目次

PIM機能を使用する……63

メールを使用する……72

会社のメールと会議予定機能を使用する……80

インターネットを使用する……84

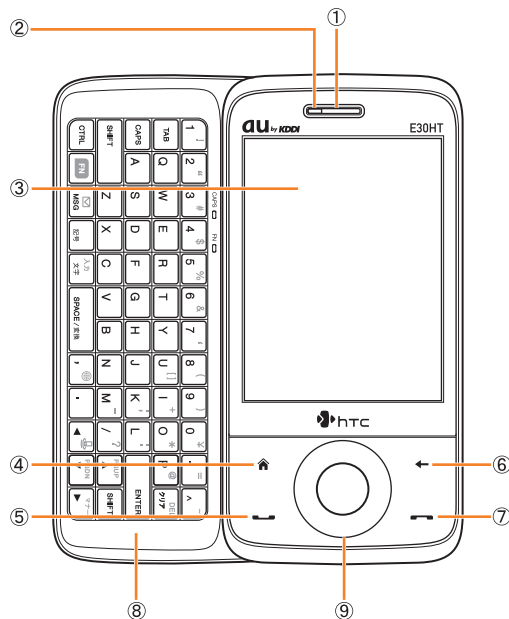
通話オプションを利用する……98

##

主な機能

機能	説明	アプリケーション
電話	短縮ダイヤルやスピーカーフォンなど、便利な付加機能を利用できる通話機能があります。	ボイス短縮ダイヤル
PIM（アドレス帳、スケジュール、仕事、メモ）	本格的なPIM機能によって、電話番号やメールアドレス、スケジュール、仕事、メモを管理します。	連絡先、予定表、仕事、メモ
インターネット	パソコン向けサイトなどにアクセスできます。	Internet Explorer Mobile、Opera Mobile
メール	インターネットメールのアカウントを登録することができ、自宅や会社のメールを送受信できます。	メール
マルチメディア	カメラで静止画や動画を撮影したり、楽曲や動画を再生して楽しむことができます。	カメラ、アルバム、Windows Media Player Mobile
データ管理	本体メモリやmicroSDメモリカードの中のファイルやフォルダのコピー／移動／削除を行うことができます。	ファイル エクスプローラー
パソコンとのデータ同期	パソコンとE30HTとの間で、PIMデータやファイルを同期することができます。	ActiveSync
オフィス関連アプリケーション	Word、Excel、OneNoteファイルの作成／編集／表示、PowerPoint、PDFファイルの表示を行うことができます。	Word Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、OneNote Mobile、Adobe Reader LE
TouchFLO	タッチスクリーン上を指またはスタイラスでタップして、メニューの選択やアプリケーションの操作を行います。	－

各部の名称・機能と周辺機器について

正面

① **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

② **光センサー**
周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動的に調節します。

③ **タッチスクリーン**
画面をタップし、文字や絵を描いたり、アイテムを選択したりします。

④ **ホームボタン**
現在の画面表示からToday画面に戻ります。

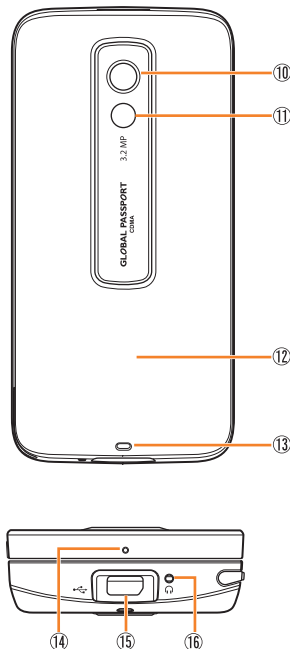
⑤ **通話ボタン**
電話をかけたり、受けたりします。
3秒以上長押しするとボイス短縮ダイヤル(▶P.140)を起動します。(お買い上げ時の設定)
着信時は点滅します。

⑥ **戻るボタン**
前画面に戻ります。

⑦ **終了ボタン**
通話を終了します。
3秒以上長押しすると端末をロックします。(お買い上げ時の設定)
着信時は点灯します。

⑧ **QWERTYキーボード**
パソコンのキーボードと似た配列になっています。
電話番号や文字を入力します。

⑨ **ナビゲーションコントロール/Enterボタン**
- ナビゲーションコントロールを上下左右に押すと、メニューやプログラムを移動することができます。
- Enterボタンを押すと選択項目を実行します。
- 周囲をなぞって拡大／縮小表示ができます。(▶P.31)
- 充電時や着信中などは、LEDリングが点滅／点灯します。(▶P.34)

背面

⑩ **カメラ**
写真やビデオを撮影するためのカメラです。

⑪ **フラッシュライト**
カメラ撮影時のフラッシュライトが点灯します。

⑫ **電池カバー**
電池パックの取り付けや取り外しができます。

⑬ **ストラップ取付穴**
ストラップを取り付けます。

⑭ **送話口**
自分の声をここから伝えます。

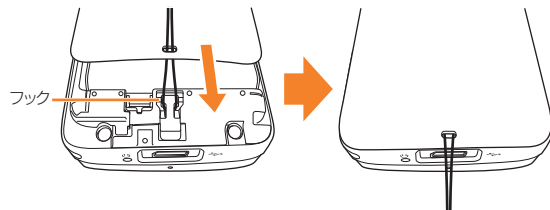
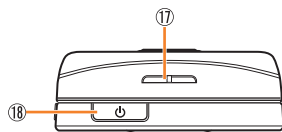
⑮ **ミニUSB端子**
同梱のUSBケーブル、USBイヤホンを接続します。

⑯ **リセットボタン**
スタイラスで押すと、E30HTをソフトリセットすることができます。詳細については、「ソフトリセット」(▶P.157)をご参照ください。

■ストラップを取り付ける

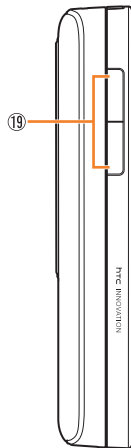
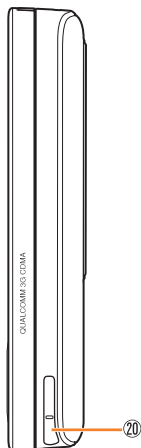
電池カバーを外して、電池カバーにあるストラップ取付穴にストラップを通します。フックにストラップのヒモを掛けて少し引っ張り、ストラップが抜けないことを確認してから電池カバーを取り付けます。
電池カバーの取り外し方法については、「au ICカードを取り外す」(▶P.24)をご参照ください。

上側面

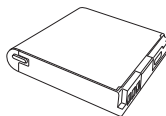
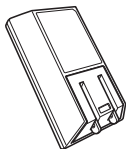
左側面

右側面

⑰ **スピーカー**
スピーカーフォンの音声や楽曲の再生音を聞くことができます。

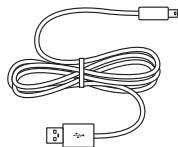
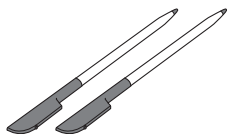
⑱ **電源ボタン**
短く押すと、一時的に画面をオフにし、E30HTはスリープモードに入ります。スリープモードでも通話やメッセージを受け取ることはできます。
このボタンを警告メッセージが表示されるまで長押しし、[はい]をタップすると、E30HTの電源を完全に切ります。通話を含むすべての機能は使用できなくなります。

⑲ **音量ボタン**
スピーカー音量や受話音量を調節します。

⑳ **スタイラス**
タッチスクリーンに文字や絵を描いたり、アイテムを選択します。

同梱物一覧

●E30HT本体

●電池パック　30HTUAA

●ACアダプタ　30HTPQA

●USBイヤホン　30HTQWA

●USBケーブル　30HTHUA

●スタイラス　30HTRKA（2本）

●取扱説明書
●本体保証書
●お使いになる前にディスク（CD-ROM）
●液晶保護フィルム（試供品）
●マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

memo

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- IC（金属）部分や本体のIC（金属）部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au ICカード着脱時は、必ず同梱のUSBケーブルをE30HT本体から抜いてください。
◎au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードが挿入されると…

au ICカードを挿入しない、もしくはお客様のau ICカード以外が挿入された場合は、次の操作を行うことができません。また、受信電界アイコン が表示されません。
- 電話をかける／受ける※
- メールの送受信
- PINコード設定

※　110（警察）・119（消防）・118（海上保安本部）への緊急通報も発信できません。

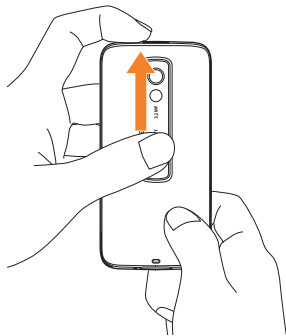
■PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、各PINコードの変更やPINコード入力要否設定により他人の使用を制限できます。(▶P.153「E30HTを保護する」)

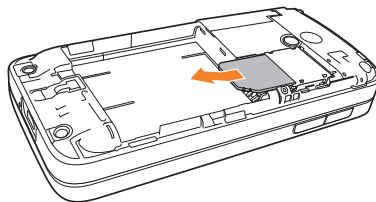
au ICカードを取り外す

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから取り外し･取り付けを行います。

1 本体の電源を切る

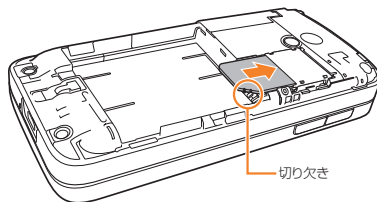
2 電池カバーの中央を押し、上方向にスライドして取り外す

3 電池パックを取り外す

(▶P.26「電池パックを取り外す」)

4 au ICカードを図の矢印方向に軽く持ち上げながらスライドさせて取り外す

au ICカードを取り付ける

1 「au ICカードを取り外す」の操作1～3を行って電池パックを取り外す

2 au ICカードをスロットの奥までまっすぐに差し込む

au ICカードの挿入方向(切り欠きの位置)にご注意ください。

電池パックについて

電池パックを取り付けたり、取り外したりする際は、必ずE30HTの電源をお切りください。
E30HTは充電式リチウムイオン電池を使用しています。指定の電池パックをご利用ください。電池の消費はE30HTの使いかたにより大きく左右されます。電波の強度、使用環境の温度、E30HTの設定、周辺機器の接続状況、音声、データ、その他のプログラムの使用状況などにより電池の消費量は異なります。

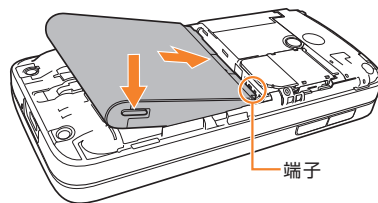
■ ご利用可能時間

連続待受時間	約330時間※
連続通話時間	約260分※

※　日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「仕様」(▶P.175)をご参照ください。

◎ 火災ややけどを防ぐため、次のことにご注意ください。
- 電池パックを分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、火や水の中へは投げ込まないでください。
- 極端に高温になる所には放置しないでください。
- 交換時は、E30HT専用の電池パックをご使用ください。

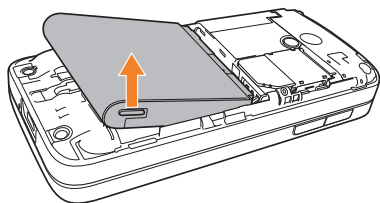
■ 電池パックを取り付ける

電池パックの端子と本体の端子を合わせてから、電池パックの上端を押して本体に取り付けます。

◎ au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。
◎ 取り付け時に指定以外の取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池カバー破損の原因となります。

■電池パックを取り外す

1 本体の電源を切る

2 電池カバーを取り外す

3 電池パック右側にある突起部分に爪などをかけ、電池パックを持ち上げて本体から外す

memo

◎電池パックを取り外すときは、突起部分を上に引くようにしてください。突起部分以外の方向から持ち上げようとすると、本体の接続部を破損するおそれがあります。

microSDメモリカードをセットする

電池カバーを外し、au ICカードスロット右側にあるmicroSDメモリカードスロットにmicroSDメモリカードを挿入すると、画像や動画、音楽ファイルなどを保存することができます。

memo

◎**あらかじめフォーマット済みのmicroSDメモリカードをご利用ください。E30HTではmicroSDメモリカードのフォーマットはできません。**
◎E30HTは、2GBまでのmicroSDメモリカードと8GBまでのmicroSDHCメモリカードに対応しています。
（本書ではmicroSDメモリカード/microSDHCメモリカードをmicroSDメモリカードと記載します。）
◎E30HTには、microSDメモリカードは同梱されていません。市販品のmicroSDメモリカードをご購入いただき、ご利用ください。

取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動／コピーしているときに、microSDメモリカードを外したり、電池パックを取り外したり、E30HT本体や機器の電源を切らないでください。E30HT本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- E30HT本体にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- E30HT本体のmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属体・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

• 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

発売元	2GB	4GB	8GB
東芝	−	○	−
SanDisk	○	○	○
Transcend	−	○	○

○:動作確認済み −:未確認 (2009年3月現在)

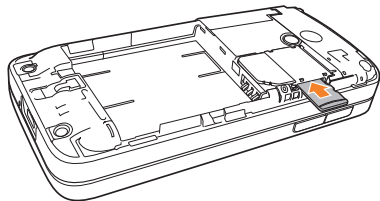
※E30HTでは、2009年3月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、KDDIホームページをご参照いただくか、au お客様センターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

■microSDメモリカードを取り付ける

1 本体の電源を切る

2 電池カバーを取り外す

3 電池パックを取り外す

4 端子面を下にしてmicroSDメモリカードをスロットに差し込み、カチッと音がするまでしっかり押し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

5 電池パックを取り付け、電池カバーを取り付ける

memo

◎microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

■microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外すときは、microSDメモリカードをカチッと音がするまで軽く押し込んでまっすぐ引き取り外します。
カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

memo

◎microSDメモリカードを取り付け/取り外しするときに、先がとがった物や硬い物を使ってmicroSDメモリカードを傷付けないようにご注意ください。どうしても挿入しにくいときは、スタイラスの後端の平らな面を使って押し込むことをおすすめします。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・内部データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

起動する

au ICカード、電池パックの取り付けと充電が完了したら、電源を入れて本体を起動します。

電池パックを充電する

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。E30HTをご使用になる前に、電池パックを充電してください。電池パックは以下の2通りの方法で充電できます。

- 同梱のACアダプタを使って充電する（充電時間：約180分）
- 同梱のUSBケーブルを使ってパソコン経由で充電する

◎ ACアダプタおよびUSBケーブルは、専用のものをご使用ください。
◎ 同梱のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
◎ 電池パックは、「安全上のご注意」（▶P.ii）をよくお読みになってお取り扱いください。
◎ E30HTの電源を入れたままでの充電は、充電時間が長くなります。
◎ USBケーブルで充電する場合は、ACアダプタで充電するときよりも充電時間が長くなります。
◎ 同梱のACアダプタを接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。電池のもちが悪くなりますので、電池残量が になりましたら充電することをおすすめします。
◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。

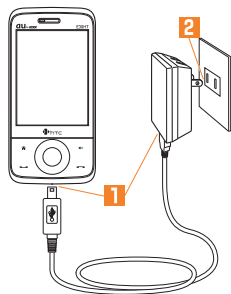
- （圏外）や （微弱電波状態）が表示される場所での使用が多い場合
- メール機能やカメラ機能などの使用
- 画面を常に表示している状態

◎ ACアダプタ本体からプラグ部分を取り外したり取り付けたりすると、プラグ部分の側面が傷付くことがあります。

■同梱のACアダプタを使って充電する

1 USBケーブルでE30HTとACアダプタを接続する

2 ACアダプタをAC100Vコンセントに差し込む

充電中は、ナビゲーションコントロールの周囲のLEDリングがゆっくり点滅し、充電中アイコン（ ）がToday画面のタイトルバーに表示されます。充電が完了すると、LEDリングが点灯に変わり、フル充電アイコン（ ）が表示されます。

3 充電が完了したら、ACアダプタをAC100Vコンセントから抜く

充電の完了については、「LEDリングについて」（▶P.34）をご参照ください。

4 USBケーブルをE30HTとACアダプタから抜く

memo

◎ 充電中は、E30HTから電池パックを取り外さないでください。
◎ 安全のため、充電中に電池パックが熱くなりすぎると、充電が自動的に停止します。

電源を入れる／切る

E30HTの電源を入れるには、上側面にある電源ボタンを押します。
初めて電源を入れると、クイックスタートウィザードが起動し、現在の場所、日付、時刻、パスワードの各種初期設定を行うことができます。
タッチスクリーンの補正に関する詳細は、この後の「E30HTを補正する」をご参照ください。
E30HTの電源を切るには、警告メッセージが表示されるまで電源ボタンを長押しし、[はい]をタップします。

memo

◎ 電源がONになったときにau ICカードを読み込むため、Today画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。この間、キーが効かなくなることがありますが故障ではありません。
◎ 海外では、地域によっては電波状態の良い場所でもご利用になれない場合があります。
◎ 初めて電源を入れてからしばらくすると、「カスタマ エクスペリエンス」に関するメッセージと ☑ が表示されます。[次へ]をタップし、フィードバックを送信する／しないを選んで[ok]をタップすると ☑ は表示されなくなります。

タッチスクリーンの補正を行う

タッチスクリーンの補正を行うには、画面上に表示された十字の動きに合わせて、十字の中央をスタイラスでタップします。この補正により、スタイラスで画面上のアイテムをタップするときの精度を保つことができます。
画面をタップしてもE30HTが正しく反応しない場合は、次の操作で再補正を行ってください。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[画面] をタップ

2 [全般]タブで [画面の補正] をタップ→画面の指示に従って補正を行う

memo

◎ Enterボタンを押しながら音量ボタン(上)を押して、タッチスクリーンの補正画面を開くこともできます。

スリープモードに切り替える

電源ボタンを短く押すと、画面が一時的に消え、E30HTはスリープモードに入ります。スリープモードでは消費電力を抑えるために画面を消し、E30HTを低電力モードにします。
一定時間E30HTを操作しない場合も自動的にスリープモードに切り替わります。
スリープモード中にもう一度電源ボタンを押すと、通常モードに戻ります。

■ E30HTがスリープモードに切り替わるまでの時間を設定する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[電源]→[詳細設定]タブをタップ

2 [バッテリ使用時]で[次の時間経過後、電源を切る]をチェック

3 電池で使用しているときのタイムアウト時間を選択→[ok] をタップ

E30HTがスリープモードでもメッセージや通話を受けることができます。通話やメッセージを受けると、スリープモードが解除されて、通常モードに戻ります。

E30HTの操作方法について

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーンは指やスタイラスで直接触れて操作します。
詳しくは、「TouchFLO™」(▶P.38)をご参照ください。

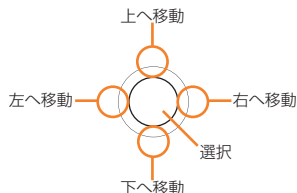
■ タップ

スタートメニュー、各種プログラムアイコンなど、目的の項目に触れると、その項目を選択することができます。

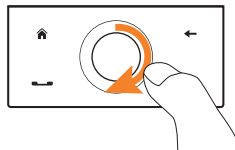
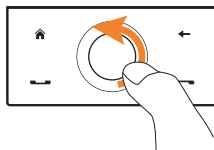
ナビゲーションコントロール／Enterボタン

ナビゲーションコントロールを操作して、項目を選択したり、拡大／縮小表示したりできます。

■項目選択

ナビゲーションコントロールの上下左右を押してカーソルを移動し、中央部分（Enterボタン）を押すと項目を選択できます。

■拡大／縮小表示

ナビゲーションコントロールの周りを時計回りでなぞると拡大表示、反時計回りでなぞると縮小表示できます。
ナビゲーションコントロールで拡大／縮小表示できるのは、カメラ、アルバム、Operaブラウザ、Word Mobile、Excel Mobileです。

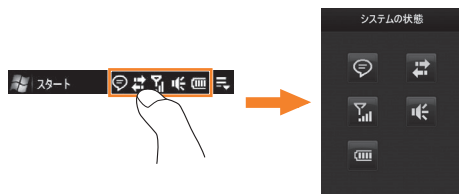
拡大表示

縮小表示

Today画面について

Today画面には予定やステータスなどを示す重要な情報が表示されています。Today画面でアイテムをタップすると、関連するプログラムを開くことができます。

- Today画面を表示するにはホームボタンを押すか、[スタート] → [Today]をタップします。
- Today画面の背景を変更するには、[スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[Today]をタップします。

① スタートメニューを開きます。
② 不在着信や新着メールなどがあることを表示します。
③ 接続状態を表示します。
④ 電波の強度を示します。
⑤ システム音および着信音の音量を調節します。
⑥ 電池残量を表示します。
⑦ クイックメニューを開きます。
⑧ HTCホーム（詳細は、「HTCホーム」（▶P.35）をご参照ください。）
⑨ 未読メッセージ、作業中の仕事、近日中の予定、デバイスのロック状況などを表示します。[スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[Today]→[アイテム]タブをタップすると、表示する項目を変更できます。
⑩ タップすると、予定表を起動します。
⑪ タップすると、連絡先を起動します。

ステータスアイコンについて

タイトルバーのアイコンエリアをタップすると、ステータスアイコンが拡大表示されます。各ステータスアイコンをタップして、接続設定や音量の調節などを行うことができます。

memo

◎[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[大きいタイトルバー]をタップして、[大きいタイトルバーを有効にする]のチェックを外すと、ステータスアイコンの拡大画面は表示されません。タイトルバーの各ステータスアイコンをタップして設定を行ってください。

E30HTには次のようなステータスアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	通知内容を表示
	新着Cメール、留守番電話の通知
	Cメール受信中
	新着Windows Liveメッセージ
	不在着信
	スピーカーフォンオン
	国際ローミング
	アラーム
	ワイヤレスLANネットワーク検出
	ヘッドセット接続中
	Bluetooth®通信機能がオン
	Bluetooth®検出可能モード
	Bluetooth®ビーム受信中
	Bluetooth®ヘッドセット検出
	ActiveSync 通知

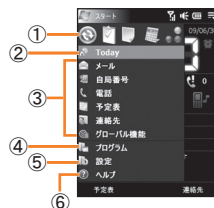
アイコン	説明
	ワイヤレスLANに接続
	接続有効
	接続無効
	同期中

アイコン	説明
	電波の受信レベル
	微弱電波状態
	電話機能オフ
	圏外
	オプションサービス検索中
	パケット通信中
	パケット通信が有効(海外利用時のみ)
	音声通話
	通話保留
	通話転送
	au ICカード未挿入時の緊急電話番号への発信(▶P.52)
	au ICカードが挿入されていません

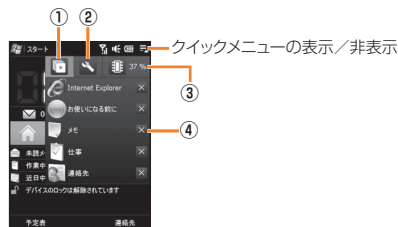
アイコン	説明
	バイブモード
	サウンドオン
	サウンドオフ

アイコン	説明
	電池パック充電中
	電池パックは十分に充電されています
	電池残量が少なくなっています

スタートメニュー

Today画面左上の [スタート]をタップすると、プログラムリストが表示されます。ナビゲーションコントロールでプログラムを選択し、Enterボタンを押すか、プログラムをタップすると、そのプログラムを実行できます。

① 最近使ったプログラムが表示されます。
② Today画面に切り替わります。
③ プログラムを起動します。スタートメニューに表示する項目は、[スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[メニュー]をタップすると変更できます。
④ E30HTにインストールされているプログラムを表示します。
⑤ E30HTの設定を変更します。
⑥ 現在の画面に関するヘルプを表示します。

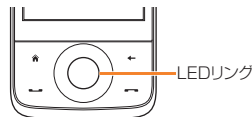
クイックメニュー

Today画面の右上にあるクイックメニューで実行中のプログラムを確認できます。実行中のプログラムの切り替えや停止をすばやく行うことができます。

① 実行中のプログラムをすべて終了します。
② タスクマネージャを表示します。
③ メモリの使用状況を表示します。
④ プログラムの切り替えをするにはプログラム名をタップします。プログラムを終了するには ✕ をタップします。

memo

◎お買い上げ時の設定では、各プログラムの終了（ ✕ ）ボタンをタップしても、プログラムを終了できません。タスクマネージャまたはクイックメニューから終了してください。
◎各プログラムの終了（ ✕ ）ボタンをタップして、実行中のプログラムを終了するかどうかを設定できます。詳細については、「終了（ ✕ ）ボタンを設定する」（▶P.156）をご参照ください。
◎クイックメニューはナビゲーションコントロールでも操作できます。この場合、上/下ボタンでプログラムを選択し、Enterボタンでそのプログラムに切り替えます。右ボタンを押すと、選択中のプログラムを終了します。

LEDリングについて

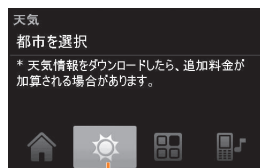
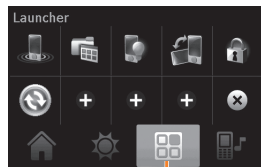
E30HTの状態に応じて、ナビゲーションコントロールのLEDリングは以下のように動作します。

E30HTの状態	LEDリングの動作
充電中	ゆっくり点滅
充電完了	点灯
電池残量が10%以下	約12秒ごとに1回点滅
着信中	速く点滅
新着メール、アラーム通知あり	上下が2回ずつ点滅
不在着信、新着Cメールあり	反時計回りに2回ずつ点滅

HTCホーム

Today画面に表示される現在時刻や天気、不在着信や新着メールのアイコンが並んでいるエリアを「HTCホーム」と呼びます。

■HTCホーム画面を切り替える

HTCホームは以下の4つの画面で構成されており、下段のアイコンをタップするか、ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押して画面を切り替えます。

ホーム画面

天気画面

ランチャー画面　サウンド画面

ホーム画面

ホーム画面には、現在時刻や未読メールや不在着信などが表示されます。アラームを設定している場合は、アラームアイコンも表示されます。

① 現在の時刻を表示します。タップすると、日付、時刻、アラームなどを設定することができます。

② メールを表示します。右の数字は新着メールの件数を表します。

③ Cメールを表示します。右の数字は新着のメッセージや伝言メッセージの件数を表します。

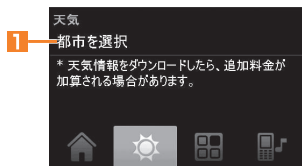
④ 現在の日付を表示します。

⑤ アラームが設定されていることを表示します。

⑥ 通話履歴を表示します。右の数字は不在着信の件数を表します。

天気画面

天気画面には、今日の天気情報が表示されます。また、4日後までの天気情報を見ることができます。初めて使うときは、地域を選択する必要があります。

■項目の選択

1 [都市を選択]をタップ

2 都市を選択画面で天気予報を見たい都市名を入力→ をタップ

該当する都市名を一覧の中から検索します。
都市一覧をスクロールしながら都市名を見つけ、選択することもできます。

3 都市一覧から都市名を選択→[選択]をタップ

◎天気情報の取得には、通信接続が必要です。(パケット通信料が発生する場合があります。)

■天気情報の見かた

お住まいの地域を選択すると、インターネットに接続して自動的に今日と4日後までの天気情報をダウンロードします。天気画面には、現在の気温、最高／最低気温と天候が表示されます。

今日の天気

4日後までの天気

① 他の都市を選択するときにタップします。
② タップすると、最新の天気情報をダウンロードします。
③ タップすると、4日後までの天気情報が表示されます。
④ タップすると、本日の天気に戻ります。

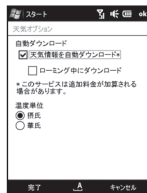
◎天気情報の更新が5日間行われなかった場合は、「選択した都市のデータを取得できません。ここから選択してもう一度お試しください。」というメッセージが表示されます。インターネットに接続後、メッセージが表示されている部分をタップすると、すぐに天気情報が更新されます。
◎気象庁発表の天気予報の情報とは異なります。

■天気設定の変更

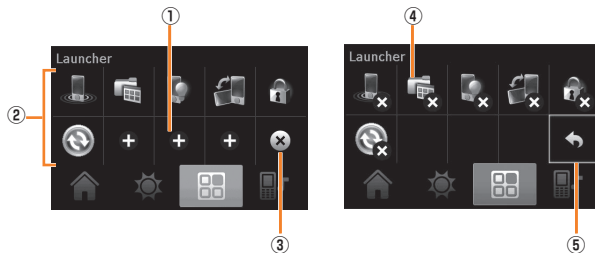
1 都市名の表示されている部分をタップ

2 都市を選択画面で[メニュー]→[天気オプション]をタップ

3 以下の設定を変更する

- [天気情報を自動ダウンロード] にチェックを入れると、天気画面を開くたびに天気情報の更新状況を確認できます。最後に更新してから3時間以上経過している場合やActiveSync起動中は、天気情報を更新します。手動で天気情報を更新する場合は、このチェックを外してください。
- 海外でのローミング中に天気情報を自動的にダウンロードしたいときのみ[ローミング中にダウンロード] にチェックを入れます。ただし、海外でのご利用はパケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。
- 温度の単位を摂氏で表示するか、華氏で表示するかを選択します。
- 詳しい天気情報を確認するときは、都市選択画面で[メニュー]→[天気について]をタップし、AccuWeather Webサイト(英語)へアクセスしてください。

ランチャー画面

ランチャーによく使うプログラムや設定画面を登録しておくと、必要なときにすぐ呼び出すことができます。
お買い上げ時には、以下のアイコンが登録されています。これらのアイコンを削除して、他のプログラムや設定画面を登録することもできます。

- Comm Manager(▶P.152)
- プログラム画面を表示
- バックライトの明るさ切り替え
- 縦画面表示と横画面表示の切り替え
- 端末ロック
- ActiveSync

① 未登録のスロットをタップすると、アイコンを新規登録します。
② タップすると、登録しているプログラムの起動や設定を行います。
③ タップすると、削除画面を表示します。
④ 削除画面でタップすると、アイコンを削除します。
⑤ 元に戻ります。

◎登録されている機能を変更するときは、あらかじめ登録しているアイコンを削除してから他のプログラムや設定画面を登録してください。

サウンド画面

サウンド画面では、着信音を変更したり、着信時にサイレント(無音)やバイブレーションに設定することができます。

① 現在の着信音の設定を表示します。タップすると、サウンド設定画面を表示し、着信パターンや着信音を変更することができます。
② 設定するサウンドをタップします。 をタップすると、予定表に予定が入っている時間帯は[バイブ]に、それ以外のときは[標準]に自動的に切り替えます。

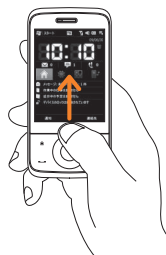
TouchFLO™

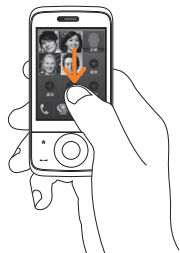
TouchFLOは、タッチスクリーン上を指またはスタイラスで上下左右にスライドして、メニューの選択やアプリケーションの操作を行えるインタフェースです。
さらに、Touch Cubeを表示すると、メール機能やInternet Explorerブラウザなど、主な機能に簡単にアクセスできます。

memo

◎画面の表示が横向きのときは、Touch Cubeは表示されません。

Touch Cube

Touch Cubeは「クイックダイヤル」「クイックランチャー」「クイックメディア」の3つの面から構成されています。指でキューブを転がすように左右に回転させて、表示させる面を切り替えます。

■Touch Cubeを表示する

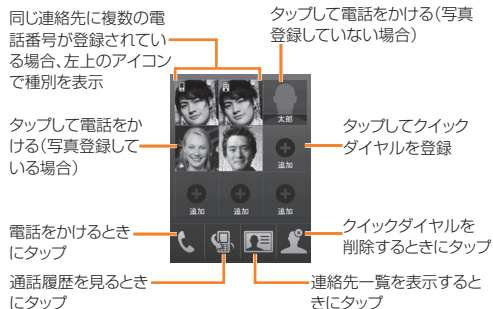
タッチスクリーン下端のロゴの位置から上方向にスライドします。

■Touch Cubeを閉じる

タッチスクリーン上で下方向にスライドします。

■面の切り替え

指でキューブを転がすように左右に回転させて、表示させる「面」を切り替えます。

■クイックダイヤル

クイックダイヤルには、よく連絡する相手を9件まで登録できます。簡単な操作で電話をかけることができます。

- クイックダイヤルを登録するときは、［追加］が表示されたスロットをタップし、表示された連絡先一覧から登録したい連絡先をタップします。
- クイックダイヤルを削除するときは、［削除］をタップし、表示された画面で削除したいクイックダイヤルをタップします。

■クイックランチャー

クイックランチャーに登録されているアイコンをタップして、メールやInternet Explorerなどの機能をすばやく起動できます。

※ クイックランチャーに登録されている機能は変更できません。

■クイックメディア

クイックメディア上で音楽再生をコントロールしたり、画像やビデオの表示を簡単に行えます。

スクロールとパン操作について

指やスタイラスを使ったスクロールやパン操作※により、1画面に表示されない画面や文章を表示することができます。スクロールやパン操作は縦画面と横画面いずれでも利用できます。

※ Webページや画像を表示しているときなどに、画面に触れたままドラッグすると、どの方向にも自由に画面を動かすことができます。

■スクロール

- 下方向にスライドすると、画面が上にスクロールします。
- 上方向にスライドすると、画面が下にスクロールします。

- 右方向にスライドすると、画面が左へスクロールします。
- 左方向にスライドすると、画面が右へスクロールします。
- スクロール中に画面をタップすると、スクロールが止まります。

◎表示しきれない部分がある場合は、スクロールバーが表示されます。スクロールバーが表示されているときのみスクロール操作ができます。

■パン

- 画面に触れたまま上方向にドラッグすると、画面が下にパンします。下方向にドラッグすると、画面が上にパンします。
- 画面に触れたまま左方向にドラッグすると、画面が右へパンします。右方向へドラッグすると画面が左へパンします。
- 斜め方向にパンすることもできます。

◎表示しきれない部分がある場合は、スクロールバーが表示されます。スクロールバーが表示されているときのみパン操作ができます。

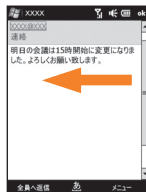
■連続パン

1 画面に触れたまま境界部分に向かってドラッグ

Webページ、文章、メッセージがパンを続けます。

2 指／スタイラスを離してパンをやめる

■前後のメッセージの表示

メッセージ表示中に、左または右方向にスライドすると、前後のメッセージをすぐに表示することができます。
次のメッセージを表示するには、右から左にスライドします。
前のメッセージを表示するには、左から右にスライドします。

■前後のメッセージアカウントの表示

メール利用時に、左または右方向にスライドすると、表示するメッセージアカウント（メッセージ、Outlookメールなど）をすばやく切り替えることができます。
次のメッセージアカウントを表示するには、右から左にスライドします。
前のメッセージアカウントを表示するには、左から右にスライドします。

画面上を左右にスライドすると、「メッセージ」→「Outlookメール」→・・・のように表示が切り替わります。

■サウンドのオン/オフ

スクロール/パン中のサウンドのオン/オフを設定できます。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[TouchFLO]をタップ

[フィンガースクロールとパンを実行時にサウンドを有効にする]にチェックを入れるとオンになります。チェックを外すとオフになります。

ボリュームの調整

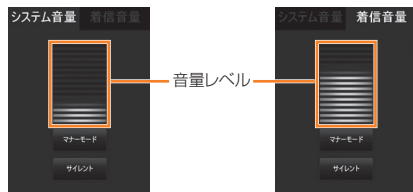
システム音および着信音の音量を調節します。

1 **タイトルバーのアイコンエリアをタップ**

2 **スピーカーアイコン ( ) をタップ**

3 **[システム音量]/[着信音量]をタップして、システム音量または着信音量を選択**

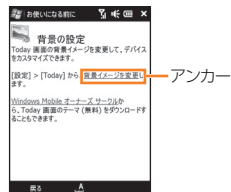
4 **スライダーを上下にスライドして、着信音またはシステム音の音量レベルを調節**

- [マナーモード]をタップすると、バイブレートモードに設定できます。
- [サイレント]をタップすると、着信音、システム音は無音になります。

◎通話中の受話音量は、音量ボタンを押して調節できます。

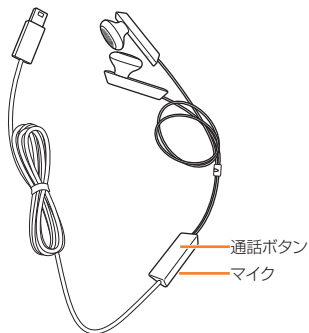
「お使いになる前に」プログラムについて

E30HTを使用する前に、理解しておいてほしい機能や設定の概要を確認することができます。

1 **[スタート]→[プログラム]→[お使いになる前に]をタップ**

2 **確認したい項目をタップ**

説明画面が表示されます。画面のアンカーをタップすると、その項目の設定画面が表示されます。

USBイヤホンについて

各部の名称

操作方法

通話	電話に出る:通話ボタンを押します。 電話を切る:通話が終了するまで通話ボタンを長押しします。
保留	~~通話中に通話ボタンを押します。~~
リダイヤル	通話ボタンをすばやく2回押すと、直前にかけた番号にリダイヤルします。
スピードダイヤル	ボイス短縮ダイヤルが起動するまで通話ボタンを長押しし、音声でダイヤルします。 ※ 事前にボイスタグと電話番号を登録しておく必要があります。(▶P.140)

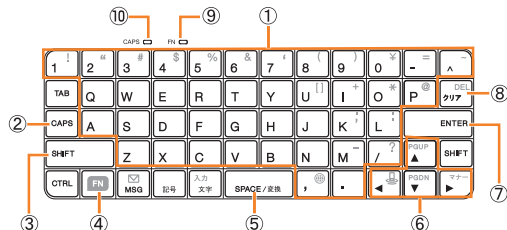
E30HTでは、ＵＳＢイヤホンによる保留機能はご利用いただけません。

情報を入力する

プログラムを起動したり、文字や数字を入力する欄を選択すると、メニューバーの**入力パネルアイコン**が有効になります。
入力セレクタ矢印(入力パネルアイコンの隣)をタップし、メニューを開きます。このメニューで文字の入力方式を選択したり、入力オプションをカスタマイズできます。文字の入力方式を選択すると、文字を入力するための**入力パネル**が表示されます。入力パネルの表示／非表示を切り替えるには、入力パネルアイコンをタップしてください。

入力方式	機能
10キー入力(キーパッド)	入力したい文字が表示されるまでキーパッドをタップして入力します。
ローマ字/かな(キーボード)	ローマ字/かな方式で入力します。
ひらがな/カタカナ(キーボード)	ひらがな/カタカナ方式で入力します。
手書き入力	手書き入力方式で入力します。
手書き検索	手書き検索画面を使って入力します。

ハードウェアキーボードを使う

E30HTは、パソコンの標準キーボードに似た配列のQWERTYキーボードを搭載しています。
QWERTYキーボードは、本体から引き出して使用します。QWERTYキーボードを引き出すと、画面は自動的に横画面表示に変わります。

① **アルファベットキー／記号キー**

キーを押すと、左下に印字されている文字が入力されます。アルファベットの場合は小文字が入力されます。大文字を入力するときは、③のシフトキーを使います。

右上に印字されている数字や記号を入力するときは、④のファンクションキーを使います。

② **CAPSキー**

③ **シフトキー**

④ **ファンクションキー**

⑤ **SPACE／変換キー**

- 空白を入力します。
- ひらがな入力中は、漢字に変換します。
- ④のファンクションキーを押しながらこのボタンを押すと次の項目に移動したり半角4文字分の空白を入力したりします。(アプリケーションによって動作が異なります。)

⑥ **カーソルキー**　カーソルを上下左右に移動させます。
⑦ **Enterキー**　項目の選択、入力値の決定、改行などを行います。
⑧ **バックスペースキー**
- 直前の文字を削除します。
- 漢字変換中は、元の読み(入力)に戻します。

⑨ **FNランプ**　数字／記号モード中に点灯します。
⑩ **CAPSランプ**　英大文字モード中に点灯します。

入力パネルを使う

文字入力時には画面上のキーパッドやキーボードを使用します。画面に表示されたキーパッドやキーボードのキーをタップすると、文字が入力されます。

■入力パネルによる文字入力

1 任意のプログラムを起動

2 入力パネルが表示されている状態で[▲](入力セレクタ矢印)をタップ→[10キー入力]／[ひらがな/カタカナ]／[ローマ字/かな]いずれかをタップ

3 画面上に表示された入力パネルのキーをタップして文字を入力

10キー入力を使って文字を入力する

10キー(キーパッド)を表示して入力します。

入力モードを切り替える

入力する文字の種類(ひらがな、英字、記号、カタカナ、数字、顔文字)を切り替えるには 文字種 をタップして、切り替える文字種をタップします。

■例:「携帯」と入力する場合

1 入力パネルが表示されている状態で[▲](入力セレクタ矢印)→[10キー入力]をタップ

2 ひらがな入力モードにする

3 キーパッドで「けいたい」と入力

4 変換 をタップ

変換候補が表示されます。

5 [携帯]をタップ

変換候補を選ぶ操作はナビゲーションコントロールでも行えます。(上下左右ボタンで候補選択→Enterボタンで確定)

memo

◎入力モードが英字、記号、カタカナ、数字のときは、[半/全]をタップすると、全角文字／半角文字を切り替えることができます。
◎文字を間違えて入力した場合は、削除したい文字の後ろにカーソルを移動して[クリア]をタップし、文字を再入力します。
◎ひらがな、英字、カタカナ入力モードの場合、文字が未確定のときに[↺]をタップすると、キーパッドに割り当てられている文字を逆の順番に表示させることができます。
◎[スペース]をタップすると、スペースを入力できます。
◎続けて同じキーに割り当てられた文字を入力する場合は[→]をタップして、次の文字を入力します。
◎ひらがな入力モード時、キーパッドで文字を入力後に[英数カナ]をタップすると、入力モードを切り替えずにカタカナやそのキーに割り当てられている英数字に変換できます。
◎[↵]をタップすると、入力を確定したり、改行することができます。カーソルをタップしたり、[✥]をタップした後、[改行決定]や上下左右矢印アイコンをタップすると改行やカーソルの移動ができます。
◎英字入力モード時に文字キーを1秒以上タップすると、そのキーに割り当てられている数字を入力できます。

ローマ字／かな方式で入力する

ローマ字/かなキーボードを表示して入力します。

1 入力パネルが表示されている状態で[▲](入力セレクタ矢印)→[ローマ字/かな]をタップ

2 入力パネルで文字を入力

- **[かな]**：ひらがなの入力
- **[カナ]**：カタカナの入力
- **[英数]**：アルファベットの入力
- **[半角]**：半角文字の入力
- **[記号]**：記号の入力
- **[顔/記]**：顔文字/記号の入力

漢字に変換する場合は、[変換]をタップします。
英数カナ文字に変換する場合は、[英数カナ]をタップします。

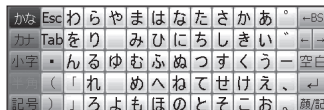
情報の入力・検索

ひらがな／カタカナ方式で入力する

ひらがな/カタカナキーボードを表示して入力します。

1 入力パネルが表示されている状態で[▲](入力セレクタ矢印)→[ひらがな/カタカナ]をタップ

2 入力パネルで文字を入力

- **[かな]**: ひらがなの入力
- **[カナ]**: カタカナの入力
- **[小字]**: 拗音の入力
- **[半角]**: 半角文字の入力
- **[記号]**: 記号の入力
- **[顔/記]**: 顔文字/記号の入力

漢字に変換する場合は、[変換]をタップします。
英数カナ文字に変換する場合は、[英数カナ]をタップします。

手書きで文字を入力する

手書きによって、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号を入力するパネルです。漢字の入力には、かな漢字変換を行うか、漢字を直接手書きして入力することができます。

1 入力パネルが表示されている状態で[▲](入力セレクタ矢印)→[手書き入力]をタップ

2 3つの入力ボックスに、スタイラスを使って文字を書き込む

書き込んだ文字が活字になって表示されます。

- **[全て]**: 漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号など、すべての文字の候補を表示
- **[英]**: アルファベットのみの候補を表示
- **[数]**: 数字のみの候補を表示

memo

◎ 文字の書き込みは続けずに一画ずつはっきりと書き込んでください。
◎ 漢字はなるべく正しい書順で書き込んだ方が候補に現れやすくなります。
◎ 入力エリアに文字を書き込むと、一番左側の候補が自動的に文中に入力されます。

手書きで文字を検索する

手書き入力で、書き込んだ文字の画数が多すぎるなど、正しく認識されない場合、手書き検索を利用します。

1 入力パネルが表示されている状態で[▲](入力セレクタ矢印)→[手書き検索]をタップ

2 入力ボックスに、スタイラスを使って検索したい文字を書き込む

書き込みを進めていくにつれて、検索された文字が左側に表示されます。検索された文字が多い場合、スクロールバーを上下に動かしてください。

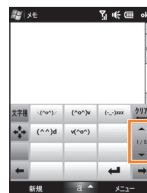
記号／顔文字を入力する

登録されている記号や顔文字を入力できます。

■ 10キー(キーパッド)で入力する

1 文字種→記号(!#)／顔文字(^ ^)ボタンをタップ

記号／顔文字入力モードになり、最近使った記号または顔文字が表示されます。[▲]／[▼](ページ切替矢印)をタップすると一覧が切り替わるので、目的の文字を探してください。

《記号一覧画面》

《顔文字一覧画面》

2 入力したい文字をタップ

続けて複数の文字を入力することもできます。

文字の種類を切り替えるには、文字種をタップして文字種をタップします。

memo

◎ 半全をタップすると、全角記号／半角記号を切り替えることができます。

◎ ↵をタップすると、入力を確定したり、改行することができます。

■ キーボード(ローマ字／かな、ひらがな／カタカナ)で入力する

1 顔/記 **ボタンをタップ**

記号／顔文字パネルが表示されます。
[切替]をタップすると、全角記号→半角記号→顔文字の順にパネルが切り替わります。

2 入力したい文字をタップ

続けて複数の文字を入力することもできます。

3 [確定]をタップ

記号／顔文字パネルが閉じ、タップした文字が入力されます。

メモを使って描画、手書き、ボイスメモの録音を行う

メモを使用すると、画面上に直接描画したり、手書きでメモを作成することができます。また、ボイスメモを録音したり、録音をメモに追加することもできます。
メモの詳細については、「メモ」(▶P.69)をご参照ください。

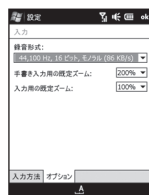
入力に関するオプション

入力方法に関する設定や、単語登録などを行うことができます。

1 入力パネルが表示されている状態で[▲](入力セレクタ矢印)→[設定]をタップ

[オプション] ボタンをタップすると、入力方法に関する設定が行えます。

- **10キー入力、ひらがな/カタカナ、ローマ字/かな**: 単語登録、登録した単語の編集、予測変換機能(予測入力)の設定
- **手書き検索、手書き入力**: 手書きに関するオプションの設定

[オプション] タブをタップすると、録音形式や既定ズームなどの設定が行えます。

情報を検索する

My DocumentsフォルダまたはmicroSDメモリカードに保存されたファイルやその他のアイテムを検索することができます。ファイル名で検索したり、またはアイテムに含まれる単語で検索できます。例えば、電子メール、メモ、仕事、ヘルプなどに含まれる情報を検索できます。

■ファイルやアイテムを検索する

1 [スタート]→[プログラム]→[検索]をタップ

2 [検索]で次のように入力

- 検索したいファイルの名前、単語、その他の情報を入力します。
- 下矢印アイコン（▼）をタップし、検索履歴の中からどれか1つを選択します。

3 [種類]で下矢印アイコン（▼）をタップ

リストからデータタイプを選択すると、検索を絞り込むことができます。

4 [検索]をタップ

検索条件に該当するアイテムが[結果]リストに一覧表示されます。
アイテムをタップすると、そのアイテムを開くことができます。

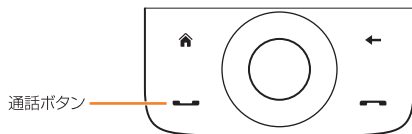
◎microSDメモリカードに保存されているファイルは、名前の隣に記号が表示されます。

電話を使う

E30HTは、通常の携帯電話と同じように、電話の発信、着信、通話履歴の確認などを行うことができます。また、連絡先から直接ダイヤルすることもできます。

電話画面

電話画面では通話履歴、スピードダイヤル、電話設定などの機能を使用できます。電話画面を表示するには、次のいずれかの操作を行ってください。

- [スタート]→[電話] をタップ
- 通話ボタンを押す

PINコードの入力

au ICカードには、第三者による無断使用を防ぐため、「PINコード」という暗証番号が設定されています。お買い上げ時には、「1234」に設定されています。

1 E30HTの電源を入れたときにPINコードを入力する画面が表示されたら、暗証番号 (PIN) を入力

2 Enterボタンを押す、または[入力]をタップ

◎ PINコードの入力を3 回連続して間違えるとPINロック状態になります。この場合、PINロック解除コードを入力してロックを解除する必要があります。PINロック解除コードについては、(▶P.14)をご参照ください。

電話機能をオン/オフする

航空機内や医療機関の中などで携帯電話の電源を切らなければならない場合があります。
次のいずれかの方法でE30HTの通信機能をオフにします。

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Comm Manager]をタップ
  Comm Managerの画面で[通話]をタップし、電話機能をオフにします。電話機能をオンにするには、再度Comm Manager画面で[通話]をタップします。
- Comm Managerで[フライト モード]をタップします。フライトモードでは、電話機能、Bluetooth®を含むすべてのワイヤレス機能が無効となります。
  電話機能をオンにするには、再度 Comm Managerで[フライトモード]をタップします。これで フライトモードがオンになる前の状態に戻ります。

◎ 医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。

電話をかける

E30HTでは、電話画面、連絡先、スピードダイヤル、通話履歴、TouchFLO から発信することができます。

電話画面から発信する

1 **通話ボタンを押す**

2 **電話画面で電話番号をタップ→通話ボタンを押す**

memo

◎「1401」を追加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎送話口をおおっても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
◎通話中に音量ボタンを押すと、受話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。
◎通話中にダイヤルキーを押すと、入力した番号のプッシュ信号を送信できます。
※送信するプッシュ信号の音は、E30HTの側では鳴りません。

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- au国際電話サービス(005345:お申し込みは不要です)
- 171(災害対策用ボイスメール)
- 177(天気予報:市外局番が必要です)
- 117(時報)
- 104(電話番号案内)
- 115(電報の発信)
- 110(警察への緊急通報)★
- 119(消防機関への緊急通報)★
- 118(海上保安本部への緊急通報)★
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。
※次のNTTサービスはご利用になれません。
コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116(NTT営業案内)

◎医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。

連絡先から発信する

[スタート]→[連絡先]をタップし、次のいずれかの方法で発信します。

- ナビゲーションコントロールの上下ボタンを使って連絡先を選択し、通話ボタンを押します。
- 相手をタップし、かけたい電話番号をタップします。
- かけたい相手をタップしたままにし、ポップアップメニューで[勤務先に電話する]、[自宅に電話する]、または [携帯電話に電話する] のいずれかをタップします。

TouchFLOを使って発信する

TouchFLOのクイックダイヤルによく使う連絡先を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。(▶P.39)

通話履歴から発信する

1 **電話画面で[メニュー]→[通話履歴]をタップ**

通話履歴のすべての通話を確認することもできますが、[メニュー]→[フィルター]をタップすると通話履歴を種類別に表示することができます。

2 **連絡先／電話番号をタップ→[ダイヤル] をタップ**

スピードダイヤルから発信する

よくかける連絡先をスピードダイヤルに登録しておくと、1回タップするだけで発信できます。例えば、ある連絡先をスピードダイヤル番号**2**に設定しておくと、電話画面の「2」をタップしたままにするだけでこの連絡先に電話をかけることができます。スピードダイヤルを登録する場合、まず目的の番号を連絡先に保存しておく必要があります。

■スピードダイヤルを登録する

1. **電話画面で［メニュー］→［スピードダイヤル］をタップ**
2. **［メニュー］→［新規作成］をタップ**
3. **スピードダイヤルに登録する相手をタップ→［電話番号］で登録する番号を選択**
4. **［短縮番号］で新しく設定するスピードダイヤルの番号を選択**
5. **［ok］をタップ**

memo

◎短縮番号**1**はボイスメール用に割り当てられています。特に指定しないと、スピードダイヤル**2**から順に割り当てられます。すでにスピードダイヤルが設定されている番号に別の電話番号を割り当てると、新しい番号が有効となり、元の電話番号は自動的に上書きされます。

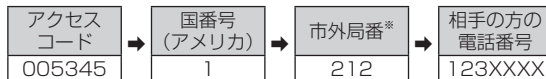
◎連絡先からスピードダイヤルを登録するには、連絡先の名前をタップし、電話番号を選択して、［メニュー］→［スピードダイヤルに追加］をタップします。スピードダイヤルを設定する番号を選択して、［ok］をタップします。

◎スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルの一覧で削除したいスピードダイヤルをタップしたままにし、ポップアップメニューから［削除］をタップします。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

E30HTからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：au電話からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1. **アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→通話ボタンを押す**

※市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。

memo

◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
KDDI（001）の国際電話サービスに関するお申し込み・お問い合わせ：
一般電話・au電話から**0077-7160**（通話料無料）
受付時間 毎日9：00～20：00

◎海外へ電話を転送できます。（▶P.105「海外の電話へ転送する」）

電話を受ける

着信があると画面にメッセージが表示され、応答するか、拒否するかを選択することができます。

■着信に応答/拒否する

・応答する場合は、を応答にスライドするか、通話ボタンを押します。
・拒否する場合は、を着信拒否にスライドします。

memo

◎着信時は、かけてきた相手の名前(連絡先に登録されている場合)または電話番号が表示されます。ただし、番号非通知設定の相手からの着信時は「非通知設定」と表示されます。
◎「お留守番サービスを利用する(標準サービス)」(▶P.98)、「応答できない電話を転送する(無応答転送)」(▶P.104)を設定している場合は、着信拒否しても、お留守番サービスまたは着信転送サービスが優先されます。
◎着信中に[着信音をミュートに]をタップすると、着信音をミュートすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎連絡先など他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。

通話中の誤作動を防止するには

◎電源ボタンを押すと、バックライトが消え、タッチスクリーン上での操作を無効にできます。

■着信を転送する

かかってきた電話に出ずに、「手動で転送する(選択転送)」(▶P.105)で登録した転送先の電話番号へ転送します。

1 着信中に[着信転送]をタップ

memo

◎「エリア設定」を「海外」に設定しているときは、選択転送はできません。
◎転送先が設定されていない場合は、お留守番サービスに転送されます。

■通話を終了する

通話中に終了ボタンを押すか、[通話を終了]をタップすると電話を切ることができます。

■通話履歴を確認する

不在着信があると、タイトルバーに不在着信アイコン()が表示されます。次のいずれかの方法で不在着信をご確認ください。

・[通知]→[表示]をタップします。
・ホーム画面で 通話履歴アイコンをタップします。通話履歴一覧から不在着信を確認します。

■スピーカーフォンをオン/オフにする

スピーカーフォンを利用すると、ハンズフリーで通話したり、他の人に通話内容を聞かせることができます。

・通話中に[スピーカー]をタップするか、スピーカーフォンがオンになるまで通話ボタンを押したままにしてください。タイトルバーにスピーカーフォンアイコン()が表示されます。
・スピーカーフォンをオフにするには、もう一度[スピーカー]をタップするか、スピーカーフォンがオフになるまで通話ボタンを押したままにしてください。

memo

◎スピーカーフォンがオンになっているときには、E30HTを耳に当てないでください。

◎[メニュー]→[スピーカーフォンをオンにする]／[スピーカーフォンをオフにする]をタップしても、スピーカーフォンのオン／オフを切り替えることができます。

■通話をミュートする

通話中にマイクをオフにし、相手の声はそのままにして、自分の声が相手に聞こえないようにすることができます。

- 通話中に [ミュート]をタップします。
- マイクがオフになると、画面にミュートアイコン(🎙✕)が表示されます。もう一度[ミュート]をタップすると、マイクはオンになります。

memo

◎[メニュー]→[ミュート]／[ミュート解除]をタップしても、マイクのオン／オフを切り替えることができます。

■お留守番着信お知らせについて

「お留守番着信お知らせ」は、携帯電話の電源がOFFだったり、電波OFFモード中だったり、電波の届かない場所にいた際、お留守番サービスに着信があったことをお知らせするサービスです。お留守番着信お知らせには、「お留守番サービスを利用する（標準サービス）」（▶P.98）で伝言をお預かりしたことをお知らせする「伝言お知らせ」と、相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に相手の方の電話番号をお知らせする「着信お知らせ」の2種類があります。

スマートダイヤル

スマートダイヤル機能により、電話番号や相手の名前を入力していくにつれて、自動的に連絡先、通話履歴の中の該当する候補が絞り込まれていきます。表示された候補の中から選択してダイヤルできます。

スマートダイヤルの使用に関するヒント

スマートダイヤル機能は、入力された順に該当する電話番号や連絡先を検索します。すばやく電話番号や連絡先を見つけるには、以下のヒントを参考にしてください。

■電話番号を見つけるには

電話番号を順番に入力していきます。該当する電話番号が表示されたら、選択してダイヤルします。

■連絡先の名前を見つけるには

名や姓の最初のアルファベットを入力すると、該当する連絡先の名前を検索します。（名前に含まれるスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字も検索します。）例えば、[2 ABC]のキーをタップした場合、「a」、「b」、「c」で始まる名や姓が検出されます。
さらに絞り込みたい場合は、次のアルファベットをタップします。

memo

◎ 名前がアルファベットで登録されている連絡先のみを検索します。ただし、漢字やかなで登録されていても、姓または名の先頭がアルファベットで登録されていれば対象になります。

スマートダイヤルを使った通話発信

1 通話ボタンを押す

電話画面を表示します。

2 最初の何桁かの数字／文字を入力

該当する連絡先や電話番号がスマートダイヤルパネルに表示されます。

3 ナビゲーションコントロールの上下ボタンを使って連絡先／電話番号を反転表示→通話ボタンを押す

- ナビゲーションコントロールの左右ボタンを押すと、その連絡先に登録されている電話番号が順番に表示されます。電話番号を選択して通話発信することができます。

情報をパソコンと同期する

ActiveSync について

E30HTをパソコンと同期することで、パソコンの情報を手軽に持ち歩くことができます。パソコンとE30HTの間で同期可能な情報には次のようなものがあります。

- **Microsoft Outlook**のデータ　(メール、予定表、仕事、メモ)
- **Mediaファイル**　(写真、音楽、ビデオなど)
- **お気に入り**　(IEの「お気に入り」に登録されているリンク)
- **ファイル**　(Word、Excel、PowerPoint、PDFファイルなど)

同期を実行するには、パソコンに同期ソフトがインストールされている必要があります。同期ソフトは同梱の「お使いになる前にディスク」に収録されています。詳しくは、Windows Vista をお使いの方は「Windows Mobileデバイスセンターを設定する(Windows Vista)」(▶P.57)を、Windows XPをお使いの方は「Microsoft ActiveSyncを設定する(Windows XP)」(▶P.59)をご参照ください。

同期の方法

同梱の「お使いになる前にディスク」からパソコンに同期ソフトをインストールした後、E30HTをパソコンに接続し、次の方法で同期を実行することができます。

- 同梱のUSBケーブルを使って同期を行います。USBケーブルをE30HTとパソコンに接続すると、自動的に同期が開始されます。
- Bluetooth®を使って接続し、同期を行うこともできます。この場合、まずE30HTとパソコンとの間でBluetooth®パートナーシップを確立する必要があります。Bluetooth®パートナーシップに関する詳細は、「Bluetooth®パートナーシップ」(▶P.116)をご参照ください。Bluetooth®による同期方法については、「Bluetooth®を使って同期する」(▶P.61)をご参照ください。

memo

◎E30HTとパソコンの情報を最新の状態に保つため、できるだけ頻繁に同期を行うことをおすすめします。

Windows Mobileデバイスセンターを設定する(Windows Vista)

Microsoft Windows Mobile デバイスセンターは、Windows Vista に新しく搭載された Microsoft ActiveSync に代わる機能です。

memo

◎Windows Vistaには、すでに Windows Mobileデバイスセンターがインストールされているバージョンもあります。ご利用のWindows VistaにWindows Mobileデバイスセンターがインストールされていない場合は、同梱の「お使いになる前にディスク」からインストールしてください。

同期の設定

E30HTをパソコンに接続し、Windows Mobileデバイスセンターを初めて起動したときは、E30HTとのパートナーシップを作成するように要求されます。以下の操作で作成してください。

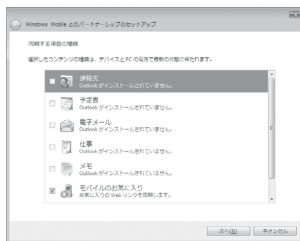
1 E30HTをパソコンに接続

Windows Mobileデバイスセンターが自動的に設定を開始します。

2 Windows Mobile デバイスセンターの初期画面で [デバイスのセットアップ]をクリック

memo

◎ Outlook 情報を同期せずにメディアファイルの転送、アップデートの確認、デバイス内の検索などを行う場合は、[デバイスをセットアップしないで接続] を選択してください。

3 同期する情報の種類を選択→[次へ]をクリック

4 デバイス名を入力→[セットアップ]をクリック

セットアップウィザードが完了すると、Windows Mobile デバイスセンターは自動的にデバイスを同期します。同期が完了すると、メールやその他の情報がE30HTに表示されます。

Windows Mobileデバイスセンターを使う

Windows Mobileデバイスセンターを起動するには、Windows Vista で [スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Mobile デバイスセンター]をクリックします。

Windows Mobileデバイスセンターでは次の操作を行うことができます。

- [モバイルデバイスの設定]をクリックし、同期設定を確認したり、変更したりできます。
- [画像、音楽、およびビデオ]→[新しい画像/ビデオクリップをインポートできます]をクリックすると、ウィザードが起動し、Windows Vista パソコンのフォトギャラリーからE30HTに写真をコピーすることができます。
- [画像、音楽、およびビデオ]→[詳細]→[Windows Media Playerからデバイスにメディアを追加する] をクリックすると、Windows Media Playerを使って音楽やビデオを同期することができます。詳しくは、「Windows Media Player Mobileを使う」(▶P.129)をご参照ください。

- [ファイル管理]→[デバイスのコンテンツの参照]をクリックし、E30HTのドキュメントやファイルを表示します。

memo

◎詳しくは、Windows Mobileデバイスセンターのヘルプをご参照ください。

Microsoft ActiveSync を設定する (Windows XP)

同梱の「お使いになる前にディスク」にはMicrosoft ActiveSync 4.5以降が含まれています。以下の操作でActiveSync 4.5以降をWindows XPにインストールし、設定してください。

memo

◎ActiveSyncはWindows 2000 SP4などにもインストールできます。対応するWindowsについては、「ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターの動作環境」(▶P.172)をご参照ください。

ActiveSyncをインストールする

1 「お使いになる前にディスク」をパソコンのディスクドライブにセット

2 [セットアップとインストール]をクリック

3 [ActiveSync] のチェックボックスを選択→[インストール] をクリック

4 ライセンス規約を読む→[同意する]をクリック

5 インストールが終わったら、[終了]をクリック

6 「Windows Mobileデバイス - はじめに」の画面で[閉じる]をクリック

同期の設定

以下の操作で同期パートナーシップを設定してください。

1 E30HTをパソコンに接続

同期セットアップウィザードが自動的に起動し、同期パートナーシップの作成をガイドします。

2 [次へ]をクリック

3 同期する情報の種類を選択→[次へ]をクリック

4 必要に応じて、「デバイスがコンピュータに接続されている間の無線データ接続を許可します」をチェック

5 [次へ]をクリック

6 [完了]をクリック

ウィザードが終了すると、ActiveSyncが自動的にE30HTを同期します。同期が完了すると、メールやその他の情報がE30HTに表示されます。

パソコンと同期する

USBケーブルまたはBluetooth®接続を通してE30HTをパソコンに接続します。

同期の開始と停止

E30HTまたはパソコンから手動で同期を行うこともできます。

■E30HTから同期する

1. [スタート]→[プログラム]→[ActiveSync]をタップ
2. [同期]をタップ
3. 完了する前に同期を中断するには[中止]をタップ

memo

◎パソコンとのパートナーシップを完全に削除するには、E30HTとパソコンを接続していない状態で、[メニュー]→[オプション]をタップしてパソコン名をタップし、[削除]をタップします。

■Windows Mobileデバイスセンターから同期する

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Mobile デバイスセンター]をクリック
2. Windows Mobile デバイスセンターの左下にある をクリック
3. 完了する前に同期を中断するには をクリック

■パソコンのActiveSyncから同期する

E30HTをパソコンに接続すると、パソコンのActiveSyncが自動的に起動し、同期を始めます。

1. 手動で同期を開始するには をクリック
2. 完了する前に同期を中断するには をクリック

同期する情報を変更する

E30HTまたはパソコンから、同期する情報の種類や範囲を変更することができます。以下の操作でE30HTから同期設定を変更します。

memo

◎E30HTの同期設定を変更する前に、E30HTをパソコンから切断してください。

1. E30HTの ActiveSync 画面で [メニュー]→[オプション] をタップ
2. 同期を行うアイテムをチェック
   チェックボックスをチェックできない場合、リストの別の情報タイプのチェックボックスをクリアしなければならない場合があります。
3. 例えば [電子メール]など特定の情報に関する同期設定を変更するには、[設定]をタップ→電子メールの同期オプションを設定
   ダウンロードサイズ制限を設定したり、ダウンロードする情報の日数を指定したりすることができます。
4. [ok]をタップ

memo

◎お気に入り、ファイル、Mediaなど、一部の情報はE30HTのActiveSyncオプションでは選択できません。これらの情報は、パソコンの Windows Mobile デバイスセンターまたはActiveSyncで選択または解除します。

◎1台のパソコンが複数のWindows Mobileデバイスと同期パートナーシップを確立することはできますが、1台のデバイスが同期パートナーシップを確立できるパソコンは最大2台までです。両方のパソコンと確実に同期が行われるよう、2台目のパソコンでは最初のパソコンと同じ同期設定を使用してください。

◎電子メールは1台のパソコンとのみ同期することができます。

同期接続に関する問題

パソコンのMicrosoft ActiveSyncでは、E30HTとの間でネットワークタイプの接続を使用することによって、シリアルUSB接続よりも高速なデータ転送が可能です。ただし、パソコンがインターネットやローカルネットワークに接続されている場合、E30HTとの接続を中断し、インターネットやネットワーク接続の方に優先的に接続されることがあります。

このような場合、[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[USBからPCへ]をタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外してください。これでパソコンはE30HTとの間でシリアルUSB接続を使用します。

Bluetooth®を使って同期する

Bluetooth®を使ってE30HTとパソコンを接続し、同期を行うことができます。

1 パソコンでBluetooth®接続を設定

パソコンでWindows Mobileデバイスセンターのヘルプ、またはActiveSyncのヘルプをご参照ください。

2 E30HTで[スタート]→[プログラム]→[ActiveSync]をタップ

3 [メニュー]→[Bluetoothから接続]をタップ

E30HTとパソコンの両方でBluetooth®機能が有効になっており、検出可能モードになっていることをご確認ください。

4 E30HTとパソコンを初めてBluetooth®で接続する場合は、E30HTでBluetooth®ウィザードを起動→パソコンとの間でBluetooth®パートナーシップを確立する

Bluetooth®パートナーシップの確立方法については、「Bluetooth®パートナーシップ」(▶P.116)をご参照ください。

memo

◎電池を節約するため、使用しないときはBluetooth®をオフにしておくことをおすすめします。

◎Bluetooth®を使ってE30HTとパソコンを接続し、同期する場合、ご利用のパソコンには Bluetooth®機能が内蔵されているか、またはBluetooth®アダプタがインストールされている必要があります。

音楽やビデオを同期する

外出先などに音楽やビデオなどを持ち出したい場合、パソコンでMicrosoft Windows Media Playerをセットアップし、E30HTとの間で音楽やビデオを同期することができます。
音楽やビデオなどのメディアファイルの同期設定は、Windows Media Playerで行います。以下の操作に従ってください。

1 パソコンにWindows Media Player 11をインストール

Windows Media Player 11は Windows XPおよびWindows Vistaに対応しています。
パソコンでWindows Mobileデバイスセンターのヘルプ、またはActiveSyncのヘルプをご参照ください。

2 USBケーブルでE30HTとパソコンを接続→Windows Media Player 11を起動

Bluetooth®を使ってE30HTとパソコンが接続されている場合は、その接続を中断してからメディアの同期を行います。

3 E30HTとパソコンのWindows Media Player 11との間で同期パートナーシップをセットアップする

E30HTのWindows Media Playerに関する詳細は、「Windows Media Player Mobileを使う」(▶P.129)をご参照ください。

情報の同期

PIM機能を使用する

連絡先

連絡先は、友人や仕事関係の人々の電話番号などを保存しておく電話帳です。
E30HTでは2種類の連絡先を作成できます。

- **Outlook連絡先**:E30HTに保存されている連絡先で、E30HTで情報を入力したり、パソコンやExchange Serverと同期できる連絡先です。各連絡先に対して、電話番号、メールアドレス、インスタントメッセージ (IM)名、会社と自宅の住所、仕事、誕生日などの情報を保存することができます。また、画像を追加したり、着信音を設定することもできます。
- **Windows Live連絡先**:Windows Live MessengerやMSNを利用してOutlookと同じように連絡先を保存します。詳細については、「Windows Live のメンバーを追加する」(▶P.97)をご参照ください。

memo

◎Windows Live連絡先は、Windows Liveをセットアップした後に利用できます。

■E30HTに連絡先を追加する

1 [スタート]→[連絡先]をタップ

2 [新規作成]をタップ→連絡先情報(名前や電話番号など)を入力

[表題]をタップすると、連絡先リストに表示されるときの形式を選択できます。
[画像の選択]をタップ→画像ファイルを選択するか、[カメラ]をタップして連絡先に保存する写真を撮影すると、着信があったときに表示される画像を設定できます。
[着信音]をタップすると、着信音の一覧から着信音を設定することができます。

3 終わったら [ok]をタップ

memo

◎連絡先に保存されていない相手から電話があった場合、通話履歴から連絡先を作成することができます。通話履歴にある電話番号をタップしたままにし、ポップアップメニューから [連絡先に保存] をタップします。
◎メッセージに含まれる電話番号を保存するには、電話番号をタップし、[メニュー]→[連絡先に保存] をタップします。
◎連絡先の情報を編集するには連絡先をタップし、[メニュー]→[編集]をタップします。

情報の整理と検索

■連絡先情報を見る

1 [スタート]→[連絡先]をタップ

2 タッチスクリーンを上方向にスライド

連絡先画面が下にスクロールします。
下方向にスライドすると、連絡先画面が上にスクロールします。

memo

◎スクロールの詳細については、「スクロールとパン操作について」(▶P.40)をご参照ください。

3 確認したい連絡先をタップ

最新の発着信履歴が、電話番号やメールアドレスなどの情報と一緒に表示されます。

■複数の連絡先をグループ化する

関連性のある連絡先を分類してグループ化すると、管理しやすくなります。

1 新しい連絡先を作成、または既存の連絡先を編集

2 [分類項目]をタップ

3 会社関係（取引先）、個人などの分類項目を選択、または[新規]をタップして新しい分類項目を作成

4 終わったら[ok]をタップ

グループ化して連絡先を表示するには、[メニュー]→[フィルター]をタップ、分類項目をタップします。

memo

◎連絡先を分類項目のフィルターで表示しているときは、新しく作成した連絡先にもこの分類項目が自動的に割り当てられます。

■連絡先を活用する

連絡先の一覧は、さまざまな方法で活用したりカスタマイズすることができます。以下はその活用例です。

1 [スタート]→[連絡先]をタップ

2 連絡先の一覧で、次のような操作を行う

- 名前表示では、名前を入力するか、または画面右端のアルファベットのインデックスから連絡先を検索できます。名前表示を切り替えるには、[メニュー]→[表示方法]→[名前] をタップします。
- 1つの連絡先に関する情報の概要を表示するには、その連絡先をタップします。ここから通話を始めることができます。

- 連絡先をタップしたままにすると、この連絡先で実行できる操作(電話、電子メール送信など)がポップアップメニューで表示され、選択することができます。
- 特定の会社の連絡先を表示するには、[メニュー]→[表示方法]→[勤務先] をタップし、会社名をタップします。

■E30HTの連絡先を検索する

多くの連絡先が登録されている場合、目的の相手を見つけるにはいくつかの方法があります。

1 [スタート]→[連絡先]をタップ

2 名前表示になっていない場合は、[メニュー]→[表示方法]→[名前]をタップして名前表示に切り替える

3 次のいずれかの方法で検索する

- 入力パネルで検索する名前を入力すると、該当する連絡先が表示されます。テキストボックスをタップして入力した文字を消去すると、すべての連絡先が表示されます。
- 画面右端のアルファベットのインデックスを上下にスライドすると、順番にアルファベットを選択できます。
- 分類項目から検索します。連絡先の一覧で [メニュー]→[フィルター]をタップし、連絡先の分類項目をタップします。すべての連絡先を表示するには、[すべての連絡先] をタップします。

連絡先情報を共有する

■連絡先の詳細をビームする

Bluetooth®を使うと、E30HTから別の携帯電話やPDAへ簡単に連絡先情報を送信できます。

1 [スタート]→[連絡先]をタップ→連絡先を選択

2 [メニュー]→[連絡先の送信]→[ビーム]をタップ

3 連絡先をビームする相手デバイスを選択

memo

◎ビームを行うには、E30HTと相手デバイスのBluetooth®機能がオンになっており、検出可能モードに設定されている必要があります。また、連絡先情報をパソコンにビームすることもできます。詳しくは、「Bluetooth®で情報をビームする」(▶P.118)をご参照ください。

予定表

予定表は、会議やイベントなどの予定を管理するためのツールです。近日の予定はToday画面に表示することができます。パソコンでOutlookをご利用の場合は、E30HTとパソコンの間で予定表を同期させることができます。また、予定表にサウンドやライトの点滅を設定すれば、予定表をアラーム代わりに利用できます。
予定は日単位、週単位、月単位、年単位、予定一覧のいずれかの形式で表示できます。予定をタップすると、その予定の詳細情報を表示できます。

予定を登録する

■予定を設定する

1 [スタート]→[予定表]をタップ

2 [メニュー]→[新しい予定]をタップ

3 予定の件名を入力

4 次のいずれかの方法で予定を作成

- 誕生日などの終日の予定については、[終日] を [はい] に設定します。
- 予定の開始時刻と終了時刻が決まっている場合は、それぞれを設定します。

予定の分類項目を設定しておくと、関係のある予定をグループ化できます。[分類項目] をタップして、会社関係 (取引先)、季節、個人、祝日などから選択するか、または[新規]をタップして新しい分類項目を作成します。[ok]をタップして予定の入力画面に戻ります。

5 予定の入力が完了したら、[ok]をタップ

予定表に戻ります。

memo

◎終日イベントは予定表内ではなく、予定表画面の一番上にバナーで表示されます。
◎予定をキャンセルするには、キャンセルする予定をタップしたままにし、ポップアップメニューから [予定の削除] をタップします。
◎日単位の表示で自動的に時刻を入力するには、新しい予定を入れる時間帯をタップし、[メニュー]→[新しい予定] をタップします。

■すべての新規予定にアラームを設定する

すべての新しい予定に、自動的にアラームを設定することができます。

1 [スタート]→[予定表]をタップ

2 [メニュー]→[ツール]→[オプション]→[予定]タブをタップ

3 [新しいアイテムにアラームを設定する]をチェック

4 開始時刻に対して事前に通知する時間を設定

5 [ok]をタップ

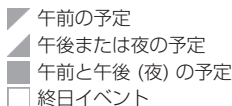
予定表に戻ります。

PIM機能

予定を表示する

お買い上げ時の設定では、予定表は予定一覧形式で表示されます。表示形式は日単位、週単位、月単位、年単位があります。

《予定一覧表示》

- 予定をタップすると、その予定の詳細情報を表示できます。
- 予定を分類項目別に表示するには、[メニュー]→[フィルター] をタップし、分類項目を選択します。
- 予定表で予定の表示形式を変更するには、[メニュー]→[ツール]→[オプション]→[全般] タブをタップします。[既定の画面] で予定表の表示形式を選択します。
- [月単位] 表示の場合、次のアイコンが使用されます。
  - ◤ 午前の予定
  - ◢ 午後または夜の予定
  - ■ 午前と午後 (夜) の予定
  - □ 終日イベント

予定を送信する

■会議出席依頼を送る

予定表を使って、OutlookかOutlook Mobileを使用している相手に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

1 [スタート]→[予定表]をタップ

2 新しい予定を登録、または既存の予定を開く→[メニュー]→[編集]をタップ

3 [出席者]をタップ

4 [必須出席者の追加]／[任意出席者の追加]をタップ

5 出席を依頼する連絡先の名前をタップ

6 [完了]をタップ

7 [ok]をタップ

出席者に会議出席依頼が送信されます。

memo

◎Outlookメールアカウントを使って会議出席依頼を送信すると、出席依頼は次回E30HTとパソコン、またはE30HTとExchange Serverを同期させるときに出席者に送信されます。

◎出席者が会議出席依頼を受け入れると、出席者のスケジュールに会議予定が追加されます。出席者からの承諾が送り返されると、出席依頼をした側の予定表も自動的に更新されます。

◎会議出席依頼を送るときに使うメールアカウントを選択する場合は、[メニュー]→[ツール]→[オプション]→[予定]タブをタップします。[会議出席依頼の送信方法]をタップし、Outlookメール、POP3/IMAP4、またはWindows Liveアカウントのいずれかを選択します。

仕事

仕事は大事な用件などを管理するためのツールです。1回のみの仕事や、繰り返しの仕事を設定できます。また、仕事にアラームを設定したり、分類項目別に整理することもできます。
仕事は仕事一覧に表示されます。期限の過ぎた仕事は赤で表示されます。

■仕事を作成する

1 [スタート]→[プログラム]→[仕事]をタップ

2 [メニュー]→[新しい仕事]をタップ→仕事の件名、開始日や期限、優先度などの詳細を入力

仕事の分類項目を設定しておくと、関係のある仕事をグループ化できます。[分類項目] をタップして、会社関係 (取引先)、季節、個人、祝日などから選択するか、または[新規]をタップして新しい分類項目を作成します。[ok]をタップして仕事の入力画面に戻ります。

3 仕事の入力が完了したら、[ok]をタップ

仕事一覧に戻ります。

memo

◎時間設定などのない仕事は簡単に作成できます。[ここをタップして新しい仕事を追加] に件名を入力し、Enter ボタンを押してください。仕事入力欄が表示されていない場合、[メニュー]→[オプション] をタップし、[仕事入力バーを表示する] をチェックします。

■仕事の優先度を変更する

仕事を優先度別に分類するには、まず各仕事に優先度を付けなければなりません。

1 [スタート]→[プログラム]→[仕事]をタップ

2 優先度を変更する仕事をタップ

3 [編集]→[優先度]で優先度のレベルをタップ

4 [ok]をタップ

仕事一覧に戻ります。

memo

◎お買い上げ時の設定では、新しい仕事の優先度は「標準」になっています。

■新しい仕事にアラームを設定する

新しく作成するすべての仕事に対し、自動的にアラームを設定することができます。

1 [スタート]→[プログラム]→[仕事]をタップ

2 [メニュー]→[オプション]をタップ

3 [新しいアイテムにアラームを設定する]をチェック

4 [ok]をタップ

仕事一覧に戻ります。

memo

◎期限のない仕事に対してアラームは設定できません。

■仕事一覧に開始日と期限を表示する

1 [スタート]→[プログラム]→[仕事]をタップ

2 [メニュー]→[オプション]をタップ

3 [開始日と期限を表示する]をチェック

4 [ok]をタップ

仕事一覧に戻ります。

■仕事を検索する

仕事一覧が長い場合、仕事の一部のみを表示したり、特定の仕事がすぐに見つかるよう並べ替えることができます。

1 [スタート]→[プログラム]→[仕事]をタップ

2 仕事一覧で、次のような操作を行う

- 一覧を分類します。[メニュー]→[並べ替え] をタップし、並べ替えのオプションをタップします。
- 分類項目別に仕事を表示します。[メニュー]→[フィルター]をタップし、表示する分類項目をタップします。

memo

◎仕事をさらに絞り込むには [メニュー]→[フィルター]→[作業中の仕事]または[終了した仕事] をタップします。

メモ

メモは、アイデア、問題、覚え書きなどを書き留めたり、仕事や会議のメモを取る場合に便利です。手書きや入力パッド入力でメモを作成したり、ボイスメモを録音したりできます。

メモに情報を入力する

メモに情報を入力するには何通りかの方法があります。入力パネルを使い、テキスト形式で入力することができます。また、スタイラスを使って画面に文字を手書きしたり、絵を描いたりすることもできます。

■既定の入力モードを設定する

メモに絵を描くことが多い場合は、手書きを既定の入力モードとして設定しておくと便利です。テキスト入力をよく使う場合は、入力を選択します。

1 [スタート]→[プログラム]→[メモ]をタップ

2 メモの一覧で [メニュー]→[オプション]をタップ

3 [既定のモード]で次のいずれかをタップ

- **手書き**: 絵を描いたり、手書きで文字を書いてメモを作成します。
- **入力**: テキスト形式の文字を入力してメモを作成します。

4 [ok] をタップ

■メモを作成する

1 [スタート]→[プログラム]→[メモ]をタップ

2 メモの一覧で[新規]をタップ

3 入力パネルで文字を入力／スタイラスで文字を手書き入力

4 入力が済んだら[ok]をタップ

メモの一覧に戻ります。

◎3本のラインを越えて書かれた文字は、文字でなく絵として認識されます。

■メモに絵を描く

1 [スタート]→[プログラム]→[メモ]をタップ

2 メモの一覧で [新規]をタップ

3 スタイラスを使用して画面に絵を描く

絵の周囲にボックスが表示されます。

4 描画が済んだら[ok]をタップ

メモの一覧に戻ります。

◎絵をコピーしたり、削除したりするために選択するには、絵をしばらくタップしたままにし、スタイラスを画面から離すと絵が選択されます。

ボイスメモを録音する

ボイスメモを録音したり、録音をメモに追加したりできます。

■ボイスメモを作成する

1 [スタート]→[プログラム]→[メモ]をタップ

録音ツールバーが表示されていない場合は、[メニュー]→[録音ツールバーの表示] をタップします。

2 次のいずれかの方法でボイスメモを録音

- ボイスメモを録音する場合は、メモ一覧から行います。
- 録音をメモに追加するには、まずメモを作成するか、既存のメモを開きます。

3 録音アイコン (●) をタップして録音を開始

4 E30HTのマイクに向かって録音

5 録音が終わったら、停止アイコン (■) をタップ

6 開いているメモに音声を追加する場合は、録音終了後に[ok]をタップ

メモの一覧に戻ります。

開いているメモに録音すると、メモにアイコンが表示されます。メモ一覧で録音すると、音声ファイルとしてメモ一覧に表示されます。

■録音形式を変更する

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[入力]をタップ

2 [オプション]タブをタップ→[録音形式]のリストから形式を選択

- **PCM**: 高音質で録音できます。リストからビットレート、ステレオまたはモノラル、毎秒使用するメモリを選択します。
- **GSM 6.10**: テキスト形式の文字を入力してメモを作成します。

3 [ok]をタップ

memo

◎ メモの画面からも録音形式を変更できます。メモ一覧で [メニュー]→[オプション]→[入力オプション] リンクをタップし、[オプション] タブをタップします。

メールを使用する

メールについて

メールは電子メールアカウントやメッセージを管理するツールです。Outlookメールや電子メールなどを送受信したり、携帯電話ネットワークを使ってCメールを受信することができます。また、VPN接続を使ってメールサーバーにもアクセスできます。

Cメールを利用する

Cメールは、Cメール対応のau携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。
E30HTでは、Cメール受信のみ行うことができます。Cメールの作成、送信はできません。

Cメールを受け取る

《Today画面》

1 Cメールを受信

Cメールセンターから Cメールを受信すると、新着メッセージアイコン( )が表示され、Today画面に受信件数が表示されます。

2 次のいずれかの方法でメッセージの受信トレイを開く

- [スタート]→[メール]→[メッセージ]をタップ
- ホーム画面で をタップ
- Today画面で[メッセージ]をタップ

3 Cメールを選択

Cメールの内容が表示されます。

memo

◎操作中にCメールを受信した場合は、 が表示され、Cメール受信通知画面が表示されます。
◎ は、メッセージの受信トレイを開くと消灯します。
◎Cメールの受信料は、無料です。
◎受信したCメールでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎受信できるCメールは、Cメール対応のau電話からのメールと、電子メール形式のお知らせメールです。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎受信メールに絵文字が含まれていても表示されません。

電子メールを利用する

電子メールアカウントの種類

メールの送受信を実行する前に、E30HTで電子メールアカウントを設定する必要があります。E30HTで設定できるメールの種類は次の通りです。

- Outlook メール: パソコンやExchange Serverで同期させるメールです。
- インターネットメール: インターネットサービスプロバイダ (ISP)が提供するPOP3/IMAP4メールアカウントです。
- Web メール: フリーメールなどです。

電子メールセットアップウィザード

Windows Mobileの電子メールセットアップウィザードを使うと、メールアカウントを簡単に設定することができます。プロバイダ(ISP) やその他のメールプロバイダ、Webベースのフリーメールなどの電子メールアカウントを追加できます。

Outlook電子メールの設定

同期ソフトウェアをパソコンにインストールして同期パートナーシップを確立すると、E30HTでOutlookメールを送受信する準備が完了します。同期ソフトウェアのインストール、同期パートナーシップの確立については、「パソコンと同期する」(▶P.60)をご参照ください。

POP3またはIMAP4 メールアカウントを設定する

メールの送受信を実行する前に、インターネットサービス プロバイダ(ISP)から取得したメールアカウントや、VPNサーバー接続を使ってアクセスするアカウントを設定する必要があります。

1 [スタート]→[メール]→[電子メールの設定]をタップ

2 メールアドレスとパスワードを入力→[次へ]をタップ

3 [インターネットから電子メール設定を自動的に取得する] をチェック→[次へ]をタップ

このオプションを選択すると、手動でメール設定を行わなくても、メールサーバーによって自動的に設定されます。ただし、サーバーの種類によっては、自動的に設定されない場合があります。

4 自動設定が完了したら、[次へ]をタップ

メールサーバーが自動設定に対応していない場合、以降の画面でメールサーバーやユーザー名を設定します。詳しくは、「メールサーバー設定を指定する」(▶P.74)をご参照ください。

5 名前を入力→[次へ]をタップ

[アカウントの表示名]を編集し、プロバイダ名などが分かるように名称を変更できます。

6 ユーザー名にログイン名を入力→パスワードを入力→[パスワードの保存]にチェック→[次へ]をタップ

この時点でメール設定は完了です。

7 [自動送受信]リストでE30HTが自動的にメールを送受信する頻度を選択

[全ダウンロード設定の確認]をタップすると、ダウンロードオプションを選択したり、メール形式をHTMLとテキストのどちらかから選ぶなど、各種設定が行えます。詳しくは、「ダウンロードとメール形式をカスタマイズする」(▶P.74)をご参照ください。

8 [完了]をタップ

- [接続できません] という警告メッセージが表示された場合は、[閉じる] をタップしてメッセージを閉じた後、次の操作でメールアカウントを設定してください。
  [メニュー]→[ツール]→[オプション]をタップ→設定するアカウントを選択→[アカウントの設定の編集]をタップ→設定内容を変更→[完了]をタップ

■ メールサーバー設定を指定する

メールサーバーが自動設定に対応していない場合、ご利用のプロバイダにお問い合わせになり、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定をご確認ください。

また、次のようなオプションがあります。

- 必要に応じて、[送信サーバーで認証を要求する]にチェックを入れてください。
- 送信メールサーバーが、メール送信時には異なるユーザー名とパスワードを必要とする場合があります。この場合は、[送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する]のチェックを外してください。メール送信時には別のユーザー名とパスワードを入力します。
- ご利用のプロバイダがメールのセキュリティを高めるためにSSL接続を使用している場合、[サーバーの詳細設定]をタップし、[受信電子メールにはSSLが必要]/[送信電子メールにはSSLが必要]にチェックを入れてください。
  [ネットワーク接続]の一覧からインターネット接続時に使用するデータ接続を選択します。

■ ダウンロードとメール形式をカスタマイズする

POP3またはIMAP4メールアカウントを設定して[完了]をタップする前に、画面一番下に表示される[全ダウンロード設定の確認]をタップしてダウンロードオプション、メッセージ形式、その他の設定を選択します。

オプション	説明
自動送受信	インターネットに自動接続し、メッセージを送受信する間隔を選択できます。
メッセージのダウンロード	E30HTにメッセージをダウンロードする日数を設定します。
詳細設定	**[送信]をクリックしたとき送受信を実行する**: お買い上げ時の設定では、[送信]をタップするとすぐにメッセージが送信されます。すぐに送信せずに送信トレイに保存するには、チェックを外してください。保存されたメッセージは、[メニュー]→[送受信]をタップして送信します。 **ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する**: インターネットに自動接続する間隔が設定されている場合、E30HTへのデータローミングも行うことができます。この方法は接続料金がかかるため、通常はチェックを外しておくことをおすすめします。 **メッセージの削除時**: E30HTで削除した場合に、サーバー上のメールも削除するかどうか設定します。
メッセージ形式	HTMLかテキストのいずれかを選択します。
メッセージのダウンロード制限	メールのダウンロードサイズを選択します。大量のメールを受信する場合、サイズの小さなメールをダウンロードするか、またはヘッダのみをダウンロードするよう選択してください。

memo

◎ 自動送受信をオンにすると電池の消耗が早くなります。

電子メールを送る/受ける

メールアカウントを設定すると、メールの送受信を行うことができます。

電子メールを作成・送信する

■ メールを作成し、送信する

1. **[スタート]→[メール]をタップ→電子メールアカウントを選択**
2. **[メニュー]→[新規]をタップ**
3. **宛先の電子メールアドレスを入力**
   複数の相手に送る場合はセミコロン (;) で区切ります。
   連絡先に保存されているメールアドレスから選択するには、[宛先]をタップします。
4. **件名を入力**
5. **メッセージを入力**
   頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、[メニュー]→[マイ テキスト]をタップし、メッセージを入力します。
   スペルチェックを実行するには、[メニュー]→[スペル チェック]をタップします。
6. **[送信]をタップ**

memo

◎記号／顔文字の入力については、「記号／顔文字を入力する」（▶P.48）をご参照ください。
◎優先度を設定するには、[メニュー]→[メッセージのオプション]をタップします。
◎オフラインで作業している場合、作成したメールは送信トレイに保存され、次回接続が確立したときに送信されます。

■メールにファイルを添付する

1 メッセージ作成画面で[メニュー]→[挿入] をタップ→添付するアイテム (画像／ボイス メモ／ファイル) をタップ

2 添付するファイルを選択／ボイス メモを録音

電子メールを表示し、返信する

■メッセージ一覧を見る

受信したメッセージは、受信トレイのメッセージ一覧から確認できます。
メッセージ一覧は、スクロールとパン操作でも確認ができます。詳細については、「スクロールとパン操作について」（▶P.40）をご参照ください。

■受信メールを読む

お買い上げ時の設定では、1メールにつき、2KBの情報だけがダウンロードされるように設定されています。
2KB以上の情報は、以下の方法でダウンロードできます。

- メッセージを最後までスクロールし、[メッセージと添付ファイルをすべて取得する]をタップします。
- [メニュー]→[メッセージのダウンロード]をタップします。

次回[メニュー]→[送受信] をタップしてメールを送受信したときに、メッセージがダウンロードされます。

memo

◎メッセージ一覧のサイズの欄には、メッセージのローカルサイズとサーバーサイズが表示されます。メッセージ全体がダウンロードされている場合でも、サーバーとE30HTではメッセージサイズが多少異なる場合があります。

■添付ファイルをダウンロードする

添付ファイルはメッセージの件名の下に表示されます。添付ファイルをタップすると、ファイル全体がダウンロードされている場合、ファイルを開きます。全体がダウンロードされていない場合、次回の送受信時にダウンロードするようにセットされます。

memo

◎メッセージに複数のファイルが添付してある場合、すべての添付ファイルがダウンロードされます。
◎添付ファイルを自動的にダウンロードするようE30HTを設定するには、「電子メール設定をカスタマイズする」（▶P.78）をご参照ください。

■ メールを返信・転送する

1 メッセージを開く→[返信]をタップ

- 送信者全員に返信するときは、[メニュー]→[返信]→[全員へ返信]をタップします。
- メールを転送するときは、[メニュー]→[返信]→[転送]をタップします。

2 返信内容を入力

頻繁に使用するメッセージをすばやく挿入するには、[メニュー]→[マイ テキスト]をタップし、メッセージを入力します。
スペルチェックを実行するには、[メニュー]→[スペル チェック]をタップします。

3 [送信] をタップ

◎ヘッダ情報を表示するには、上へスクロールします。
◎オリジナルメッセージを常に引用する場合は、メールアカウント一覧で[メニュー]→[オプション]→[メッセージ]タブをタップし、[電子メールに返信するときに、本文を含める]にチェックを入れます。
◎Outlookメールアカウントでは、オリジナルメッセージを編集しないままにすると、返信するデータ量が少なくなり、通信パケット数を節約できます。

■ HTMLメールを表示・返信する

すべてのメールアカウントからHTMLメールを受信、表示、返信できます。
HTML形式はレイアウトやサイズが変更されることなく維持されます。

1 メッセージ形式をHTMLに設定

メッセージ形式の設定方法については、「電子メール設定をカスタマイズする」(▶P.78)をご参照ください。

2 [スタート]→[メール]をタップ

メールアカウントを選択します。

3 受信したHTMLメールを開く

4 画面を横方向にスクロールしてメッセージをすべて表示するには、[右にスクロールする]をタップ

5 メッセージの最後に表示された [残りのメッセージを取得する]をタップ

メッセージ全体をダウンロードし、表示できます。

6 メールがすぐにダウンロードされない場合は、[メニュー]→[送受信]をタップ

7 メッセージに画像が表示されない場合は、[インターネット上の画像をブロック]をタップ→[インターネット上の画像をダウンロードする]をタップ

8 [メニュー] をタップ→送信者に返信するか、メッセージを転送するかを選択

9 返信内容を入力→[送信] をタップ

◎メールにはWebページへのハイパーリンクを含めることができます。

電子メールをダウンロードする

メッセージをダウンロードする方法は、設定されたメールアカウントにより異なります。

■Outlookメールを送受信する

1 [スタート]→[プログラム]→[ActiveSync]をタップ

2 USBケーブルかBluetooth®を使い、E30HTをパソコンに接続

3 自動的に同期が開始

E30HTがOutlookメールを送受信します。

memo

◎ActiveSyncの[同期]をタップするか、またはOutlook Mobileで[メニュー]→[送受信]をタップすると、手動でいつでも同期を行うことができます。

■POP3/IMAP4メールを送受信する

プロバイダの提供するメールアカウントや、VPN サーバーを使用したアカウントをご利用の場合は、リモートメールサーバーを使ってメッセージを送受信できます。メッセージを送受信する前に、まずインターネットかネットワークに接続する必要があります。

1 [スタート]→[メール]をタップ→POP3またはIMAP4メールアカウントを選択

2 [メニュー]→[送受信]をタップ

E30HTのメールとメールサーバーが同期されます。新しいメッセージがE30HTの受信トレイにダウンロードされ、E30HTの送信トレイにあるメッセージは送信されます。また、サーバーから削除されたメッセージはE30HTの受信トレイからも削除されます。

電子メール設定をカスタマイズする

■Outlookメールのダウンロードサイズと形式を変更する

1 E30HTをパソコンから切断する

2 [スタート]→[プログラム]→[ActiveSync]をタップ

3 [メニュー]→[オプション]をタップ→[電子メール] を選択→[設定] をタップ

4 メール同期オプション画面で以下の設定を行う

- [メッセージの最大サイズ]で任意のメールサイズを選択します。
- [メッセージ形式]でHTMLまたはテキストを選択します。

5 ActiveSync を閉じてE30HTをパソコンに再接続

■POP3/IMAP4メールのダウンロードサイズと形式を変更する

1 [スタート]→[メール]をタップ→アカウント選択画面で[メニュー]→[オプション] をタップ

またはアカウント選択後のメッセージ一覧画面で [メニュー]→[ツール]→[オプション] をタップします。

2 メールアカウントをタップ

3 [ダウンロード サイズの設定]をタップ

4 [メッセージのダウンロード制限]から任意のメールサイズを選択

5 [メッセージ形式]で HTMLまたはテキストを選択

6 [完了]をタップ

■全員に返信するときにメールアドレスを除外する

Outlookメールで全員に返信する場合、自分のメールアドレスも宛先に含まれます。自分自身のメールアドレスが宛先から除外されるよう、ActiveSyncをカスタマイズすることができます。

1 **[スタート]→[プログラム]→[ActiveSync]をタップ**

2 **[メニュー]→[オプション]→[電子メール]→[設定]をタップ**

3 **[詳細設定]をタップ**

4 **[標準の電子メール アドレス]に自分のメールアドレスを入力**

5 **[ok]をタップ**

■Outlookメールで添付ファイルを自動受信する

1 **[スタート]→[プログラム]→[ActiveSync]をタップ**

2 **[メニュー]→[オプション]→[電子メール]→[設定]をタップ**

3 **[添付ファイルを含める]を選択**

4 **[ok] をタップ**

■IMAP メールで添付ファイルを自動受信する

1 **[スタート]→[メール]をタップ**

2 **[メニュー]→[オプション]をタップ**

3 **IMAPアカウントをタップ**

4 **[ダウンロードサイズの設定]をタップ**

5 **[添付ファイルのダウンロード]からダウンロードサイズを選択**

6 **[完了]をタップ**

■添付ファイルをmicroSDメモリカードへ保存する

1 **[スタート]→[メール]をタップ→メールアカウントをタップ**

2 **[メニュー]→[ツール]→[オプション]→[保存場所]タブをタップ**

3 **[添付ファイルの保存にはこのメモリ カードを使用する(利用可能な場合)]をチェック**

4 **[ok]をタップ**

会社のメールと会議予定機能を使用する

Exchange Serverと同期する

オフィスから離れても会社のメールや会議予定を管理できるよう、E30HTをインターネットとワイヤレスで接続し、会社の Exchange Serverと情報を同期させることができます。また、必要に応じて会社のアドレス帳にアクセスすることもできます。このためには、会社のメールサーバーがExchange ActiveSync搭載のMicrosoft Exchange Serverを実行している必要があります。

E30HTでExchange Serverとの接続を設定する

Exchange Serverにアクセスしたり、同期を行う前に、E30HTでExchange Serverとの接続を確立する必要があります。ネットワーク管理者からExchange Server名(Outlook Web Accessサーバー名)、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを取得してください。
E30HTをパソコンと同期していない場合は、次の操作でExchange Serverとの接続設定を行ってください。

1 [スタート]→[メール]→[電子メールの設定]をタップ

2 メールアドレスとパスワードを入力→[次へ]をタップ

3 [インターネットから電子メール設定を自動的に取得する]のチェックを外す→[次へ]をタップ

4 [電子メールプロバイダ]リストから[Exchangeサーバー]を選択→[次へ]を２回タップ

5 [Exchange Server設定を自動的に検出する]をチェック→[次へ]をタップ

6 ドメインを入力→[次へ]をタップ

7 [サーバーアドレス]でExchange Server名を入力→[次へ]をタップ

8 Exchange Server と同期させる情報の種類をチェック

例えば、メール情報の同期設定を変更する場合は、情報の種類を選択した後、[設定] をタップします。

9 [完了]をタップ

memo

◎以前にもメールをパソコンと同期したことがある場合は、E30HTでActiveSyncを開き、[メニュー]→[サーバーのソースの追加]をタップしてExchange Serverとの接続を設定してください。同期の種類を選択する段階で、Exchange Serverの[電子メール]にチェックを入れる前に、まずパソコンの[電子メール]のチェックを外してください。
◎Exchange Serverの設定を変更するには、ActiveSyncを開き、[メニュー]→[サーバーの構成] をタップします。

同期を開始する

Exchange Serverとの同期を開始する前に、E30HTのインターネット接続が確立しており、ワイヤレスで同期が可能なことをご確認ください。接続に関する詳細は、「インターネットを使用する」(▶P.84)をご参照ください。
Exchange Serverとの接続を設定した後、自動的に同期が開始されます。また、ActiveSyncで[同期]をタップすると、手動で同期を開始することができます。

memo

◎E30HTをUSBまたはBluetooth®接続で会社のコンピュータに接続する場合は、この接続を利用してネットワークに接続し、Outlookメールやその他の情報をE30HTにダウンロードできます。

会社のメールを管理する

E30HTから会社のメールにアクセスし、メッセージを簡単に管理することができます。DirectPush、メールのフェッチ、メールのフラグなどは、電子メールを管理する上で便利な機能の一例です。

memo

◎一部のメッセージ機能は、会社でお使いのMicrosoft Exchange Serverバージョンにより異なります。特定機能が利用できるかどうかは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

DirectPush による自動同期

DirectPush技術(プッシュメール機能)により、Exchange Serverの受信トレイに配信された新着メールをすぐにE30HTで受信することができます。この機能を利用すると、連絡先、予定表、仕事などのアイテムも、Exchange Serverに変更が加えられた時点で、同時にE30HTでも更新されます。DirectPushを利用するには、E30HTでパケット通信接続が有効になっている必要があります。

また、DirectPushを有効にする前に、E30HTとExchange Serverとの間でまず完全な同期を行う必要があります。

memo

◎DirectPush機能は、会社でMicrosoft Exchange Server 2003 Service Pack 2(SP2) with Exchange ActiveSync以降のバージョン、または同等のプッシュメールソリューションを導入している場合のみご利用になれます。

■Comm ManagerでDirectPushを有効にする

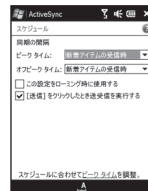
1 [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Comm Manager]をタップ

2 Comm Manager画面で[Microsoft DirectPush]をタップ

■ActiveSyncでDirectPushを有効にする

1 E30HTのActiveSyncで[メニュー]→[スケジュール]をタップ

2 [ピークタイム]と[オフピークタイム]で[新着アイテムの受信時]を選択

memo

◎DirectPushが無効のときは、メールを手動で受信してください。

◎パケット通信とワイヤレスLAN接続が同時にオンになっている場合、DirectPush機能は常にワイヤレスLANを使用します。

同期スケジュール

DirectPushを使用しない場合は、Outlookメールと情報を定期的に同期するためのスケジュールを設定できます。メールの量が多い [ピークタイム] (通常は勤務時間中など) にどれくらいの頻度で同期を行うか、メールの量が少ない [オフピークタイム] にはどれくらの頻度で同期を行うかを設定します。

1 E30HTのActiveSyncで[メニュー]→[スケジュール]をタップ

2 [ピークタイム]を設定

メールを頻繁に受信できるよう、[ピークタイム] には短い間隔を指定してください。

3 [オフピークタイム]を設定

[オフピークタイム] には長い間隔を指定してください。

◎ピークとオフピークタイムの時間帯を設定するには、[スケジュールに合わせてピークタイムを調整]をタップします。

メールのフェッチによるインスタントダウンロード

メールのフェッチ機能を使うと、送受信を行わなくても、すぐにメール全体をダウンロードできます。この方法では、メールのメッセージ部分だけをダウンロードするため、データ通信コストがそれほどかかりません。

memo

◎メールのフェッチ機能を利用するには、会社でMicrosoft Exchange Server 2007以降が導入されている必要があります。

1 [スタート]→[メール]→[Outlookメール]をタップ

2 メールのメッセージをタップして開く

お買い上げ時の設定では、メッセージの最初の数KBだけが表示されます。メール全体をダウンロードするには、メッセージの最後までスクロールし、[残りのメッセージを取得する]をタップするとメッセージ全体を読むことができます。

「メッセージをダウンロード中」の進捗が表示されます。メッセージの本文がダウンロードされたことが表示されるまでお待ちください。

◎メールの初期ダウンロードサイズなど、メールの同期オプションを変更する場合は、「メール設定をカスタマイズする」(▶P.78)をご参照ください。

会議出席依頼を管理する

E30HTから予定や会議出席依頼を送信すると、相手に会議への出席を依頼し、相手が出席可能かどうかなどを確認できます。

会議出席依頼を受信した場合、この要求に応じるか、拒否するかのいずれかの方法で返信します。会議出席依頼を使うと、重なった会議があるかどうかなども明確にチェックできます。

memo

◎会議出席依頼の管理機能をご利用になるには、会社がMicrosoft Exchange Server 2007以降を導入している必要があります。

■会議出席依頼に返信する

会議出席依頼メールを受信すると、E30HTに通知が表示されます。

1 [表示]をタップしてメールを開く

2 会議出席依頼に応じるには [承諾] をタップ、または会議に出席できない場合は[メニュー]→[辞退]をタップ

会議出席依頼に返信する前に、[予定表の表示] をタップして会議の時間帯の予定を確認することができます。

会議時間が自分の他の予定と重なる場合は、メール上方に「スケジュールの競合」と表示されます。

3 送信前に返信メールを編集するかどうかを選択→[OK]をタップ

会議出席依頼を承諾すると、会議の予定がE30HTの予定表に自動的に追加されます。

■ 会議出席者の一覧を表示する

1 [スタート]→[予定表]をタップ

2 以前送信した会議出席依頼をタップ→[出席者] をタップ

必須および任意出席者の一覧が表示されます。

memo

◎会議出席依頼の作成方法については、「予定を送信する」(▶P.67)をご参照ください。
◎自分が招集した会議を選択すると、誰が会議出席依頼を承諾し、誰が辞退したかが表示できます。
◎出席者の連絡先を表示するには、出席者の名前をタップします。出席者が連絡先に登録されている相手の場合、すぐに連絡先情報を表示できます。出席者が連絡先に登録されていない場合、[共有連絡先]で連絡先情報をご確認ください。

共有連絡先で連絡先を検索する

E30HTに保存された連絡先のほかに、会社の共有連絡先で連絡先情報を入手することもできます。共有連絡先にワイヤレスアクセスすれば、会社の社員に簡単にメールや会議出席依頼を送信できます。

memo

◎共有連絡先へアクセスするには、会社が Microsoft Exchange Server 2003 SP2以降を導入しており、Exchange Serverとの同期が完了している必要があります。

1 次のいずれかの方法でExchange Serverと同期を行う

- 連絡先で [メニュー]→[共有連絡先] をタップします。
- 新しいメッセージで [宛先]をタップします。[メニュー]→[受信者の追加]をタップし、[共有連絡先]をタップします。
- 予定表の新しい会議出席依頼で[出席者] をタップし、一覧の一番上にある[共有連絡先]をタップします。

2 相手の名前の最初の数文字を入力→[検索]をタップ

検索結果一覧で、目的の連絡先をタップします。

memo

◎共有連絡先から入手した連絡先情報は、[メニュー]→[連絡先に保存]をタップしてE30HTに保存することができます。
◎共有連絡先に登録されていれば、姓、名前、表示名、メールアドレス、事業所などの情報を使って目的の相手を検索できます。

インターネットに接続する

インターネットに接続する方法

E30HTは、ワイヤレスや従来のネットワーク機能を使ってインターネットや社内ネットワークに接続できます。次のいずれかの方法が使用できます。
- ワイヤレスLAN
- パケット通信(PacketWIN)
- VPN(Virtual Private Network)やプロキシ接続など社内ネットワーク

■インターネットブラウザについて

Internet Explorer MobileやOperaブラウザによって、パソコン向けのWebページを閲覧できます。
Operaブラウザは、Webページをより便利に閲覧することができるブラウザです。画面に触れるだけでページを拡大/縮小やスクロールさせたり、複数のページを同時に開いたり、本体の向きに合わせて画面を自動的に回転したりできます。

memo

◎ご利用の電波状態により情報の取得に時間がかかる場合があります。
◎インターネット上のコンテンツには、一部の方に不快感を与えるものも存在します。本サービスによる検索の結果、このようなデータがリンクされたり、参照されたりすることも予想されます。ご利用に関してはご注意ください。
◎画像を含むホームページの閲覧など、データ量の大きい通信を行うと通信料が高額となりますので、パケット通信料割引サービスのご加入をおすすめします。ただし、海外でのパケット通信は、パケット通信料定額サービスの対象外となります。
◎インターネットブラウザやインターネットと通信を行う機能をご利用中に、インターネット共有(▶P.93)を起動すると、一時的に通信ができなくなることがあります。その場合、Comm Manager(▶P.152)でデータ接続を切断してからご利用ください。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLからご照会いただけます。
http://cs.kddi.com/(auお客さまサポート)
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLANは最長100mの範囲で無線ネットワークを提供します。E30HTでワイヤレスLANを利用してインターネットにアクセスするには、公衆または自宅のワイヤレスアクセスポイントに接続します。

■ワイヤレスLANに関するお願い

電気製品・AV機器・OA機器といった磁気や電磁波を発している機器の近くでは使用しないでください。
- 磁気や電磁波の影響によって通信状態が不安定になったり、接続できなくなることがあります。特に電子レンジを使用しているときは、影響を受けやすくなります。
- テレビやラジオが近くにあると、これらの機器に雑音や受信障害が発生する場合があります。
- 周囲で複数のワイヤレスLANアクセスポイントが同じチャンネルを使用していると、正しく検索されない場合があります。

■ワイヤレスLANとBluetooth®との電波干渉について

Bluetooth®機器とワイヤレスLAN(IEEE802.11b/g)は、同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。このため、ワイヤレスLAN機能を搭載した機器の近くで Bluetooth®通信を使用すると、電波干渉によって通信速度の低下や雑音が発生したり、接続が困難になる場合があります。以下のような方法で対処してください。
- Bluetooth®による無線通信を行う本機およびBluetooth®機器は、ワイヤレスLANと10m以上離してください。

- Bluetooth®による無線通信を行う本機および Bluetooth®機器を、ワイヤレスLANから10m以内で使用する場合、ワイヤレスLAN の電源を切ってください。

◎ E30HTのワイヤレスLANの受信強度や範囲は周囲の建物や障害物などの状況により異なります。
◎ 電池を節約するため、使用しないときはワイヤレスLANをオフにしておくことをおすすめします。

ワイヤレスLANのオン/オフを切り替える

1 [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Comm Manager]をタップ

2 [ワイヤレスLAN]をタップ

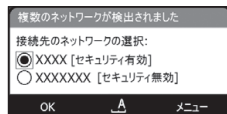
ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えます。
利用可能なワイヤレスネットワークを検出されます。

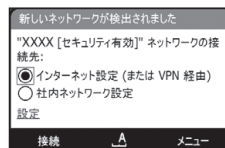
ワイヤレスネットワークへの接続

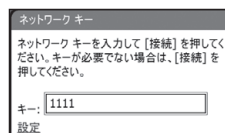
ワイヤレスLAN がオンになると、E30HTは利用可能なワイヤレスネットワークの検索を開始します。

■ワイヤレスネットワークに接続する

ワイヤレスネットワークが検出されると、ネットワークの名前がポップアップウィンドウに表示されます。

1 接続するワイヤレスLANを選択→[OK]をタップ

2 次のいずれかの方法でネットワークを選択

- ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する場合は[インターネット設定] をタップします。
- ワイヤレスLANを使って社内 LAN などのプライベートネットワークに接続する場合は、[社内ネットワーク設定]をタップします。

3 [接続]をタップ

4 ワイヤレスLANがネットワークキーにより保護されている場合は、キーを入力→[接続]をタップ

次回、E30HTを使ってワイヤレスネットワークを検出するときは、ポップアップメッセージは表示されません。アクセスしたことのあるネットワークへ再度アクセスする場合は、ネットワークキーも入力する必要はありません (ただし、E30HTをフォーマットした場合を除きます)。

◎ ワイヤレスLAN ネットワークは自動的に検出されますので、接続のための操作は必要ありません。ただし、一部の非公開ワイヤレスネットワークに関しては、ユーザー名やパスワードの入力が必要な場合があります。

■ ワイヤレスLANの状態を確認する

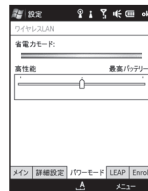
E30HTでは、次の3つの画面でワイヤレス接続状態を確認できます。

- **タイトルバー**： E30HTでワイヤレスLANを有効にすると、タイトルバーにワイヤレスLANオンのアイコン（ ）が表示されます。ワイヤレスLAN がオンになると、E30HTは使用可能なワイヤレスネットワークを検索し、タイトルバーにはワイヤレス信号アイコン（ ）が表示されます。E30HTがワイヤレスLAN信号を検出しているときは、アイコンの矢印が前後に動きます。ワイヤレスLANへの接続が確立すると矢印の動きが止まります。
- **ワイヤレスLAN画面**：[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[ワイヤレスLAN]→[メイン]タブをタップします。ここでは、E30HTが接続しているワイヤレスネットワークの名前が表示されます。ワイヤレスネットワークの構成や信号の強度も表示されます。

- **ワイヤレスネットワーク構成画面**：[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Wi-Fi]→[ワイヤレス]タブをタップします。この画面には現在使用可能なワイヤレスネットワークが表示されます。

- 一覧の中のワイヤレスネットワークに接続するには、任意のネットワークをタップし、[接続]をタップします。
- 一覧にあるワイヤレスネットワークをタップして詳細を表示したり、または接続設定を変更することができます。
- [新しい設定の追加]をタップすると、新しいワイヤレスネットワークを追加できます。

■ ワイヤレスネットワークに接続中に電池を節約するには

1 **[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[ワイヤレスLAN]をタップ**

2 **[パワーモード]タブをタップ→[省電力モード]のスライダーを移動し、パフォーマンスと消費電力のバランスを調節**

スライダーを左（パフォーマンス優先）に動かすとワイヤレスLAN性能が向上し、右（バッテリー優先）に動かすと電池を節約することができます。

データ通信サービス(PacketWIN)を利用する

PacketWINは、Packet通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスです。最大通信速度受信3.1Mbps／送信1.8MbpsでのPacket通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。

※ ご使用の通信環境により、最大通信速度は受信2.4Mbpsまたは144kbps／送信144kbpsまたは64kbpsとなる場合があります。

「au.NET(エーユードットネット)」や、PacketWIN対応プロバイダ(別途、プロバイダとの契約が必要)のご利用により、E30HTを手軽にインターネットに接続し、Packet通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。また、対応プロバイダのサービス内容につきましては、各社にご確認ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- お買い上げ時は、au.NETが接続先として設定されています。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となりますのでご注意ください。
- ワーム型のコンピューターウィルスなどの影響により、常時au電話とパソコンを接続した環境にてデータ通信をご利用の場合、お客様が意図しない通信が継続的に発生するおそれがあります。ご利用にあたりましては、ウィルス予防・対処策を講じていただくと共に、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。
- パソコンなどからの接続の方法、Packet通信の方法は、パソコンなどでご利用になる通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

http://cs.kddi.com/(auお客さまサポート)

※ 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ PacketWIN／au.NETのご利用料金について

au.NETの月額使用料	945円(税込)　※ご利用月のみ発生
通信料	有料

最新の各パケット、およびau.NETの月額使用料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご確認ください。

PacketWINを利用するための準備をする

E30HTには、あらかじめau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするプログラムを起動すると自動的にau.NETへ接続されます。ネットワーク接続設定を変更して、PacketWIN対応プロバイダに接続することもできます。（ただし日本国内での利用に限ります。）

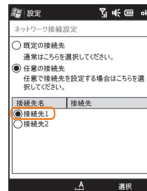
◎［スタート］→［設定］→［接続］タブ→［接続］をタップして表示される画面からは、PacketWIN対応プロバイダの設定は行えません。

PacketWIN対応プロバイダを利用する場合

E30HTをインターネット接続する際にPacketWIN対応プロバイダを利用するには、以下の設定を行います。

1 ［スタート］→［設定］→［接続］タブ→［ネットワーク接続設定］をタップ

2 ［任意の接続先］を選択

3 ［接続先1］または［接続先2］を選択して、［選択］をタップ

4 接続先名を入力して［次へ］をタップ

5 接続先のユーザー名（ID）、パスワード、ドメインを入力して［完了］をタップ

memo

◎標準の設定（au.NETへの接続）に戻すには、操作2で［既定の接続先］を選択して［ok］をタップしてください。

社内ネットワークへの接続

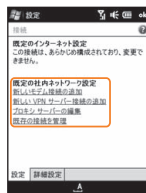
VPN(Virtual Private Network)接続を利用すると、E30HTのインターネット接続を通して社内ネットワークにアクセスできます。

■ プライベートネットワークへの接続を設定する

1 ネットワーク管理者から以下の情報を入手

- サーバーの電話番号
- ユーザー名
- パスワード
- ドメイン(およびIPアドレスなど、必要とされるその他の設定)

2 [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[接続]をタップ

3 [規定の社内ネットワークの設定]で各接続タイプを指示に従い設定

4 [完了]をタップ

Internet Explorer Mobileを使う

Internet Explorerを使って、モバイル向け/パソコン向けの各種サイトを閲覧できます。

■ Internet Explorerを起動する

- [スタート]→[プログラム]→[Internet Explorer]をタップします。
- TouchFLOのクイックランチャー(▶P.40)で[Internet Explorer]をタップします。

memo

◎インターネット接続中に他のアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、Comm Manager画面で、データ接続をオフにしてください。(▶P.152)

■ Webページを閲覧する

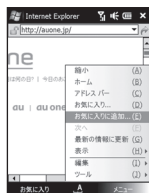
Internet Explorer画面のアドレスバーに、閲覧したいWebページのアドレスを入力します。をタップすると Web ページが開きます。

■ スクロールとパン操作でWebページを閲覧する

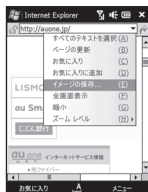
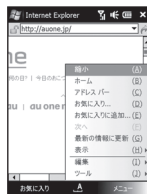
- 指またはスタイラスで上方向にスライドすると、Webページが下にスクロールし、下方向にスライドするとWebページが上にスクロールします。
- 画面に触れたまま上方向にドラッグすると、Webページが下にパンします。下方向にドラッグすると、Webページが上にパンします。
- 画面に触れたまま左方向にドラッグすると、Webページが右へパンします。右方向へドラッグするとWebページが左へパンします。
- 斜め方向にパンすることもできます。

スクロールとパン操作の詳細については、「スクロールとパン操作について」(▶P.40)をご参照ください。

■Internet Explorerメニューについて

Webページを表示中に[メニュー]をタップすると、次のような機能を利用できます。

表示中のWebページをお気に入りフォルダに保存するには、[メニュー]→[お気に入りに追加]をタップします。
[お気に入り]をタップすると、保存したお気に入りを選択して表示できます。

Webページの文字サイズや表示方法を変更するには、[メニュー]→[表示]をタップします。

表示中のWebページのURLを送信したり、Webページのプロパティを確認したり、Internet Explorer Mobileの設定をするには、[メニュー]→[ツール]をタップします。

Webページ内の画像を本体に保存するには、画像をタップしたままにして[イメージの保存]をタップします。

表示中のWebページを縮小表示するには、[メニュー]→[縮小]をタップします。元の表示サイズに戻すには、[拡大]をタップします。

Opera Mobileを使う

Operaブラウザは、Webページの拡大／縮小、回転などが行える便利なインターネットブラウザです。

Operaブラウザを起動する

1 [スタート]→[プログラム]→[Opera Browser]をタップ

- をタップするとアドレスバーおよびメニューアイコンが表示され、インターネット上の検索やお気に入り、履歴の利用ができます。
- Operaブラウザを終了する場合は、→→[終了]→[OK]をタップします。

memo

◎インターネット接続中に他のアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、Comm Manager画面で、データ接続をオフにしてください。（▶P.152）

◎をタップすると1つ前のページに戻ります。

◎→[進む]をタップすると、をタップする前のページに移動します。

◎アドレスバーのをタップするか、タッチスクリーンに触れたまま[更新]をタップすると、表示中のWebページを新しい情報に更新します。

◎をタップすると、ホームに設定されているページに戻ります。

■URLを入力してWebページを表示する

1 Webページ表示中にをタップ

2 アドレスバーをタップ→URLを入力→をタップ

- 検索する場合は、検索欄に文字列を入力してをタップし、URLをタップします。

■履歴を利用してWebページを表示する

1 Webページ表示中に→→[履歴]をタップ

2 日付→履歴をタップ

- 履歴を削除する場合はをタップします。（すべての履歴が削除されます。）

Webページ表示中の操作

■ページをパンする

タッチスクリーンに触れたまま上下左右、斜めにドラッグすると、ページをパンすることができます。

■ページを拡大表示する

タッチスクリーンを2回タップすると、Webページが拡大表示されます。もう一度2回タップすると、元の表示に戻ります。ナビゲーションコントロールの周囲を時計回り（拡大）または反時計回り（縮小）になぞって操作することもできます。

■ページを新しいタブで表示する

新しいタブでWebページを表示することで、同時に複数のページを開くことができます。タブを切り替えることによって、ページの切り替えができます。

1 Webページ表示中に [icon] → [icon] →[新しいタブ]をタップ

2 URLを入力→ [icon] をタップ

- 検索する場合は、検索欄に文字列を入力して [icon] をタップし、URLをタップします。
- タブを切り替える場合は、[icon] → [icon] をタップし、切り替えるタブをタップします。
- 表示中のタブを閉じる場合は、[icon] をタップします。

memo

◎タブは同時に3つまでしか開くことができません。

■ページを保存する

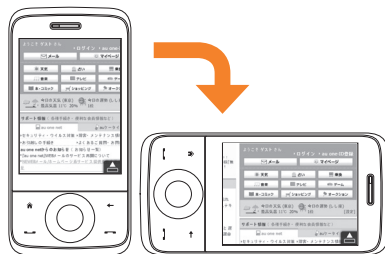
表示中のWebページを保存して、後から表示することができます。

- Webページ表示中にタッチスクリーンに触れたままにし、ポップアップメニューから[ページ保存]をタップします。

■ページ内の文字列を検索する

- Webページ表示中にタッチスクリーンに触れたままにし、ポップアップメニューから[ページ内検索] をタップします。

■ページを回転する

本体を左右に倒すと、Webページが自動的に回転します

memo

◎キーパッドやキーボードを表示して文字を入力中は、本体を左右に倒しても画面は回転しません。

ブックマークを使用する

■Webページをブックマークに追加する

1 Webページ表示中に [icon] → [icon] → [icon] をタップ

2 名前やアドレス、保存先フォルダを確認→ [icon] をタップ

■ブックマークからWebページを表示する

1 Webページ表示中に [icon] → [icon] をタップ

2 表示したいブックマークをタップ

■ フォルダを作成する

1. **Webページ表示中に →→ をタップ**
2. **フォルダ名と作成する場所を入力→ をタップ**

■ ブックマークを編集する

1. **Webページ表示中に → をタップ**
2. **ブックマークを反転表示→ をタップ**
3. **名前や保存先フォルダを変更し、 をタップします**
   ブックマークを削除する場合は、[削除]→[OK]をタップします。

■ ブックマークを送信する

1. **[スタート]→[プログラム]→[Opera Browser]をタップ**
2. **→ をタップ→ブックマークを反転表示**
3. **→[メールでブックマークを送信]をタップ→メールの種類を選択**
4. **宛先や件名などを入力→メール送信**
   メール作成と送信方法については、「メールを使用する」（▶P.72）をご参照ください。

インターネット共有を利用する

インターネット共有とは、E30HTのインターネット接続をパソコンなど他の機器から利用する機能です。USBケーブルまたはBluetooth®による接続を選択できます。

■ USBケーブルで接続する

memo

◎ USB ケーブルで接続している場合は、パソコンにWindows Mobileデバイスセンター、またはMicrosoft ActiveSync4.5以降がインストールされている必要があります。

◎ インターネット共有を使用する前に、パソコンのWindows MobileデバイスセンターまたはActiveSyncとの同期を中止してください。

◎ インターネットブラウザやインターネットと通信を行う機能をご利用中に、インターネット共有を起動すると、一時的に通信ができなくなることがあります。その場合、Comm Manager（▶P.152）でデータ接続を切断してからご利用ください。

1. **E30HTで[スタート]→[プログラム]→[インターネット共有] をタップ**
2. **[PCとの接続]の一覧で[USB]を選択**

3. **USBケーブルでE30HTとパソコンを接続**
4. **[接続]をタップ**

■インターネット接続を終了する

インターネット共有画面で[切断]をタップします。

■Bluetooth®で接続する

◎パソコンにBluetooth®機能が搭載されていない場合は、市販のBluetooth®アダプタをご使用ください。

パソコンがE30HTの接続を利用してインターネットにアクセスする場合、E30HTのインターネット共有を有効にし、パソコンとE30HTとの間でPAN (Bluetooth Personal Area Network) を設定する必要があります。

1 E30HTでBluetooth®をオンにする

2 Bluetooth®パートナーシップを確立する(▶P.116)の操作に従い、E30HTからBluetooth®のペアリングを行う

3 E30HTで[スタート]→[プログラム]→[インターネット共有]をタップ

4 [PCとの接続]の一覧で[Bluetooth PAN]を選択

5 [接続]をタップ

6 パソコンでBluetooth PAN (Personal Area Network)を設定

Windows Vistaの場合:

a. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]をクリック

b. [ネットワーク接続の管理]をクリック→[パーソナルエリアネットワーク]で[Bluetoothネットワーク接続]をダブルクリック

c. [Bluetoothパーソナルエリアネットワークデバイス]のダイアログボックスでE30HTを選択→[接続]をクリック

Windows XPの場合:

a. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワーク接続]をクリック

b. [パーソナルエリアネットワーク]で[Bluetoothネットワーク接続]アイコンをクリック

c. [ネットワークタスク]で[Bluetoothネットワークデバイスを表示]をクリック

d. [Bluetoothパーソナルエリアネットワークデバイス]のダイアログボックスでE30HTを選択→[接続]をクリック

E30HTのインターネット共有画面で、接続ステータスが表示されていれば、インターネット共有が確立されています。

Windows Live

Windows Liveは、E30HTでインターネット機能を楽しむためのツールです。
インターネット上で情報を検索したり、友人や家族と連絡を取ることが、より簡単になります。
Windows Live には次のような機能があります。

- **Live Searchバー**： Web上の情報を検索します。
- **Live Messenger**： MSN Messenger Mobileの次世代プログラムです。
- **Live Mail**： Hotmailの次世代バージョンです。
- **Live Contacts**： Live Mail、Live Messenger、Hotmailの連絡先を保存するアドレス帳です。

Windows Liveを設定する

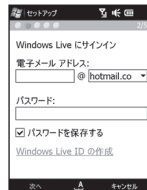
初めて Windows Liveを使用するときは Windows Live ID (お手持ちのWindows Live MailまたはHotmailのメールアドレス)を使ってサインインします。

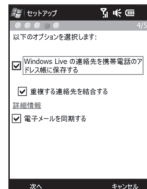
■初めてWindows Live 設定する

1 **[スタート]→[プログラム]→[Windows Live]をタップ**

2 **[ここをクリックしてサインインします。]をタップ**

3 **次の画面でWindows Liveの使用規定とマイクロソフトのプライバシーポリシーを読む→[承諾]をタップ**

4 **ご利用のWindows Live Mail／Hotmailアドレスとパスワードを入力→[パスワードを保存する]をチェック→[次へ] をタップ**

5 **Windows LiveアプリケーションをToday画面に表示するかどうかを選択→[次へ] をタップ**

6 **E30HTと同期させる情報を選択**

[Windows Liveの連絡先を携帯電話のアドレス帳に保存する]を選択した場合、Windows Liveの連絡先がE30HTの連絡先とLive Messengerの両方に追加されます。
[電子メールを同期する]を選択した場合、Windows Live MailまたはHotmailの受信トレイにあるメッセージがE30HTにダウンロードされます。

7 **[次へ]をタップ**

8 **同期が完了したら、[完了]をタップ**

Windows Liveのインターフェース

Windows Liveのメイン画面には検索バー、ナビゲーションバー、そしてカスタマイズエリアが表示されます。この部分には自分の画像を表示できます。

① Live Searchバー
② 左右の矢印をタップすると、Windows Live Messenger、Live Mail、同期ステータスを切り替えます。
③ Windows Live Messengerの設定を開きます。
④ [メニュー]をタップし、設定の確認や変更を行います。

memo

◎ Today画面にWindows Liveアプリケーションを表示するよう設定できます。これらの表示/非表示を切り替えるには、Windows Liveを開き、[メニュー]→[オプション]→[[Today]画面のオプション]をタップします。

Windows Live Messenger

Windows Live Messengerでは、オンラインでインスタントメッセージを送受信できます。パソコンのWindows Live Messengerと同様に、以下の機能がご利用になれます。

- 文字や音声のインスタントメッセージ
- 複数ユーザー同士の会話
- 絵文字
- オンライン状態が表示されるメンバーリスト
- 画像などのファイルの送受信
- オンライン状態や表示名の変更
- オンライン状態、グループなどでメンバーを分類表示
- メンバーがオフラインのときでもメッセージ送信可能

memo

◎ Live Messengerを使用するには、E30HTをインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続方法については、「インターネットに接続する」(▶P.84)をご参照ください。

インターネット

メッセンジャーを利用する

■Windows Live Messenger を開く

1 [スタート]→[プログラム]→[Messenger]をタップ

■サインインとサインアウト

1 サインインするには、メッセンジャー画面で [サインイン] をタップ

初めてサインインするときは、E30HTの連絡先リストにメッセンジャーのメンバーが追加されることを知らせる通知が表示されます。[ok]をタップしてメンバーを追加します。

2 サインアウトするには、[メニュー]→[サインアウト]をタップ

オンライン状態がオフラインに変わります。

memo

◎サインインすると通信が発生し、電池の消耗が早くなります。

■会話を始める/終了する

1 メンバーリストでメンバーを選択→[メッセージの送信]をタップ

2 メッセージ画面の文字入力欄に文字のメッセージを入力

3 絵文字を追加するには、[メニュー]→[絵文字の追加]をタップ→絵文字の一覧から使用するアイコンをタップ

4 [送信]をタップ

5 会話を終了するには、[メニュー]→[会話を終了]をタップ

memo

◎ファイルを送信するには、[メニュー]→[送信] をタップします。画像、音声メモ、その他のファイルを選択できます。
◎進行中の会話に他のメンバーを招待するには、[メニュー]→[オプション]→[参加者の追加] をタップします。

Windows Live のメンバーを追加する

Windows Live Messenger またはE30HTの連絡先で、Windows Live のメンバーを追加できます。

■Windows Live MessengerでWindows Liveのメンバーを追加する

1 [メニュー]→[新しいメンバーの追加]をタップ

2 メンバーの電子メールアドレスを入力→[ok]をタップ

■連絡先 で Windows Live のメンバーを追加する

1 [スタート]→[連絡先]をタップ

2 [新規作成]をタップ→[Windows Live]をタップ

3 [IM]をタップ→相手のWindows Live IDであるメンバーの電子メールアドレス／その他のメールアドレスを入力

memo

◎必要に応じてメンバーのその他の情報も入力できますが、Windows Live MessengerやLive Mailのみを使って連絡する相手であれば、必須ではありません。

通話オプションを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.72
	お留守番サービス（ボイスメール含む）	P.98
	着信転送サービス	P.104
	割込通話サービス	P.107
	発信番号表示サービス	P.109
	番号通知リクエストサービス	P.110
	データ通信サービス	P.87
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.108
	迷惑電話撃退サービス	P.111
	通話明細分計サービス	P.113

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、電話機能をオフにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.104）は同時に開始できません。
  お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.110）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.100）の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
特番への ダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言･ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言･ボイスメールがないときなど、伝言･ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言･ボイス メールの録音	伝言･ボイスメールを残す場合、伝言･ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言･ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 通話ボタンを押す

2 電話画面で 1 4 1 をタップ→通話ボタンを押す

3 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■通話中にかかってきた電話も転送する場合（留守番開始1）

1 電話画面で 1 4 1 1 をタップ→通話ボタンを押す

- ［スタート］→［設定］→［接続］タブ→［通話オプション］→［留守番サービス］→［留守番開始1］をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

■通話中にかかってきた電話は転送しない場合（留守番開始2）

1 電話画面で 1 4 1 3 をタップ→通話ボタンを押す

- ［スタート］→［設定］→［接続］タブ→［通話オプション］→［留守番サービス］→［留守番開始2］をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

■お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間（約20秒間）呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）（話中転送）
- 着信中に［着信転送］をタップした場合（選択転送）

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間（約20秒間）は電話に出ることができます。
◎エリア設定を［海外］に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。
◎エリア設定を［海外］に設定している場合は、選択転送ができません。

お留守番サービスを停止する

1 電話画面で 1 4 1 0 をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[留守番停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、E30HTのお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.101「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は # を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、# を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 # をタップして録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

1：録音した伝言を再生して、内容を確認する
2：録音した伝言を「至急扱い」にする
9：録音した伝言を消去して、取り消す
*：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 終了ボタンを押す

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 電話画面で 1 6 1 2 ＋相手の方のau電話番号を入力→通話ボタンを押す

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、Cメールの受信トレイに保存されます。

伝言お知らせには、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」と、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」の2種類があります。

通話オプション

memo

◎「発番情報なし」と「発番情報あり」の保持期間は共に48時間です。
◎それぞれ保持件数は次の通りです。
　発番情報なし：1件
　発番情報あり：20件
◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内（▶P.99）で「発番情報なし」に設定を変更できます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを、着信お知らせで通知します。
着信お知らせは、Cメールの受信トレイに保存されます。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合もお知らせしません。
◎着信お知らせの保持期間は約6時間、保持件数は最大4件です。
◎ご契約時は、「着信お知らせあり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内（▶P.99）で「着信お知らせなし」に設定を変更できます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 電話画面で 1 4 1 7 をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[留守伝言再生]をタップしても操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

1 ：同じ伝言をもう一度聞く
2 ：伝言を保存
4 ：5秒間巻き戻して聞き直す
5 ：伝言を一時停止（20秒間）※
6 ：5秒間早送りして聞く
9 ：伝言を消去
0 ：伝言再生中の操作方法を聞く
：次の伝言を聞く
＊ ：前の伝言を聞く
※終了ボタン以外のボタンを押すと、伝言の再生を再開します。

3 終了ボタンを押す

memo

◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.100）も同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

現在設定されている応答メッセージの内容を録音／確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 電話画面で 1 4 1 4 をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[応答内容変更]をタップしても操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 1 をタップ→3分以内で応答メッセージを録音→ # → # をタップ→終了ボタンを押す

通話オプション

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 **2 をタップ→10秒以内で名前を録音→ # → # をタップ→終了ボタンを押す**

■ 設定されている応答メッセージを確認する場合

2 **3 をタップ→応答メッセージを確認→終了ボタンを押す**

■ 蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音する場合

2 **7 をタップ→3分以内で応答メッセージを録音→ # → # をタップ→終了ボタンを押す**

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って 4 をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って 8 をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
(▶P.101「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

1 **電話画面で 1 6 1 0 をタップ→通話ボタンを押す**

2 **終了ボタンを押す**

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 **電話画面で 1 6 1 1 をタップ→通話ボタンを押す**

2 **ガイダンスを確認後、終了ボタンを押す**

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のE30HT以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 **090−4444−XXXXに電話をかける**

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内(伝言再生など)	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413

サービス内容	番号
お留守番サービスの停止	1410
伝言･ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のE30HTの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.14)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 電話画面で 1 4 1 9 1 をタップ→通話ボタンを押す

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[英語ガイダンス]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎ 「エリア設定」を「海外」に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 電話画面で 1 4 1 9 0 をタップ→通話ボタンを押す

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[日本語ガイダンス]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

◎ エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎ 緊急電話(110/119/118)、時報/天気予報(117/177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.98)は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.110)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
　① 話中転送　② 選択転送　③ 無応答転送
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ご利用料金について

項目	料金
月額使用料	無料
サービス開始「1422」~「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からE30HTまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
E30HTから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 電話画面で 1 4 2 2 をタップ+転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

・あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておくと、着信転送サービス画面で[無応答転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には 1 4 2 1 2 をタップ→通話ボタンで設定できます。
◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間(約20秒間)は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間(約20秒間)は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 電話画面で 1 4 2 3 をタップ＋転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

- あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておくと、着信転送サービス画面で[話中転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 3 をタップ→通話ボタンで設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス(▶P.107)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 電話画面で 1 4 2 4 をタップ＋転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

- あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておくと、着信転送サービス画面で[フル転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 4 をタップ→通話ボタンで設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のE30HTは呼び出されません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 電話画面で 1 4 2 5 をタップ＋転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

- あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておくと、着信転送サービス画面で[選択転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 5 をタップ→通話ボタンで設定できます。
◎着信中に[着信転送]をタップすると、転送先電話番号に転送します。
◎エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

KDDI(001)の国際電話サービスをお申し込みになれば、海外の電話に転送できます。

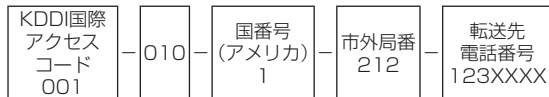
例:アメリカの「212−123−XXXX」に転送する場合

1 転送の種類によって、それぞれの番号を入力→通話ボタンを押す

1 4 2 2 :無応答転送　1 4 2 4 :フル転送
1 4 2 3 :話中転送　1 4 2 5 :選択転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号をKDDI国際アクセスコードから入力します。

KDDI国際アクセスコード 001	－	010	－	国番号(アメリカ) 1	－	市外局番 212	－	転送先電話番号 123XXXX

3 終了ボタンを押す

KDDI国際電話サービスについてのお申し込み・お問い合わせ先
一般電話・au電話から
0077－7160(通話料無料)
受付時間　9：00～20：00、土日祝も受付

memo

◎KDDI以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。また、au国際電話サービス(005345)での転送はご利用いただけません。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 電話画面で 1 4 2 0+ をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のE30HT以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 090－4444－XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用のE30HTの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.14)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。
◎Packet通信ご利用の際などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 電話画面で 1 4 5 1 をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[割込通話サービス]→[起動]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.110）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.111）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎エリア設定[海外]に設定している場合はご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 電話画面で 1 4 5 0+ をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[割込通話サービス]→[停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定しても、Packet通信にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
◎「最大3.1Mbpsエリア」でPacket通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。
◎エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

■Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 通話ボタンを押す

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
通話ボタンを押すたびにAさん･Bさんとの通話を切り替えることができます。
終了ボタンを押すと、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 電話画面で 1 4 5 2 ＋相手先電話番号を入力→通話ボタンを押す

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

■Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に連絡先アイコンをタップすると、連絡先から電話番号を呼び出せます。

2 通話ボタンを押す

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、通話ボタンを2回押すとAさんとの通話に戻ります。

4 通話ボタンを押す

3人で通話できます。
通話ボタンを押すと、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
終了ボタンを押すと、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のE30HTのタッチスクリーンに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎ 発信者番号（E30HTの電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、E30HTのタッチスクリーンに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がタッチスクリーンに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。

◎お留守番サービス（▶P.98）、着信転送サービス（▶P.104）、割込通話サービス（▶P.107）、三者通話サービス（▶P.108）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.111）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 電話画面で 1 4 8 1 をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[番号通知リクエストサービス]→[サービス起動]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

通話オプション

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎エリア設定を[海外]に設定している場合や、次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 電話画面で 1 4 8 0+ をタップ→通話ボタンを押す

- [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[番号通知リクエストサービス]→[サービス停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス（▶P.98）、着信転送サービス（▶P.104）、割込通話サービス（▶P.107）、三者通話サービス（▶P.108）、番号通知リクエストサービス（▶P.110）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 電話画面で 1 4 4 2 をタップ→通話ボタンを押す

2 終了ボタンを押す

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎エリア設定を[海外]に設定している場合や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- Cメール

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除できません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- Cメール
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 電話画面で 1 4 4 8 をタップ→通話ボタンを押す

2 終了ボタンを押す

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 電話画面で 1 4 4 9 をタップ→通話ボタンを押す

2 終了ボタンを押す

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 電話画面で［1］［3］［1］をタップ＋相手先電話番号を入力→通話ボタンを押す

memo

◎ 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。

◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。

◎ フリーダイヤル、110、119、118などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。

◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

Bluetooth®について

Bluetooth®とは近距離における無線通信技術です。Bluetooth®対応機器同士であれば、約10m以内で無線通信を行うことができます。
E30HTのBluetooth®には3つのモードがあります。

- **オン**: E30HTは他のBluetooth®対応機器を検出することができますが、相手側の機器から検出することはできません。
- **オフ**: このモードでは、Bluetooth®を使ってデータを送受信することはできません。電池を節約したい場合や、航空機内、病院内などワイヤレス通信機器の使用が禁じられている場所ではBluetooth®をオフにしてください。
- **検出可能**: Bluetooth®がオンになっており、他のBluetooth®対応機器がE30HTを検出できます。

memo

◎お買い上げ時はBluetooth®はオフになっています。Bluetooth®をオンにした状態でE30HTの電源を切ると、Bluetooth®もオフになります。E30HTの電源を入れると、Bluetooth®は自動的にオンになります。

■Bluetooth®機能のバージョンとプロファイル

本機のBluetooth®機能のバージョンとプロファイルは以下の通りです。

対応バージョン	Bluetooth®標準規格 Ver.2.0+EDR準拠※1
出力	Bluetooth®標準規格 Power Class2
対応プロファイル※2	SPP (Serial Port Profile) HSP (Head Set Profile) OPP (Object Push Profile) BPP (Basic Printing Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) HFP (Hands Free Profile) 1.5 A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) HID (Human Interface Devices) PBAP (Phone Book Access Profile) SDAP (Service Detection Application Profile)

※1 本機を含めすべての Bluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth® SIGの規定に基づいた適合試験によってBluetooth®標準規格の認証を取得していますが、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetooth®の通信手順 (プロトコル) を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ Bluetooth®機能に関するお願い

良好な状態で接続できるように、以下の点にご注意ください

- 他のBluetooth®機器との接続は、見通し距離約10m以内で行ってください。本機と他の Bluetooth®機器との間に障害物があると、接続距離は短くなります。また、ご使用の環境 (壁や家具など) や建物の構造によっても接続距離は短くなります。
  特に、鉄筋コンクリート製の建物では、間に鉄筋が入った壁があると、上下の階や隣接する部屋同士でも接続できないことがあります。したがいまして上記接続距離を保証するものではないことをご了承ください。
- 電子レンジ･AV機器･OA機器、デジタルコードレス電話機･ファックス、およびその他の電気製品からは2m以上離して接続してください。特に電子レンジによる影響を受けやすいため、必ず3m以上離してください。近くでこのような機器に電源が入っていると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオに雑音や受信障害が発生する場合があります。特にUHFや衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビが乱れることがあります。
- 放送局や無線機など強い電波を発するものが近くにあり、接続が困難なときは、接続先の Bluetooth®機器の場所を移動してください。強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。

■ ワイヤレスLANとBluetooth®との電波干渉について

Bluetooth®機器とワイヤレスLAN(IEEE802.11b/g)は、同一周波数帯 （2.4GHz） を使用しています。このため、ワイヤレスLAN機能を搭載した機器の近くで Bluetooth®通信を使用すると、電波干渉によって通信速度の低下や雑音が発生したり、接続が困難になる場合があります。以下のような方法で対処してください。

- Bluetooth®による無線通信を行う本機およびBluetooth®機器は、ワイヤレスLANと10m以上離してください。
- Bluetooth®による無線通信を行う本機および Bluetooth®機器を、ワイヤレスLANから10m以内で使用する場合、ワイヤレスLAN の電源を切ってください。

■ Bluetooth®をオンにし、E30HTを検出可能にする

1 [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Bluetooth]をタップ

2 [モード]タブで[Bluetoothをオンにする]と[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]をチェック

3 [ok]をタップ

Bluetooth®パートナーシップ

Bluetooth®パートナーシップ(ペアリング)とは、E30HTと他のBluetooth®対応機器との間で安全なデータ通信を行うための接続関係です。

■Bluetooth®パートナーシップを確立する

1 [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Bluetooth]をタップ

2 [デバイス]タブ→[新しいデバイスの追加]をタップ

E30HTが他のBluetooth®デバイスを検索し、一覧に表示します。

3 任意の名前をタップ→[次へ] をタップ

4 安全な接続を確立するため、パスコードを指定→[次へ]をタップ

パスコードは1～16文字で設定します。

5 相手のデバイスがパートナーシップを受け入れるまで待つ

パートナーシップを受け入れる側も、送信側と同じパスコードを入力する必要があります。
パートナーシップが確立すると、相手のデバイスの名前が表示されます。この名前は任意に変更できます。

6 ペアリングしたデバイスから使用するサービスをチェック

7 [保存]をタップ

■Bluetooth®パートナーシップを受け入れる

1 Bluetooth®がオンになっており、検出可能モードであることを確認

2 他のデバイスからパートナーシップの要求を受けたときに、[はい]をタップ

3 パスコード(パートナーシップ要求側が入力したものと同じパスコード)を入力

パスコードは1～16文字です。

4 [次へ]をタップ

5 [完了]をタップ

以上でペアリングした相手とデータ通信ができるようになります。

◎Bluetooth®パートナーシップの名前を変更するには、[デバイス]タブでパートナーシップをタップしたままにして、ポップアップメニューで[編集]をタップします。
◎Bluetooth®パートナーシップを削除するには、[デバイス]タブでパートナーシップをタップしたままにして、ポップアップメニューで[削除]をタップします。

Bluetooth®ヘッドセットを接続する

ハンズフリー通話には、Bluetooth®対応のハンズフリーヘッドセットをご利用ください。

E30HTはBluetooth®でのステレオオーディオを実現するA2DP (Advanced Audio Distribution Profile)に対応しています。このため、E30HTでBluetooth®ステレオヘッドセットを使用し、通話したり、音楽を聴くことができます。

■Bluetooth®対応ハンズフリーまたはステレオヘッドセットを接続する

1 E30HTとBluetooth®ヘッドセットの両方がオンになっていること、通信範囲内にあること、検出可能となっていることを確認

ヘッドセットを検出可能モードに切り替える方法については、メーカーの取扱説明書をご参照ください。

2 [スタート]→[設定]→[接続]タブをタップ

3 [Bluetooth]→[デバイス]タブ→[新しいデバイスの追加]をタップ

E30HTが他のBluetooth®デバイスを検索し、一覧に表示します。

4 Bluetooth®ヘッドセットの名前をタップ→[次へ] をタップ

5 [完了]をタップ

◎Bluetooth®ステレオヘッドセットが切断された場合は、ヘッドセットをオンにして、1～3の操作を繰り返します。Bluetooth®ステレオヘッドセットの名前をタップしたままにし、ポップアップメニューから[ワイヤレス ステレオに設定]をタップします。

Bluetooth®で情報をビームする

Bluetooth®対応のパソコンやデバイスに転送することを「ビーム」と呼びます。E30HTでは、連絡先、予定表のアイテム、仕事などのデータ、およびその他のファイルを転送できます。

memo

◎パソコンにBluetooth®機能が搭載されていない場合は、Bluetooth®アダプタをご使用ください。
◎パソコンによっては、Bluetooth®の設定方法が異なる場合があります。

■E30HTの情報をパソコンにビームする

1 E30HTのBluetooth®をオンにし、検出可能に設定

方法については、「Bluetooth®をオンにし、E30HTを検出可能にする」(▶P.115)をご参照ください。

2 以下の操作に従って、パソコンのBluetooth®機能および検出可能モードをオンにする

a. パソコンのコントロールパネルから[Bluetoothデバイス]を開き、[オプション]タブをクリックします。
b. Windows Vistaの場合は、[Bluetoothデバイスによる、このコンピュータの検出を許可する]を選択します。
Windows XPの場合は、[発見機能を有効にする]と[Bluetoothデバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する]を選択します。
c. E30HTとパソコンの間で Bluetooth®パートナーシップを確立します。パートナーシップの確立方法については、「Bluetooth®パートナーシップ」(▶P.116)をご参照ください。
d. [Bluetoothデバイス]の[オプション]タブで、[Bluetoothアイコンを通知領域に表示する]を選択します。
e. Bluetooth®によるビームを行うには、パソコンの画面の右下にあるBluetooth®アイコンを右クリックして、[ファイル受信]を選択します。

3 E30HTでアイテムをタップしたままにし、ビームを行う

連絡先や予定表、仕事、画像、その他のファイルなどをビームできます。

4 連絡先をビームするときは[メニュー]→[連絡先の送信]→[ビーム]をタップ

その他の情報をビームするには、[メニュー]→[(アイテムの種類)をビームする]をタップします。

5 ビーム先のデバイス名をタップ

相手のパソコンにファイルがビームされます。連絡先などのOutlookアイテムをビームした場合は、パソコン側のMicrosoft Outlookで[ファイル]→[インポートとエクスポート]をクリックして、手動でファイル取込を行ってください。

memo

◎パソコンにBluetooth®機能が搭載されていない場合、コントロールパネルに「Bluetoothデバイス」アイコンは表示されません。
◎パソコンにBluetooth®機能が搭載されている場合でも、コントロールパネルに[Bluetoothデバイス]アイコンが表示されず、他の方法を利用している場合があります。
◎ビームで受信したアイテムが保存されるデフォルトフォルダは、Windows XPではマイドキュメント、Windows Vistaではドキュメントとなります。
◎**E30HTでビームを受信するには、[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[ビーム]をタップし、[すべての着信ビームを受信する]にチェックを入れます。**

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- E30HTを暖かい場所に長時間置いていて画像を撮影したり、保存したときは画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ビデオを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 携帯電話のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  ・強い逆光のもとにある被写体
  ・光沢のある金属など明るく反射している被写体
  ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  ・暗い場所にある被写体
  ・動きが速い被写体
- フラッシュライトを目に近付けて点灯させないでください。フラッシュライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード（バイブ）を設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。ビデオ録画時も、録画開始時、一時停止時、終了時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な連続音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ビデオ録画を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなるのでご注意ください。

- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 被写体によっては、うすい縞模様が入ることがありますが、保存する画像には影響ありません。
- プレビュー画面を表示したり、カメラを切り替えたり、カメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様がE30HTのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

カメラを使う

E30HTに内蔵されたカメラを使って、写真や音声付きビデオクリップを撮影することができます。

■カメラ画面を開く

- [スタート]→[プログラム]→[カメラ]をタップします。
- アルバム画面で、カメラアイコン( )をタップします。

■カメラを終了する

- 終了アイコン(×)をタップします。

キャプチャモード

E30HTのカメラを使い、さまざまなモードで画像やビデオクリップを撮影することができます。お買い上げ時のキャプチャモードはフォトに設定されています。

■キャプチャモードを切り替える

タップしてキャプチャモードを切り替えます。ナビゲーションコントロールの上下ボタンを押してキャプチャモードを切り替えることもできます。

このカメラでは、以下のキャプチャモードが使用できます。

アイコン	キャプチャモード	
	フォト	標準の静止画像を撮影します。
	ビデオ	ビデオクリップを音声付き／音声なしで撮影します。
	パノラマ	同じ方向で連続した静止画像を複数撮影し、これらをつなぎ合わせて風景のパノラマビューを作成します。
	連絡先ピクチャ	静止画像を撮影し、この画像をすぐに連絡先のフォト ID として使用できます。
	ピクチャのテーマ	静止画像を撮影し、フレームに挿入します。

■対応ファイル形式

上記のキャプチャモードでは、次の画像形式で撮影できます。
このカメラでは、以下のキャプチャモードが使用できます。

キャプチャタイプ	形式
静止画像/連絡先ピクチャ/ピクチャのテーマ/パノラマ	JPEG
ビデオ	MPEG-4 (mp4)、3GPP2(3g2)、H.263 (3gp)

カメラの操作

■写真を撮影する

- Enterボタンに触れるとオートフォーカスが起動し、ピントが合うとフォーカス枠が緑色で表示されます。そのままEnterボタンを押して写真や連絡先ピクチャを撮影します。

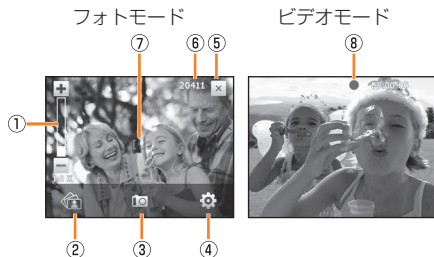
撮影後、写真は自動的に保存されます。(保存にはしばらく時間がかかる場合があります。その間は操作ができません。)
ファイルの保存先は、クイック設定パネル(▶P.121)のストレージで設定できます。
- ピクチャのテーマやパノラマ用写真を撮影するときは、1回ずつEnterボタンを押します。

■ビデオを撮影する

Enterボタンを押してビデオ録画を開始します。もう一度押すと録画を停止します。
撮影後、ビデオは自動的に保存されます。(保存にはしばらく時間がかかる場合があります。その間は操作ができません。)
ファイルの保存先は、クイック設定パネル(▶P.121)のストレージで設定できます。

memo

◎ビデオ録画中に着信した場合は、録画が中断されて録画していたデータは保存されます。

■画面上のボタンとアイコン

① **ズーム**: ＋／－をタップしてズーム倍率を切り替えます。キャプチャモードや解像度によって選択できる倍率が異なったり、ズームが行えない場合があります。
② **アルバム**: アルバムで写真やビデオを表示します。
③ **モード切り替え**: キャプチャモードを切り替えることができます。
④ **メニュー**: クイック設定パネルを開きます。
⑤ **終了**: 終了アイコン(×)をタップするとカメラプログラムを終了します。
⑥ **残り枚数／時間表示**: フォト、連絡先ピクチャ、ピクチャのテーマ、パノラマでは、現在の設定で撮影可能な残り枚数を提示します。ビデオでは、録画可能な残り時間を提示します。
ビデオ録画中は、ここに録画経過時間が表示されます。
⑦ **オートフォーカスインジケータ**: ピント調整中は、▮(白色)が点滅します。焦点が決まると、アイコンが▮(緑色)に変化します。
⑧ **録画インジケータ**: ビデオ録画実行中は赤いインジケータが点滅します。

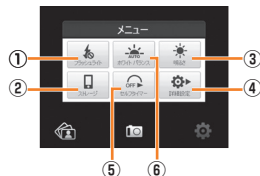
ピクチャのテーマモード

⑨ **テンプレートセレクタアイコン**: ピクチャのテーマモードでタップすると、テンプレートを選ぶことができます。
⑩ **進度インジケータ**: ピクチャのテーマ、パノラマで、連続撮影の合計枚数を示します。

クイック設定パネル

クイック設定パネルを使用して、すばやくカメラ設定を行うことができます。
画面をタップしてパネルの表示/非表示を切り替えます。

memo

◎表示される設定項目は、キャプチャモードによって異なります。

① **フラッシュライト**: 撮影時のフラッシュライトのオン／オフを変更できます。
② **ストレージ**: ファイルを保存する場所を選択します。メインメモリまたはmicroSDメモリカードに保存できます。
③ **明るさ**: マイナス/プラスアイコン（ー/＋）をタップすると、明るさのレベルを上げたり、下げたりできます。
④ **詳細設定**: カメラの詳細設定を行います。（▶P.123）
⑤ **セルフタイマー**: 写真または連絡先ピクチャを撮影する際、セルフタイマーを2秒、10秒、またはオフに設定することができます。この状態でEnterボタンを押すと、カウントダウンを始め、設定時間（2秒または10秒）が経過した後にシャッターが切れます。
⑥ **ホワイトバランス**: ホワイトバランスを調整します。オート（ ）、太陽光（ ）、夜景（ ）、白熱灯（ ）、蛍光灯（ ）から選択します。

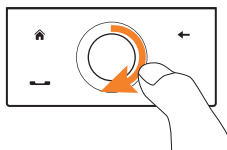
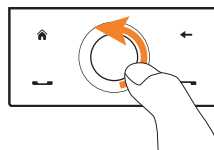
ズーム

カメラで静止画像やビデオクリップをキャプチャするとき、被写体をより大きく撮るためにズームインしたり、またはより広い範囲を撮るためにズームアウトすることができます。

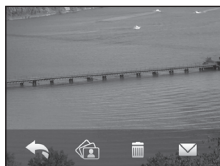
■ズームインする

ナビゲーションコントロールの右ボタンを押すか、倍率インジケータの上にあるアイコンをタップします。

■ズームアウトする

ナビゲーションコントロールの左ボタンを押すか、倍率インジケータの下にあるアイコンをタップします。
画像やビデオクリップ撮影時のズーム範囲はキャプチャモードやキャプチャサイズにより異なります。下表をご参照ください。
ナビゲーションコントロールの周りをなぞってズームすることもできます。

キャプチャモード	キャプチャサイズ設定	ズーム範囲
フォト	3M (2048 × 1536)	1.0× ～ 2.0×
	2M (1600 × 1200)	1.0× ～ 2.0×
	1M (1280 × 960)	1.0× ～ 2.0×
	大 (640 × 480)	1.0× ～ 2.0×
	中 (320 × 240)	1.0× ～ 4.0×
ビデオ	CIF (352 × 288)	1×、1.5×
	大 (320 × 240)	1×、1.5×
	中 (176 × 144)	1×、1.5×
	小 (128 × 96)	1×、1.5×

キャプチャモード	キャプチャサイズ設定	ズーム範囲
パノラマ	大 (640 × 480)	1×、2×
	中 (320 × 240)	1×、2×、4×
連絡先ピクチャ	中 (320 × 240)	1.0× ～ 4.0×
ピクチャのテーマ	テンプレートによる	使用するテンプレートのサイズによる

レビュー画面

静止画像やビデオクリップを撮影した後、撮影した写真やビデオをレビュー画面で確認できます。

レビュー画面の下にあるアイコンをタップすると、キャプチャした画像やビデオを削除したり、メールで送信したり、その他の操作を行うこともできます。

アイコン		機能
	戻る	タップするとカメラ画面に戻ります。
	削除	タップするとキャプチャした画像やビデオを削除します。
	送信	タップするとメールで送信したり、画像のFAX送信やスキャナで読み取ってファイルを共有したりします。
	表示	タップすると、アルバムで画像を表示したり、ビデオを再生したりします。
	連絡先に割り当てる	タップすると、写真を選択した連絡先に割り当てます。(キャプチャモードが連絡先ピクチャのときのみ表示されます。)

■ レビュー画面の表示時間を変更する

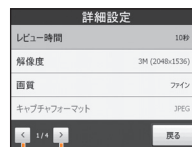
1 → **をタップ**

カメラ詳細設定画面が表示されます。

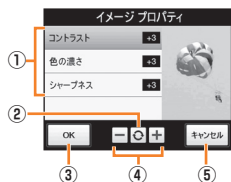
2 **[レビュー時間] をタップ**

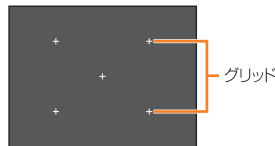
撮影後、レビュー画面に写真を表示する時間を選択します。

カメラ詳細設定画面

キャプチャモードで静止画像またはビデオクリップをキャプチャする場合、クイック設定パネルアイコン（ ）をタップして をタップすると、カメラ詳細設定画面を開くことができます。カメラ詳細設定画面では、キャプチャ設定を変更することができます。
使用可能なメニューやオプションは、キャプチャモードにより異なります。

- **レビュー時間**: 写真やビデオを撮影後、自動的に保存してカメラ画面に戻る前に、写真やビデオをプレビューする時間を設定します。時間制限を設定したくない場合は、[無限] を選択します。撮影後すぐにカメラ画面に戻る場合は、[レビューしない] を選択します。
- **解像度**: 写真／ビデオの解像度を選択します。
- **画質**: すべての静止画像に対し、JPEG 画質を選択します。ベーシック、ノーマル、ファイン、スーパーファインのいずれかを選択します。
- **キャプチャフォーマット**(動画のみ)： 任意のファイル形式を選択します。

マルチメディア

- **タイムスタンプ**(フォトのみ): 撮影日時を入れるかどうかを選択します。
- **バックライトを維持**: カメラ使用中にバックライトを使用するかどうかを設定します。カメラ使用時は、カメラのバックライト設定が通常時のバックライト設定よりも優先されます。
- **撮影オプション**: Enterボタンでシャッターを切る操作を設定します。Enterボタンに触れてピントを合わせた後、Enterボタンを押してシャッターを切るには[タッチアンドプレス]を選択します。[タッチ]を選択した場合はEnterボタンに触れる操作だけで、[全押し]を選択した場合はEnterボタンを押す操作だけで、ピントを合わせてシャッターが切れます。
- **イメージプロパティ**: このオプションは、コントラスト、色の濃さ、シャープネスなどカメラの表示設定を調整します。

① サブメニューで調整するプロパティを1つタップします。
② すべてのプロパティをリセットし、買い上げ時の設定に戻します。
③ 設定を保存し、サブメニューを閉じます。
④ 値を上げる/下げるには、➖/➕をタップするか、またはナビゲーションコントロールの上/下ボタンを押します。背景のライブカメラ画面が変更後の効果をすぐに表示します。
⑤ 変更を適用したり、保存したりせずに、サブメニューを閉じます。

- **効果**: グレースケール、セピアなど、写真やビデオクリップに特殊効果を適用することができます。
- **測光モード**: 測光モードを選択すると、最適な露出を計算するため、カメラが画像の中央のみで測光するか、または画像全体で測光するかを決定することができます。「中央エリア」を選択すると画像の中央で測光し、「平均」を選択すると画像全体で測光します。
- **保存ファイル名**: キャプチャした画像やビデオクリップの名前の付けかたを指定します。[デフォルト] が選択されていると、キャプチャされたファイルは IMAGE または VIDEO という名前と数字の組み合わせで表示されます。(例: IMAGE_001.jpg)現在の日付または日付/時刻をプレフィックスとしてファイルを表示することもできます。
- **カウンター**: お買い上げ時は、新しくキャプチャされた画像やビデオファイルはプレフィックスと001、002などの番号で表示されるようになっています。この番号を “001” にリセットするには、[リセット] をタップします。
- **ちらつき調整**: 室内で撮影する場合、カメラ画面の縦スキャンと蛍光灯の点滅周波数との間で不整合が生じ、カメラ画面がちらつくことがあります。ちらつきを軽減するには、E30HTをご利用になっている地域の正しい周波数 (50Hz または 60Hz) に設定してください。
- **グリッド**(フォトモードのみ): カメラ画面でグリッドを表示するかどうかを設定します。グリッドを表示しておくと、構図を作るときに便利です。

- **音声録音**: ビデオクリップを音声と一緒に録画する場合は [オン] を選択します。お買い上げ時はオンになっています。[オフ] を選択してビデオ撮影を行うと、音声は録音されません。
- **テンプレート**(ピクチャのテーマモードのみ): テンプレートを選択します。

- **撮影制限**(ビデオのみ): 録画可能な最長時間または最大ファイルサイズを指定します。
- **テーマフォルダ**(ピクチャのテーマモードのみ): お買い上げ時は、テンプレートはメインメモリの¥My Documents ¥テンプレートフォルダに保存されています。ファイル エクスプローラーなどを使ってmicroSDメモリカードにテンプレートを転送してある場合は、このオプションを [メイン+カード]に設定し、メインメモリとmicroSDメモリカードの両方からテンプレートを読み取れるようにします。
- **方向**(パノラマモードのみ): パノラマモードで画像をつなぎ合わせる方向を選択します。
- **連結枚数**(パノラマモードのみ): パノラマでつなぎ合わせる写真の枚数を選択します。
- **通知を表示**(連絡先ピクチャモードのみ): 撮影した画像を連絡先に設定することを確認するメッセージを表示するかどうかを設定します。
- **ヘルプ**: カメラのヘルプを表示します。
- **バージョン情報**: カメラのバージョン情報を表示します。

アルバム

カメラで撮影した写真やビデオクリップは、「アルバム」で見ることができます。アルバムでは、画像の回転やスライドショー表示、連絡先の画像登録などを行うことができます。

memo

◎ファイルによってはアルバム表示できない場合があります。対応しているファイル形式については、「対応ファイル形式」(▶P.120)をご参照ください。

■アルバムを開く

以下のいずれかの操作でアルバムを開きます。写真やビデオクリップが表示されます。

- [スタート]→[プログラム]→[アルバム] をタップします。
- Touch Cubeで、[フォト]または[ビデオ]をタップします。
- カメラ起動中に をタップします。

タップすると、カメラの撮影画面に切り替わります。

memo

◎アルバムが1画面に表示しきれない場合は、タッチスクリーンを上下方向にスライドして表示することができます。
◎アルバム起動時に最初に表示されるアルバムは変更できません。(常に「撮影フォト」になります。)

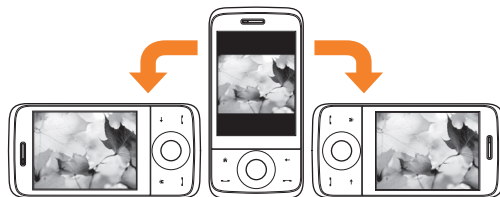
マルチメディア

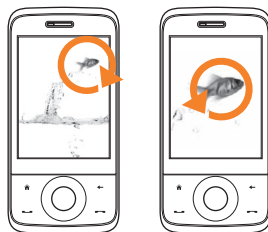
■アルバムの静止画を表示する

アルバムで静止画のサムネイル画像をタップすると、その静止画を全画面表示します。全画面表示画面では、画像の拡大／縮小表示や回転などの操作を行うことができます。
全画面表示中に画像をタップすると、以下のポップアップメニューが表示されます。

アイコン	キャプチャモード
	アルバム画面に戻ります。
	スライドショーを開始します。
	画像が添付されたメールを作成します。
	表示中の画像の連絡先登録、削除などを行います。

■静止画を回転する

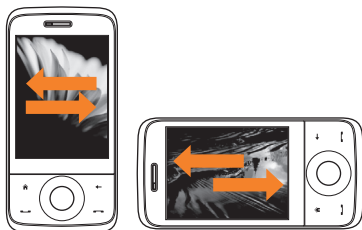
静止画の再生中にE30HTを倒すと、E30HTの向きに合わせて静止画が自動的に回転します。

■静止画を拡大表示する

拡大表示したい部分を時計回りになぞると、なぞった部分が拡大表示（ズームイン）されます。反時計回りになぞると、ズームアウト（縮小）します。

ズームイン　　ズームアウト

memo

◎ナビゲーションコントロールの周囲を時計回り（拡大）または反時計回り（縮小）になぞって操作することもできます。
◎拡大表示しているときにEnterボタンを押すと、元の表示サイズに戻ります。

■前後の静止画に切り替える

静止画の表示中に上下または左右にスライドすると、前後の静止画に切り替わります。

■画像をスライドショー表示する

アルバム表示中に[メニュー]→[スライドショー]をタップすると、スライドショーを表示します。スライドショー再生中にタップすると、コントロールボタンが表示されます。

■アルバムのビデオを再生する

アルバムでビデオのサムネイル画像をタップすると、そのビデオを再生することができます。ビデオのサムネイル画像には、左下に「🎞」が表示されます。

memo

◎Windows Media Playerでビデオファイルを選択し、[再生]をタップして再生することもできます。

■動画再生中の操作

動画再生中に画面をタップすると、再生時間やコントロールボタンが表示され、動画の操作を行うことができます。

■アルバムを終了してカメラに戻る

アルバム画面でをタップします。

■アルバムを終了する

[スタート]→[プログラム]をタップしてアルバムを開いた場合は、アルバム画面で ☒ をタップします。

memo

◎カメラからアルバムを開いた場合は、☒ をタップしてカメラ撮影画面に戻ります。

画像とビデオを使う

画像とビデオでは、E30HTに保存されている画像やビデオクリップを集め、整理し、分類することができます。

ファイルタイプ	ファイル拡張子
画像	bmp、jpg、gif、png
GIF アニメーション	gif
ビデオ	avi、wmv、mp4、3gp、3g2
オーディオ	wma

■画像とビデオを表示する

1 [スタート]→[プログラム]→[画像とビデオ]をタップ

■メディアファイルをE30HTにコピーする

- パソコンやmicroSDメモリカードから、E30HTのマイ ピクチャフォルダに画像やGIFアニメーションをコピーします。
- パソコンやmicroSDメモリカードから、E30HTのマイ ビデオフォルダにビデオファイルをコピーします。
  ファイルのコピーや管理についての詳細は、「ファイルをコピー/管理する」(▶P.137)をご参照ください。

■メディアファイルを表示する

1 [スタート]→[プログラム]→[画像とビデオ]をタップ

2 ナビゲーションコントロールでメディアファイルを選択→[表示]/[再生]をタップ

タップすると、選択中のメディアファイルを再生できます。

■画像とビデオのメニューオプション

メディアファイルを選択して[メニュー]をタップすると、実行可能なオプション一覧が表示されます。

設定しているメールアカウントを使用して送信したり、他のデバイスにビームしたり、写真をスライドショーで表示したり、Windows Liveの自分のスペースに送信したりできます。
[ツール]→[オプションの表示]をタップすると、画像の設定やスライドショーの表示方法を設定できます。

memo

◎表示されるメニューオプションは、選択しているメディアファイルによって異なります。

表示している画像をToday画面の背景に設定するには、[[Today]の背景に設定する]をタップして[ok]をタップします。

■画像を編集する

簡単な操作で静止画ファイルの回転やトリミングが行えます。

1 ナビゲーションコントロールで編集したい画像を選択→[表示]をタップ

2 [メニュー]→[編集]をタップ

3 [回転]をタップして画像を回転、または[メニュー]をタップ→編集オプションを選択

memo

◎[回転]をタップするたびに、時計回りに90度ずつ画像が回転します。

4 [ok]をタップ

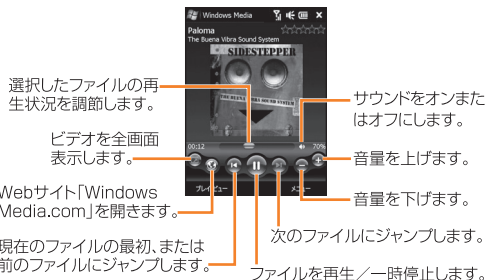
Windows Media Player Mobileを使う

Windows Media Player Mobileを使い、E30HTやネットワーク上のデジタルオーディオやビデオファイルを再生することができます。

■Windows Media Player Mobileを起動する

1 [スタート]→[プログラム]→[Windows Media]をタップ

コントロールについて

以下は Windows Media Player Mobile で使用できるコントロールボタンです。
ファイルを再生/一時停止します。

■画面とメニューについて

Windows Media Player Mobileには3つの主要画面があります。

- **再生画面**： 再生コントロール（再生、一時停止、次へ、戻る、音量など）とビデオウィンドウが表示される最初の画面です。この画面の外観は、他のスキンを選ぶと変更することができます。

- **プレイビュー画面**: プレイビュー再生リストを表示する画面です。この再生リストには、現在再生されているファイルと次に再生されるファイルが表示されます。
- **ライブラリ画面**: オーディオファイル、ビデオファイル、再生リストなどをすばやく見つけることができる画面です。

各画面で[メニュー]をタップすると、実行可能なオプション一覧が表示されます。各画面のメニューオプションについては、E30HTのヘルプをご参照ください。

対応ファイル形式

■ビデオファイル

ファイル形式	ファイル拡張子
Windows Media Video	wmv、asf
MPEG4 Simple Profile	mp4
H.263	3gp、3g2
H.264	mp4、3gp、3g2、m4v
Motion JPEG	avi

■オーディオファイル

ファイル形式	ファイル拡張子
Windows Media Audio	wma
MP3	mp3
MIDI	mid
AMRナローバンド	amr
AMRワイドバンド	awb
AAC	m4a

ライセンスと保護されたファイルについて

保護されたファイルをパソコンからE30HTにコピーする場合、パソコンのWindows Media Playerを使ってファイルをE30HTに同期させてください。(パソコンからE30HTのデバイスにドラッグするだけではコピーできない場合があります。)同期により、保護されたファイルはライセンスと共にコピーされます。ファイルの同期に関する詳細は、パソコンのWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

memo

◎ファイルのプロパティでファイルの保護状態を確認することができます。([メニュー]→[プロパティ] をタップ)

メディアファイルをE30HTにコピーする

最新バージョンのパソコンのWindows Media Playerを使い、メディアファイルをE30HTに同期させます。パソコンのWindows Media Playerを使うと、保護されたファイルはライセンスと一緒にコピーされます。

■コンテンツを自動的にE30HTに同期する

Windows Media Playerバージョン11での操作を例に説明しています。

1. **パソコンでWindows Media Playerを起動→E30HTをパソコンに接続**
2. **デバイスセットアップウィザードでデバイス名を入力→[完了]をクリック**
3. **一番左のウィンドウでE30HTのアイコンを右クリック→[同期の設定]を選択**

4 [このデバイスを自動的に同期させる]をチェック

5 同期させる再生リストを設定→[完了]をクリック

ファイルの同期が始まります。次回、デスクトップバージョンのWindows Media Playerを実行中にE30HTをパソコンに接続すると、自動的に同期が始まります。

■コンテンツを手動でE30HTと同期およびコピーする

1 E30HTとパソコンとの間で同期設定を行っていない場合、「コンテンツを自動的にE30HTに同期する」の操作 1 〜 3 を実行

2 パソコンでWindows Media Playerの[同期]タブをクリック→一番左のウィンドウで再生リスト/ライブラリを選択

3 中央のファイルリストから再生リストやメディアファイルを選択→右側の同期リストにドラッグ&ドロップ

4 同期リスト画面の下方にある [同期の開始] をクリック

memo

◎メディアファイルをE30HTに同期するには、パソコンで Windows Media Player 11以上をご使用ください。

メディアの再生

Windows Media Player Mobileのライブラリを使ってE30HTやmicroSDメモリカードに保存された音楽、ビデオ、再生リストなどを再生することができます。

■ライブラリを更新する

1 ライブラリ画面を開くには、[メニュー]→[ライブラリ]をタップ

2 ライブラリ画面でライブラリ矢印 (画面上方) をタップ→使用するメディア保存場所を選択

自動的にWindows Media Player Mobileのライブラリが更新されます。

[メニュー]→[ライブラリの更新]をタップすると手動でライブラリリストを更新することもできます。E30HTにコピーした新しいファイルを確認できます。

■E30HTでメディアファイルを再生する

1 ライブラリ画面でカテゴリ (マイミュージック、再生リストなど) をタップ

2 再生するアイテム (曲、アルバム、アーティスト名など) をタップしたまま→ポップアップメニューから[再生]をタップ

memo

◎ E30HTに保存されているが、ライブラリには保存されていないファイルを再生するには、ライブラリ画面で[メニュー]→[ファイルを開く] をタップします。再生するアイテム (ファイルやフォルダなど) をタップしたままにし、ポップアップメニューから[再生]をタップします。
◎ インターネット上のメディアファイルを再生するには、ライブラリ画面で[メニュー]→[URL を開く]をタップしてURLを入力します。

再生リストを使う

再生リストとは、特定の順序でメディアファイルを再生するためのリストです。
再生リストを利用すると、オーディオやビデオファイルをグループごとにまとめ、再生することができます。
パソコンのWindows Media Playerでメディアファイルの再生リストを作成し、E30HTをパソコンのWindows Media Playerと同期させることができます。メディアの同期については、「メディアファイルをE30HTにコピーする」(▶P.130)をご参照ください。
E30HTのWindows Media Player Mobileでは、再生リストは再生リストカテゴリのライブラリに保存されています。また、プレイビューと呼ばれる一時的な再生リストもあります。プレイビューには現在再生中のファイルと次に再生されるファイルが表示されます。現在のプレイビュー再生リストに名前を付けて保存すると、E30HTで新しい再生リストを作成することができます。

■ 新しい再生リストを保存する

1 ライブラリ画面でカテゴリ (マイミュージック、再生リストなど) をタップ

2 メディアファイルを選択し、[メニュー]→[再生待ちに追加]をタップ

これでファイルはプレイビューリストに追加されます。
希望のメディアファイルがすべてプレイビューリストに追加されるまで、このステップを繰り返してください。

memo

◎ 同時に複数のファイルを選択することはできません。

3 メディアファイルを追加した後、[メニュー]→[プレイビュー]をタップ

4 プレイビュー画面で [メニュー]→[再生リストの保存]をタップ

5 再生リスト名を入力→[終了]をタップ

6 作成した再生リストを再生するには、ライブラリ画面で[再生リスト] をタップ→任意の再生リストを選択→[再生]をタップ

■ トラブルシューティング

Windows Media Player Mobileを使用中に問題が生じた場合は、問題解決のためのさまざまなサポートが用意されています。
詳しくは、Microsoft WebサイトのWindows Media Player Mobileのトラブルシューティングページ　(http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/player/windowsmobile/) をご参照ください。

プログラムについて

E30HTには次のようなプログラムがインストールされています。

スタートメニューのプログラム

アイコン	説明
	メール:電子メールの送受信ができます。
	自局番号:au ICカードに登録されている電話番号(自局電話番号)を表示して確認できます。
	電話:電話の発着信、通話の切り替えなどができます。
	予定表:カレンダーにスケジュールを登録します。
	連絡先:友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。
	グローバル機能:E30HTを使用するエリアやPRL(ローミングエリア情報)を設定します。
	ヘルプ※:Windows Mobileに標準搭載されている各機能と、E30HTにプリインストールされている各種アプリケーションに関するヘルプを表示します。

※一部のヘルプ項目には、E30HTで利用できない以下のような機能に言及している箇所があります。ご了承ください。

- 赤外線通信
- 音楽の一部を着信音に設定する機能
- 一部の電話関連機能(代替電話回線／帯域の設定／固定ダイヤル／自動ダイヤル／放送チャネル／FAX／TTY／インターネット電話)

プログラム画面

アイコン	説明
	Office Mobile:モバイル向けのMicrosoft Officeアプリケーションです。
	Excel Mobile:Microsoft Excelワークブックの新規作成、表示、編集ができます。
	OneNote Mobile:Microsoft OneNoteファイルを新規作成、表示、編集できます。
	PowerPoint Mobile:Microsoft PowerPointのスライドやプレゼンテーションを表示できます。
	Word Mobile:Microsoft Wordドキュメントを新規作成、表示、編集できます。
	ゲーム:Bubble Breaker、Teeter、ソリティアの3種類のゲームがあります。
	ActiveSync:E30HTとパソコンまたは Exchange Serverの間で情報の同期ができます。
	Adobe Reader LE:PDFファイルを閲覧することができます。
	Internet Explorer:Webサイトを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。
	JBlend:業務用アプリケーションなどをインストールして利用できます。
	Messenger:モバイル版のWindows Live Messengerを利用できます。
	NAVITIME:目的地までの経路を検索することができます。
	Opera Browser:モバイル版のOperaブラウザを利用できます。
	Scan and Fax:カメラをFAXやスキャナとして利用できます。

アイコン	説明
	WalkingHotSpot:E30HTをワイヤレスLANのルータとして利用できます。
	Windows Live:MicrosoftのWindows Liveサービス(メール、メッセンジャー、スペース、サーチ)を利用できます。
	Windows Media:ビデオやオーディオファイルを再生します。
	Zip:ファイルを通常のZIP形式に圧縮します。メモリを節約したり、メモリスペースを空けることができます。
	アルバム:写真やビデオを表示します。
	インターネット共有:E30HTからのインターネット接続を、他のパソコンなどから利用します。
	お使いになる前に:E30HTの基本的な機能や設定の概要を確認できます。
	カメラ:写真を撮影したり、音声付きビデオを撮影したりできます。
	ファイル エクスプローラー:E30HTのファイルを整理し、管理します。
	ボイス短縮ダイヤル:音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行したりするために、音声(ボイスタグ)を録音して登録します。
	メモ:手書きのメモ、文字入力、ボイスメモの作成ができます。
	リモート デスクトップ モバイル:リモート デスクトップの表示や動作に関する設定を行います。
	画像とビデオ:E30HTやmicroSDメモリカードに保存されている写真、アニメーション GIF、ビデオファイルなどを表示および管理します。
	検索:E30HTに保存されている連絡先、データ、その他の情報を検索します。
	仕事:仕事の進捗などを管理できます。
	電卓:加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。

Microsoft Office Mobile

Office Mobileでは、以下の4つのアプリケーションを使用して、Microsoft文書を作成、編集、閲覧することができます。

- **Word Mobile** は Microsoft Word の簡易バージョンです。パソコンで作成したWordドキュメントをE30HTで開き、編集することができます。また、Word Mobileでドキュメントやテンプレートを新規作成し、doc、rtf、txt、dotファイルを保存することができます。
- **Excel Mobile** を使うと、パソコンで作成した Excel ワークブックやテンプレートを開いたり、編集したりすることができます。また、E30HTで新しいワークブックやテンプレートを作成することもできます。
- **PowerPoint Mobile** では、パソコンで作成したpptおよびpps形式のスライドショープレゼンテーションを実行することができます。(作成、編集は行えません。)
- **OneNote Mobile** では、パソコンで作成したOneNoteファイルを開いたり、OneNoteファイルを新規に作成することができます。また、ファイルの内容を編集し保存することができます。

■Office Mobileアプリケーションを起動する

[スタート]→[プログラム]→[Office Mobile]をタップし、起動するOffice Mobileアプリケーションを選択します。

memo

◎ファイルの保存形式は、Wordはdocx、Excelはxlsxに設定されています。パソコンでこれらのファイルを開くには、Office 2007以降のバージョンのWordやExcel、またはコンバーターが必要です。
◎Wordの保存形式をdocに変更するには、[メニュー]→[オプション]をタップし、[既定のテンプレート]から[Word 97-2003文書]を選択します。
◎Excelの保存形式をxlsに変更するには、すべてのExcel文書を閉じた状態で[メニュー]→[オプション]をタップし、[新しいブックのテンプレート]から[空白の97-2003ブック]を選択します。
◎Word Mobile はMicrosoft Wordのすべての機能に対応しているわけではありません。変更履歴やパスワード保護などはご利用になれません。ドキュメントをE30HTで保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Word Mobileで対応している機能を確認するには、E30HTのヘルプをご参照ください。
◎Excel Mobileは関数やセルコメントなど、一部の機能に対応していません。ワークブックをE30HTで保存すると、一部のデータや形式が失われることがあります。Excel Mobileで対応している機能を確認するには、E30HTのヘルプをご参照ください。
◎OneNote Mobileは、パソコン用Microsoft OneNoteとは一部の機能が異なるため、パソコン上での表示と異なる場合があります。また、ファイルを保存したときに一部のデータや書式が失われる場合があります。

Adobe Reader LEを使う

Adobe Reader LEを使うと、PDF ファイルを表示することができます。

■Adobe Reader LEを起動する／ファイルを開く

1 [スタート]→[プログラム]→[Adobe Reader LE]をタップ

最近開いたファイル一覧が表示されます。
初めてAdobe Reader LEを起動したときは、マイデバイス配下のフォルダやファイルが一覧表示されます。

2 ファイルをタップ

- 最近開いたファイル一覧にファイルが表示されない場合は、[参照]をタップしてマイデバイスからファイルを選択してください。

■PDFファイルを操作する

PDF ファイルでは次のような操作ができます。

- 縦または横のスクロールバーにある上、下、左、右の矢印キーをタップし、ページを自由にスクロールさせることができます。
- ナビゲーションコントロールの上、下、左、右ボタンを押すと、ページを上下に移動したり、ページ内をスクロールしたりできます。
- 前ページに移動するには ◀ を、次ページに移動するには ▶ をタップします。また、先頭ページにジャンプするには ⏮ を、最終ページに移動するには ⏭ をタップします。
- [ツール]→[移動]をタップすると、特定のページへ直接移動することができます。

■PDFファイルで文字を検索する

1 PDFファイルを開く

2 [ツール]→[検索]→[文字列]をタップ

3 検索する文字を入力

4 大文字・小文字を区別する、単語全体、後方検索など、検索条件を選択→[検索]をタップ

■Adobe Reader LE を終了する

[メニュー]→[終了]をタップします。

memo

◎ Adobe Reader LEではブックマークを含むPDFファイルのためにブックマークウィンドウが表示されます。ブックマークをタップすると、ファイル内の特定部分やページにジャンプすることができます。
◎ Adobe Reader LEは最大128ビット暗号までのパスワード保護されたPDFに対応しています。パスワードにより保護されたPDFファイルを開くと、まずパスワードを入力するよう要求されます。

ファイルをコピー/管理する

E30HTとパソコン間でファイルをコピーしたり、microSDメモリカードにファイルをコピーすることができます。また、ファイルエクスプローラーを使用すると、ファイルやフォルダを効率的に管理できます。

Windows Mobileデバイスセンター/ActiveSyncを使用する

Windows MobileデバイスセンターまたはActiveSyncを使うと、パソコンからE30HTへ、またはその逆にファイルをコピーすることができます。

■E30HTとパソコンの間でファイルをコピーする

1 E30HTをパソコンに接続

2 パソコンのWindows Mobileデバイスセンターで[ファイル管理]→[デバイスのコンテンツの参照]をクリック、またはActiveSyncで[エクスプローラ] をクリック→E30HTの「モバイルデバイス」フォルダを開く

3 E30HTからパソコンにファイルをコピー

a. 「モバイルデバイス」フォルダでコピーしたいファイルに移動します。
b. ファイルを右クリックし、[コピー]をクリックします。
c. パソコン でコピー先のフォルダを選択します。フォルダを右クリックし、[貼り付け]をクリックします。

4 パソコンからE30HTにファイルをコピー

a. パソコンでコピーしたいファイルが含まれるフォルダまで移動します。
b. ファイルを右クリックし、[コピー]をクリックします。
c. 「モバイルデバイス」で保存先のフォルダを右クリックし、[貼り付け]をタップします。

コピーしたファイルは同期されていないため、E30HTとパソコンのファイルとでは異なった状態になります。変更内容を更新するために、E30HTとパソコンとでファイルを同期してください。

ファイル エクスプローラー

ファイル エクスプローラーによりE30HTのフォルダの内容を確認できます。E30HTのルートフォルダは「マイ デバイス」となり、パソコンの「マイ コンピュータ」と同様に「My Documents」、「Program Files」、「Temp」、「Storage Card」および「Windows」フォルダなどを含んでいます。

■ファイル エクスプローラーを使用する

1 **[スタート]→[プログラム]→[ファイル エクスプローラー]をタップ**

2 **開きたいフォルダ/ファイルをタップ**

3 **上の階層に戻るには、下矢印(▼)をタップしてフォルダを選択**

4 **ファイルの削除、名前の変更、コピーなどをすばやく行うには、ファイルをタップしたまま→ポップアップメニューから項目を選択**

ファイルをドラッグすると、複数のファイルを選択できます。

■microSDメモリカードにファイルをコピーする

1 **E30HTにmicroSDメモリカードが正しく挿入されていることを確認**

2 **[スタート]→[プログラム]→[ファイル エクスプローラー]をタップ**

3 **目的のフォルダへ移動→コピーするファイルをタップしたまま→[コピー]をタップ**

4 **下矢印(▼)をタップ→[Storage Card]をタップ**

5 **[メニュー]→[編集]→[貼り付け]をタップ**

■microSDメモリカードに自動的に保存する

Word Mobileやメモ帳などのプログラムで、すべての新規作成ドキュメント、メモ、ワークブックなどのファイルをすべてmicroSDメモリカードに保存するよう設定しておくと便利です。

1 **プログラムファイルの一覧から[メニュー]→[オプション]または[メニュー]→[ツール]→[オプション]をタップ**

2 **[保存先]で[Storage Card]をタップ**

3 **[ok]をタップ**

memo

◎ファイルまたはメモの一覧では、microSDメモリカードに保存されたファイルの隣に記号が表示されます。

ZIPを使う

ファイルを ZIP形式に圧縮することでE30HTのメモリ容量を増やすことができます。さまざまなソースから受信したアーカイブファイルを表示したり、展開したりすることができます。また、E30HTで新しいZIP ファイルを作成することもできます。

ZIPを起動し、ZIPファイルを開く

ZIPを使ってE30HTのファイルをアーカイブしたり、または既存のアーカイブファイルを開いたりすることができます。E30HTでZIPを起動するたびにzipの拡張子を持つファイルを検索し、アーカイブ一覧画面に表示します。

■ E30HTで ZIP を起動する

1 [スタート]→[プログラム]→[Zip]をタップ

■ ZIPファイルを開き、ファイルを展開する

1 次のいずれかの方法でファイルを開く

- ファイルをナビゲーションコントロールで選択し[ファイル]→[アーカイブを開く]をタップします。
- ファイルをタップしたままにし、[アーカイブを開く]をタップします。
- ファイルをタップします。

ZIPファイルに含まれるファイルが表示されます。

2 以下のいずれかの方法でファイルを選択

- ファイルをタップして選択します。
- 複数のファイルを選択するには、[メニュー]→[アクション]をタップし、[マルチ選択モード]が選択されていることを確認します。各ファイルをタップして選択します(選択したファイルを再度タップすると、選択を解除します)。
- すべてのファイルを選択するには、[メニュー]→[アクション]→[すべて選択]をタップします。

3 [メニュー]→[アクション]→[解凍] をタップ

4 ファイルを展開するフォルダを選択→[解凍]をタップ

memo

◎ 複数のZIP ファイルを同時に選択することはできません。

■ ZIP アーカイブを作成する

1 [新規作成]、または[ファイル]→[新規アーカイブ]をタップ

2 ZIPファイルの名前を指定→保存先フォルダを選択→ZIPファイルをE30HTのメインメモリに保存するか、microSDメモリカードに保存するかを選択

3 [保存] をタップ

4 [メニュー]→[アクション]→[追加]をタップ

5 アーカイブするファイルを含むフォルダをダブルタップ

6 以下のいずれかの方法でファイルを選択

- ファイルをタップして選択します。
- 複数のファイルを選択するには、画面でタップしたままにして、ポップアップメニューから[マルチ選択モード] を選択し、対象のファイルをタップします(選択したファイルを再度タップすると、選択を解除します)。
- すべてのファイルを選択するには、画面でタップしたままにし、[すべて選択]をタップします。

7 [追加]をタップ

8 [メニュー]→[ファイル]→[アーカイブを閉じる]をタップ

9 ZIPファイルを閉じた後、[検索] をタップ

すべてのZIPファイルを検索してアーカイブ一覧画面に表示します。

ボイス短縮ダイヤルを使う

音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行したりするために、ボイスタグを録音しておくことができます。

電話番号のボイスタグを作成する

1 [スタート]→[連絡先]をタップ

連絡先一覧が表示されます。

2 次のいずれかの方法でボイスタグを作成

- 連絡先をタップしたままにし、[ボイスタグの追加]をタップします。
- ナビゲーションコントロールで連絡先を選択し、[メニュー]→[ボイスタグの追加]をタップします。
- 連絡先をタップして詳細画面を表示し、[メニュー]→[ボイスタグの追加]をタップします。

3 ボイスタグを作成する電話番号を選択→録音ボタン(●)をタップ→任意のボイスタグを録音

録音を終えると、ボイスタグアイコン( )がアイテムの右側に表示されます。

アイテムに対してボイスタグを作成すると、次の操作を行うことができます。

- 録音ボタン(●)をタップしてボイスタグを再設定できます。
- 再生ボタン(▶)をタップしてボイスタグを再生できます。
- 削除ボタン(✕)をタップしてボイスタグを削除できます。

memo

◎ 音声認識の精度を上げるため、静かな場所で録音を行ってください。

プログラムのボイスタグを作成する

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ボイス短縮ダイヤル]をタップ

2 [アプリケーション]タブをタップ

3 ボイスタグを作成するプログラムを選択→録音ボタン(●)をタップ→任意のボイスタグを録音

ボイスタグを使った音声発信やプログラム起動

1 ボイス短縮ダイヤルが起動するまで通話ボタンを長押しする

2 発信音の後、電話番号／プログラムに割り当てたボイスタグを発声

システムがボイスタグを再生し、該当する番号に発信／該当するプログラムを起動します。

memo

◎ ボイスタグがうまく認識されない場合は、ボイスタグが認識されやすいようにはっきり発音したり、周囲の雑音が少なくなるよう工夫して、もう一度録音してください。

■作成したボイスタグの表示と動作確認

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ボイス短縮ダイヤル]をタップ

[ボイスタグ]タブに、作成したすべてのボイスタグの一覧が表示されます。

一覧からアイテムを選択し、次の操作を行うことができます。

- 録音ボタン(●)をタップしてボイスタグを再設定できます。
- 再生ボタン(▶)をタップしてボイスタグを再生できます。
- 削除ボタン(✕)をタップしてボイスタグを削除できます。

NAVITIME

NAVITIMEは目的地への最適な経路を検索し、出発から到着までをナビゲーションしてくれるサービスです。

会員登録する

- 会員登録は月額課金契約への登録となります。地図検索や乗換検索などの一部機能は、会員登録をしなくてもご利用になれます。

1 [スタート]→[プログラム]→[NAVITIME]をタップ

- 初めてNAVITIMEを起動した場合は、通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。[はい(次回以降も同様)]をタップすると、次回から確認画面は表示されなくなります。

2 [登録／インフォメーション]→[会員登録／解除]をタップ

会員登録／解除画面が表示されます。

以降は、画面の指示に従って操作してください。

NAVITIMEを利用する

NAVITIMEは目的地までの経路検索や現在地、周辺などの地図検索、乗り換え案内など、さまざまな情報を検索することができます。

- NAVITIMEの詳細については、NAVITIMEのヘルプをご参照ください。

1 [スタート]→[プログラム]→[NAVITIME]をタップ

2 情報を検索

カテゴリを選択し、目的のメニューをタップします。

カテゴリを選択すると、画面右下に概要が表示されます。

- GPSの状態を確認する場合は、[GPSチェック]をタップします。
- 操作中にNAVITIMEのトップメニュー画面に戻る場合は、[トップメニューへ]をタップします。

Scan and Fax／スキャンR

スキャンRの機能を利用して、カメラで撮影した文書や名刺、ホワイトボードの会議内容などをアップロードし、オンラインでFAXの送信やファイルの保存／共有を行うことができます。

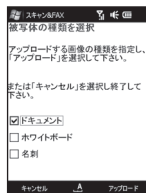
写真データをアップロードする

1 [スタート]→[プログラム]→[カメラ]をタップ→写真を撮影

2 メールアイコン(✉)をタップ→[FAXで送信/スキャナで読取]→[送信]をタップ

3 [ドキュメント]、[ホワイトボード]、または[名刺]から撮影した写真の種別を選択→[アップロード]をタップ

撮影した写真がアップロードされます。

初回ご利用時は、アップロード後、スキャンR登録を画面の指示に従って操作してください。

アップロードした写真データを確認する

1 [スタート]→[プログラム]→[Scan and Fax]をタップ

2 確認したい写真データをタップ

写真データが拡大表示されます。

- 他の人と写真データを共有する場合は、[共有する]をタップします。
- 指定した番号へFAX送信する場合は、[FAXを送る]をタップします。
- 写真データをテキスト形式に変更する場合は、[テキスト形式]をタップします。
- 写真データを削除する場合は、[削除]をタップします。

WalkingHotSpot

E30HTを無線LANホットスポットとして使用し、Wi-Fi対応のパソコンなどからインターネット接続を利用できます。

1 [スタート]→[プログラム]→[WalkingHotSpot]をタップ

2 [起動]をタップ

ホットスポット機能がオンになり、画面のWi-Fiアクセスポイント名の横に「オン」が表示されます。

3 パソコンなどのWi-Fi機能を使って、E30HTに接続する

4 接続許可を確認するメッセージが表示された場合は、[許可]をタップ

■ クライアントからの接続について

クライアント（パソコンなど）の設定画面では、接続先情報として、WalkingHotSpot画面に表示されているWi-Fiアクセスポイント名が表示されます。（SSID）また、オプション設定でパスワード（WEPキー）を設定している場合は、クライアント側でWEPキーの設定が必要になります。

接続方法の詳細は、お使いになるパソコンなどの取扱説明書をご参照ください。

※WalkingHotSpotはアドホックモードでWi-Fi通信を行います。アドホック通信でのインターネット接続に対応していない機器をクライアントとして使用することはできません。

WalkingHotSpotを終了する

WalkingHotSpot画面の[停止]をタップするとホットスポット機能が停止し、すべてのクライアントからのWi-Fi接続が切断されます。
WalkingHotSpotアプリケーション自体を終了するには、[オプション]→[終了 WalkingHotSpot]をタップしてください。

memo

◎WalkingHotSpotでホットスポット機能をオンにしている間は、バッテリの消費が大きくなります。ホットスポット機能を使用しないときは機能を停止するか、WalkingHotSpotを終了しておくことをおすすめします。
◎[オプション]→[非表示]をタップすると、WalkingHotSpotの画面を閉じることができます。再度表示するには、Today画面右下の をタップします。

WalkingHotSpotのオプション設定

WalkingHotSpotの[オプション]→[設定]から、以下のような設定を行えます。

■電源

バッテリ消費を節約するための電源設定を行います。
非アクティブ状態設定:ホットスポット機能実行中にクライアントからの接続(通信)が一定時間途絶えた場合に、自動的にホットスポット機能を停止するように設定します。また、停止するときにメッセージ表示するかどうか(**ポップアップ**)や、接続タイムアウトするまでの時間(**タイムアウト**)を設定できます。
バッテリ残量が少なくなったら停止:E30HTのバッテリ残量が30%よりも少なくなったときに、自動的にホットスポット機能を停止するように設定します。

■クライアント

クライアント(パソコンなど)との接続に関する設定を行います。
クライアント自動接続:ホットスポット機能実行中に、クライアントから自由に接続できるように設定します。初期値はオフになっています。
クライアント情報:現在E30HTに接続しているクライアントの情報を一覧表示します(MACアドレスやIPアドレスなど)。一覧からクライアントを選択して接続を切断したり(**一時ブロック**)、そのクライアントからの接続を常にブロックするように設定したり(**ブロック**)できます。
ブロックされたユーザー:ブロック設定されているクライアント情報を一覧表示します。

■ネットワーク

Wi-Fiアクセスポイント名(SSID)やWEPセキュリティ機能を設定します。
WANアクセス ポイント:E30HTが接続する先のネットワーク情報です。通常は設定変更できません。
WiFiアクセス ポイント:クライアント(パソコンなど)から見えるアクセスポイント名(SSID)を変更します。WalkingHotSpotのトップ画面に表示されます。初期値では、whsXXXXXXXに設定されています。(XXXXXXXは端末ごとに設定される7桁の数値)
パスワード(WEP キー):クライアントとの通信を暗号化するためのWEPキーを、5文字または13文字の半角英数記号で設定します。ここでWEPキーを設定した場合は、クライアント側でも同じWEPキーを入力する必要があります。

■ユーザー インターフェイス スキン

WalkingHotSpotの画面表示(配色)を変更します。

リモート デスクトップ モバイル

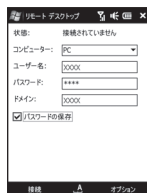
ネットワーク内のパソコンをE30HTで操作することができます。

- あらかじめコンピュータ名、ユーザー名、パスワード、ドメインを確認しておく必要があります。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

リモート デスクトップでパソコンを操作する

1 [スタート]→[プログラム]→[リモート デスクトップ モバイル]をタップ

2 各項目を入力→[接続]をタップ

E30HTとパソコンが接続され、E30HTのタッチスクリーンにパソコンの画面が表示されます。

- 全画面で表示する場合は、[全画面表示]をタップします。
- パソコンの操作を終了する場合は、[切断]をタップします。

リモート デスクトップのオプション設定

リモート デスクトップの表示や動作に関する設定を行います。

1 [スタート]→[プログラム]→[リモート デスクトップ モバイル]をタップ

2 [オプション]をタップ

3 以下の項目を設定

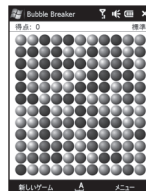
- **表示**:デスクトップの画面の色や全画面表示するかどうか、画面に合わせて表示サイズを調整するかどうかを設定します。
- **リソース**:デバイスの保存スペースをパソコンにマップするかどうか、リモート デスクトップの操作音をどのデバイスから出力するかを設定します。

4 [ok]をタップ

その他の機能

Bubble Breaker

となり合っている同色のバブル(シャボン玉)を消していくゲームです。一度に多くの同色バブルを消すと、高い得点になります。

1 [スタート]→[プログラム]→[ゲーム]→[Bubble Breaker]をタップ

2 消すバブルをタップ

消せるバブルが線で囲まれ、得られる得点が表示されます。

3 もう一度タップ

バブルが消え、得点が加算されます。
同様の操作を繰り返し、消せるバブルがなくなると終了です。

- 新しくゲームを始める場合は、[新しいゲーム]をタップします。

Teeter

E30HTを傾けてボールを転がし、ゴールの穴へボールを落とすゲームです。

1 [スタート]→[プログラム]→[ゲーム]→[Teeter]をタップ

前回途中で終了した場合は、再開するかリスタートするかの確認画面が表示されます。

2 E30HTを傾けてゴールの穴(緑色)にボールを落とす

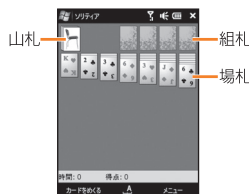
途中の黒い穴にボールが落ちると、やり直しとなります。
ボールをゴールの穴(緑色)に落とすとクリアとなり、クリアするまでにかかった時間や回数などが表示されます。
ゲーム終了の場合は、タッチスクリーンをタップして[はい]を選択します。

ソリティア

山札と場札のカードすべてを使い切って、組札に積み重ねるゲームです。ルールは以下の通りです。

- 組札には1からKまでの同じ種類のカードを、小さい順に積み重ねることができます。
- 場札には、大きい順に赤・黒のカードを交互に積み重ねることができます。
- すべてのカードを組札に積み重ねることができたら、ゲームクリアです。
- 移動できるカードがなくなるとゲームオーバーです。

1 [スタート]→[プログラム]→[ゲーム]→[ソリティア]をタップ

2 タップしてカードをめくる

3 山札／場札のカードを移動先にドラッグ

同様の操作を繰り返します。

- 新しくゲームを始める場合は、[メニュー]→[新しいゲーム]をタップします。

E30HTで行える設定について

E30HTはお客様の利用に合わせてさまざまな設定を行うことができます。[スタート]→[設定] をタップした後、[個人用]、[システム]および[接続]タブをタップすると各種設定アイコンが表示されます。

個人用タブ

アイコン	説明
	Today:Today画面に表示されるアイテムや画面の配色(テーマ)をカスタマイズできます。
	オーナー情報:E30HTに個人情報を入力できます。
	ボイス短縮ダイヤル:音声によりダイヤルしたり、アプリケーションを実行するための音声(ボイスタグ)を管理したり、録音して登録することができます。
	ボタン:通話ボタンにプログラムや機能を割り当てることができます。
	メニュー:スタートメニューに表示するプログラムの設定ができます。
	ロック:パスワードの設定ができます。
	入力:各入力方式にオプションの設定ができます。
	電話:着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、auICカードに暗証番号 (PIN) を設定できます。
	音と通知:イベントやプログラムの動作音のオン/オフ、およびイベントごとの通知音やバイブレーションなどを設定できます。

システムタブ

アイコン	説明
	G-Senser:E30HTの水平位置を設定します。
	TouchFLO:画面をスクロールまたはパンするときの効果音の設定、スタートメニューの表示サイズやステータスアイコンの拡大表示の設定ができます。
	Windows Update:Microsoft の Web サイトへリンクし、E30HTのWindows Mobileを最新のセキュリティパッチや修正版に更新します。
	エラー報告:E30HTのエラー報告機能の有効/無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムとE30HTの状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、Microsoftのテクニカルサポートセンターにログが送信されます。
	カスタマー フィードバック:E30HTのシステムの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定できます。
	ストレージをクリア:メモリからすべてのデータとファイルを消去し、E30HTをお買い上げ時の初期設定に戻します。
	タスクマネージャ:終了ボタン(☒)でプログラムを終了するか、またはプログラム画面を非表示にするかを設定します。詳しくは、「タスクマネージャ」(▶P.156)をご参照ください。
	バージョン情報:E30HTで使用されている Windows Mobileバージョンやプロセッサタイプなどの基本情報が表示されます。E30HTに名前を設定することもできます。
	プログラムの削除:E30HTにインストールしたプログラムを削除できます。
	メモリ:E30HTのメモリ割り当て状態とmicroSDメモリカード情報を表示します。

アイコン	説明
	地域:使用する言語や、E30HTで表示する数字、通貨、日時の形式を設定できます。
	外付け GPS:必要に応じて適切なGPS通信ポートを設定します。E30HTにGPS にアクセスするプログラムがインストールされている場合や、E30HTにGPS受信機を接続してある場合に必要となります。詳しくは、外付け GPSを開いているときに、[スタート]→[ヘルプ]をタップして表示されるE30HTのヘルプをご参照ください。
	大きいタイトルバー:ステータスアイコンの拡大表示を設定します。[TouchFLO]の[ステータスアイコンをタップしたときにシステムの状態画面を表示する]を変更すると、本設定も変更されます。
	時計とアラーム:E30HTの日付や時刻を調整したり、曜日や時刻を指定してアラームを設定できます。
	暗号化:microSDメモリカードに保存されるファイルを暗号化します。暗号化されたファイルは、E30HTのみ読み取り可能です。
	画面:タッチスクリーンの補正、文字サイズの変更などができます。
	管理プログラム:社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。
	終了ボタンの長押し:終了ボタンを長押ししたときの動作を設定します。
	装置情報:ファームウェアのバージョン、ハードウェア、IDなどの情報を表示します。
	証明書:E30HTにインストールされている証明書についての情報を表示します。
	電源:電池残量を表示します。また、電池を節約するために、画面をオフにし、E30HTをスリープモードに切り替えるまでのタイムアウト時間を設定できます。

接続タブ

アイコン	説明
	Bluetooth:Bluetooth®機能をオンにして、E30HTを検出可能モードに設定すると、他のBluetooth®デバイスからE30HTを検出することができます。
	Comm Manager:E30HTの通信機能(通話/パケット通信、Bluetooth®、ワイヤレスLAN)やDirectPush機能のオン/オフを切り替えます。
	USBからPCへ:USBケーブルを使用して、パソコンとE30HTを接続するときの接続タイプを設定できます。
	Wi-Fi:有効なワイヤレスネットワークを検出します。
	グローバル機能:E30HTを使用するエリアやPRL(ローミングエリア情報)を設定します。
	ドメインへの登録:E30HTを会社のドメインに登録して、社内システム管理者がE30HTを管理できるように設定できます。
	ネットワーク接続設定:利用する接続先を選択します。手動で設定した接続先は、日本国内のみ有効です。
	ビーム:E30HTが Bluetooth®の着信ビームを受信するかどうかを設定します。
	ワイヤレスLAN:有効なワイヤレスネットワークに関する情報を表示し、ワイヤレスLAN設定をカスタマイズします。
	接続:E30HTがプライベートのローカルネットワークに接続できるようにパケット通信、Bluetooth®などのモデム接続を設定します。
	通話オプション:auの通話オプションの設定を行います。

各種設定

オーナー情報

Today画面にオーナー情報を表示することができます。

■オーナー情報を入力する

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[オーナー情報]をタップ

2 [オーナー情報]タブで個人情報を入力

memo

◎ Today画面にオーナー情報が表示されていない場合は、[スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[Today] をタップします。[アイテム] タブで [オーナー情報]のチェックボックスを選択します。

■E30HTをオンにしたときにオーナー情報を表示する

E30HTの電源を入れたときやスリープモードを解除したときに、「マイインフォ」画面が表示されるように設定することができます。この画面には所有者の個人情報が表示されます。

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[オーナー情報]をタップ

2 [オプション]タブで[オーナー情報]をチェック

3 その他の説明を表示したい場合は、[メモ]タブをタップ→説明を入力(例: 拾った方はお届けください)

4 [オプション]タブで[メモ]をチェック→[ok]をタップ

日付と時刻

■日付と時刻を設定する

日付と時刻は、ネットワークから通知される情報をもとに自動で設定されます。

memo

◎ [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[時計とアラーム]→[時刻]タブで日付、時刻を手動で変更できますが、ネットワークからの情報により自動で補正されると、変更は無効となります。
◎ 同期を行うと、E30HTの時刻はパソコンの時刻に合わせて変更されますが、ネットワークからの情報により自動で補正されると、変更は無効となります。

■別の場所の日付と時刻を設定する

別のタイムゾーンを訪れたり、別の場所にいる人と通信する場合は、その場所を訪問先のタイムゾーンとして設定することができます。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[時計とアラーム]

2 [時刻]タブで[訪問先]をタップ

3 正しいタイムゾーンを選択→日付/時刻を変更

地域設定

E30HTでの数字、通貨、日付、時刻の表示方法は地域設定により変更することができます。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[地域]をタップ

2 [地域]タブで、一覧から使用する地域を選択

3 さらに詳細設定を行う場合は、該当するタブをタップ→設定するオプションを選択

memo

◎ 地域設定を変更しても、E30HTのオペレーティングシステムの言語は変更されません。
◎ 選択された地域により、他のタブで使用可能となるオプションが若干異なります。

スタートメニューをカスタマイズする

スタートメニューに表示されるアイテムを選択することができます。

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[メニュー]をタップ

2 スタートメニューに表示するアイテムをチェック

最高7つまで選択できます。

memo

◎ スタートメニューの[プログラム]にフォルダやショートカットを作成することもできます。パソコンのActiveSyncで[エクスプローラ]をクリックしてください。モバイルデバイスウィンドウで[マイWindows Mobileデバイス]→[Windows]→[スタートメニュー]をダブルクリックして、表示したいフォルダやショートカットを作成します。追加したアイテムは、同期後に表示されます。パソコンとの同期については、「パソコンと同期する」(▶P.60)をご参照ください。

デバイス名

デバイス名は、次のような場合にE30HTを識別するための名称です。

- パソコンと同期するとき
- ネットワークに接続するとき
- バックアップから情報を復旧するとき

memo

◎ 1台のパソコンで複数のデバイスを同期する場合、デバイス名はすべて異なる必要があります。パソコンとの同期に関する詳細は、「パソコンと同期する」(▶P.60)をご参照ください。

■デバイス名を変更する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[バージョン情報]をタップ

2 [デバイスID]タブをタップ

3 名前を入力

memo

◎ デバイス名は必ずA～Zの英文字、または0～9の数字で始まる必要があります。また、スペースは使用できません。単語を区切りたい場合は_(アンダースコア)をご使用ください。

画面設定

■バックライトを調整する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[電源]→[バックライト]タブをタップ

2 **スライダーを動かし、画面の明るさを調整**

右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。

memo

◎明るく設定すると電池の消耗が早くなります。

■一定時間後にバックライトを消すよう設定する

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[電源]→[詳細設定]タブをタップ**

2 **[バックライトを消すまでのアイドル時間]をチェック→時間を選択**

memo

◎アイドル時間が長いと電池の消耗が早くなります。

■画面の文字を大きくする/小さくする

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[画面]→[文字サイズ]タブをタップ**

2 **スライダーを移動**

文字サイズを大きくしたり、小さくしたりできます。

ボタンの設定

■通話ボタンを長押ししたときの動作を設定する

1 **[スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ボタン]→[プログラム ボタン]タブをタップ**

2 **[プログラムの割り当て]で、通話ボタンの長押しに割り当てるプログラムやショートカットをタップ**

3 **[ok]をタップ**

■終了ボタンを長押ししたときの動作を設定する

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[終了ボタンの長押し]をタップ**

2 **終了ボタンを長押ししたときの動作を選んでチェック**

3 **[ok]をタップ**

アラームと通知

■アラームを設定する

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[時計とアラーム]→[アラーム]タブをタップ**

2 **[<アラームの詳細>]をタップ→アラームの名前を入力**

3 **アラームを設定する曜日をタップ**

必要に応じて複数の曜日を選択できます。

4 **時間をタップ→アラーム時刻を設定→[ok]をタップ**

5 **アラームアイコン( )をタップ→アラームの種類を指定→[ok]をタップ**

アラームにはサウンドを鳴らす、サウンドを繰り返す、ライトを点滅する、バイブの4種類があります。

6 **設定するアラームをチェック→画面右上の[ok]をタップ**

■イベントやアクションの通知方法を設定する

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[音と通知]をタップ

2 [サウンド]タブでボックスをチェック→通知方法を選択

3 [通知]タブの[イベント]でイベントを選択→通知方法を選択

特殊なサウンド、メッセージ、LEDの点滅などの方法で通知することができます。

4 [ok]をタップ

◎サウンドとLEDの点滅をオフにすると、電池を節約することができます。

電話から鳴る音を消す(マナーモード)

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。

1 タイトルバーのアイコンエリアをタップ

2 スピーカーアイコン(🔈)をタップ

サイレントモード/マナーモード設定中は、表示されるアイコンが異なります。

3 [マナーモード]をタップ

《音量設定画面》

memo

◎マナーモードを解除する場合は、音量設定画面で[マナーモード]以外をタップして解除します。
◎マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音とセルフタイマー音は鳴ります。

電話の設定をカスタマイズする

電話の着信音や着信パターン、番号を入力するときのボタン音など、電話の各種設定をカスタマイズできます。

- 電話画面で[メニュー]→[オプションの表示]をタップします。
- [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[電話]をタップします。

着信音を設定する

■着信音や着信パターンを変更する

1 電話画面で[メニュー]→[オプションの表示]→[電話]タブをタップ

2 [着信音]のリストから使用するサウンドをタップ

memo

◎インターネットからダウンロードしたり、パソコンからコピーしたwav、midファイルを着信音として使用することもできます。まずサウンドファイルをE30HTの¥Windows ¥Ringsフォルダにコピーし、このサウンドを着信音リストから選択して設定します。ファイルのコピー方法に関する詳細は、「ファイルをコピー/管理する」(▶P.137)をご参照ください。

3 [着信パターン]のリストから着信パターンをタップ

4 [ok]をタップ

キーパッド音

キーパッドで番号を入力するときのボタン音を変更することができます。操作音(長)に設定すると、ボタンを押している間はずっと音を発します。留守電からメッセージを聞くなど、トーンによる操作で問題が生じた場合は、こちらをご使用ください。操作音（短）に設定すると、ボタンを押したときに1～2秒だけ音を発します。オフに設定すると、操作音は聞こえません。

1 電話画面で［メニュー］→［オプションの表示］→［電話］タブをタップ

2 ［キーパッド］のリストから任意のオプションをタップ

3 ［ok］をタップ

Comm Managerを使う

Comm Managerでは、電話機能のオン/オフを切り替えたり、データ接続を管理することができます。

■Comm Managerを開く

1 ［スタート］→［設定］→［接続］タブ→［Comm Manager］をタップ

① フライトモードのオン/オフを切り替えます。フライトモードをオンにすると、電話、Bluetooth®機能、ワイヤレスLANがオフになります。
② 電話機能のオン/オフを切り替えます。着信音やその他の設定を行うには、［スタート］→［設定］→［個人用］タブ→［電話］をタップします。電話設定の詳細は、「電話の設定をカスタマイズする」（▶P.151）をご参照ください。
③ Bluetooth®のオン/オフを切り替えます。E30HTのBluetooth®を設定するには、［スタート］→［設定］→［接続］タブ→［Bluetooth］をタップします。詳しくは、「Bluetooth®について」（▶P.114）をご参照ください。
④ ワイヤレスLAN のオン/オフを切り替えます。［スタート］→［設定］→［接続］タブ →［ワイヤレスLAN］をタップし、E30HTのワイヤレスLANを設定します。
⑤ DirectPush機能のオン/オフを切り替えます。（▶P.81）
⑥ 有効なデータ接続を切断します。（ここでデータ接続をオンにすることはできません）

E30HTを保護する

■PINコードでau ICカードを保護する

PINコードを設定することで、au ICカードが不正にアクセスされるのを防ぐことができます。お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。
後からPINコードを変更することができます。

1 電話画面で[メニュー]→[オプションの表示]→[その他]タブをタップ

2 [電話使用時に暗証番号を入力]をチェック

PINコードは、[暗証番号の変更]をタップして、いつでも変更できます。

3 暗証番号を入力→[ok]をタップ

memo

◎緊急電話番号(110、119、118)はPINコードを入力しなくてもいつでも発信できます。

■パスワードでE30HTを保護する

パスワード保護を利用すると、不正アクセスからE30HTを保護することができます。E30HTの電源を入れるたびにパスワードが要求されるので、E30HTのデータを確実に守ることができます。E30HTを使い始めるときに、独自のパスワードを設定します。

1 [スタート]→[設定]→[個人用]タブ→[ロック]をタップ

2 [パスワード入力が必要になるまでの時間]をチェック→パスワード入力が必要となるまでの時間に「0分」を選択

3 [パスワードの種類]で使用するパスワードの種類を選択→パスワードを入力→確認のためパスワードを再入力

4 [ヒント]タブをタップ→パスワードを忘れた場合のヒントとなる説明を入力

5 [ok]をタップ

次にE30HTの電源を入れたときに、パスワードの入力が要求されます。

memo

◎E30HTがネットワークに接続するよう設定されている場合は、英文字と数字を組み合わせたパスワードを使用するとセキュリティ効果が高まります。
◎他人が考え付きやすいパスワードやヒントは避けてください。
◎「パスワード入力が必要になるまでの時間」に「0分」を設定した場合、無操作状態では1分経過後、スリープを解除したときはすぐにロック状態になります。「0分」以外を設定した場合は、設定した時間無操作の状態が続いたときにロックがかかります。

■パスワード保護を解除する

1 パスワードを要求する画面でパスワードを入力

2 [ロックの解除]をタップ

memo

◎パスワードを忘れてしまった場合は、フォーマット(▶P.158)をしなければE30HTを使用することはできません。この場合、E30HTはお買い上げ時の状態に戻され、登録したデータはすべて消去されます。
◎間違ったパスワードを入力するとE30HTの反応が遅くなります。
◎「ヒント」タブでヒントを登録している場合は、パスワードを5回間違えるとヒントが表示されます。

■ microSDメモリカードのファイルを暗号化する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[暗号化]をタップ

2 [メモリカード内のファイルを暗号化する]をチェック

memo

◎[メモリカード内のファイルを暗号化する]を設定している状態、または以前に設定していた場合は、フォーマットを行う前にmicroSDメモリカード内のすべてのファイルをバックアップしてください。暗号化したmicroSDメモリカードのファイルにアクセスすることができなくなります。microSDメモリカードとパソコン間でファイルを転送するには、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用してください。(▶P.58)
処理が終了したら、ファイルをmicroSDメモリカードにコピーし直してください。
◎暗号化されたファイルはE30HTでのみ確認することができます。
◎E30HTにおいては、暗号化されたファイルは他のファイルと同様、通常の操作で開くことができます。

プログラムの削除

■ プログラムを削除する

自分でインストールしたプログラムのみ、削除することができます。E30HTにあらかじめインストールされているプログラムは削除できません。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[プログラムの削除]をタップ

2 [データ記憶用メモリにあるプログラム]の一覧から削除するプログラムを選択→[削除]をタップ

3 [はい]をタップ→[ok]をタップ

メモリを管理する

プログラムが不安定になったり、プログラムメモリが少なくなってきたら、プログラムを停止してください。

■利用可能なメモリ残量を確認する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[メモリ]をタップ

2 [メイン]タブをタップ

ファイルやデータ用に割り当てられたメモリ容量と、プログラムメモリの容量が表示されます。また、使用済みメモリ容量と残りのメモリ容量も表示されます。

■microSDメモリカードの空き容量を確認する

microSDメモリカードの利用可能な残量を確認することができます。

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[メモリ] をタップ

2 [メモリカード]タブをタップ

■利用可能なメモリの空き容量を増やす

メモリの空き容量を増やすには、次のような方法があります。

- 現在使用していないプログラムを終了します。
- ファイルをmicroSDメモリカードに移動します。[スタート]→[プログラム] →[ファイル エクスプローラー]をタップします。ファイルをタップしたままにし、ポップアップメニューから [切り取り] をタップします。microSDメモリカードのフォルダを参照し、[メニュー]→[編集]→[貼り付け] をタップします。
- 不要なファイルを削除します。[スタート]→[プログラム]→[ファイル エクスプローラー]をタップします。ファイルをタップしたままにし、ポップアップメニューから[削除]をタップします。
- 大きなファイルを削除します。一番大きなファイルを見つけるには、[スタート]→[プログラム]→[検索]をタップします。[種類] の一覧で [64KB より大きいファイル] をタップし[検索]をタップします。
- Internet Explorer Mobileで一時インターネットファイルと履歴情報を消去します。
- 使用していないプログラムを削除します。
- E30HTをリセットします。

■メモリに関するご注意

E30HTのメモリには、各種ファイル、画像、メールを保存するための「データ記憶用」とプログラムを実行するための「プログラム実行用」があります。なお、データ記憶用のメモリが減少すると以下の動作となりますので、「利用可能なメモリの空き容量を増やす」(▶P.155)を参照いただき、データ記憶用メモリの空き容量を確保してください。

- データ記憶用メモリが0.5MB以下になると、警告のポップアップ画面が表示され、各種ファイルおよび画像の保存ができなくなります。(Cメール、電子メールの保存は可能です。)
- データ記憶用メモリがいっぱいになると、Cメール、電子メールはプログラム実行用メモリに保存されます。ただし、受信メールとしては表示されず、この状態で電源を切ると、これらのデータは完全に消去されますのでご注意ください。(データ記憶用メモリの空き容量が確保されると、自動的にデータ記憶用メモリへ移行され、受信メールとして表示されます。)
- データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリがいっぱいになると、Cメール、電子メールが受信できなくなります。(メールサーバーで保管されます。)

タスクマネージャ

タスクマネージャまたはToday画面のクイックメニューから実行中のプログラムを終了し、メモリスペースを解放することができます。

■タスクマネージャを起動する

次のいずれかの方法でタスクマネージャを起動します。

- Today画面右上の をタップしてクイックメニューを表示し、 をタップします。
- [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[タスクマネージャ]をタップします。

■実行中のプログラムを切り替える

次のいずれかの方法で実行中のプログラムを切り替えます。

- クイックメニューからプログラム名をタップします。
- タスクマネージャ画面で[実行]タブをタップし、プログラム名をタップしたまま[アクティブ化]をタップします。

■実行中のプログラムを終了する

お買い上げ時の設定では、各プログラムの終了(✕)ボタンをタップしても、プログラムを終了できません。
次のいずれかの方法で実行中のプログラムを終了します。

- クイックメニューからプログラム名の右にある ✕ をタップします。
- タスクマネージャ画面で終了するプログラムにチェックを入れ、[選択したアイテムを終了]をタップします。

memo

◎すべてのプログラムを終了する場合は、クイックメニューで をタップするか、タスクマネージャ画面で[すべて終了]をタップします。
◎タスクマネージャ画面で[メニュー]をタップして[選択したアイテム以外すべて終了]をタップすると、チェックしたプログラム以外をすべて終了できます。

■プログラムを例外プログラムリストに追加する

例外プログラムリストに追加すると、[選択したアイテムを終了]や[すべて終了]をタップしてもプログラムを終了しないように設定できます。

1 タスクマネージャ画面で[実行]タブをタップ

2 プログラム名をタップしたまま→[例外に追加]をタップ

3 [ok]をタップ

memo

◎例外プログラムリストから削除する場合は、[例外]タブで削除するプログラムにチェックを入れて[削除]をタップします。

■終了(✕)ボタンを設定する

1 タスクマネージャ画面で[ボタン]タブをタップ

2 [“X”ボタンで実行中のプログラムを終了]をチェック

[“X” ボタンで実行中のプログラムを終了]のチェックを外すと、終了ボタンをタップ(または1秒以上タップ)しても画面を閉じるのみで、プログラムを終了することはできません。

3 終了ボタンでプログラムを終了するときの動作を選択

[“X” をタップしてプログラムを終了]を選択した場合、終了ボタンをタップすると、プログラムを終了できます。
[“X” をタップアンドホールドしてプログラムを終了]を選択した場合、終了ボタンを1秒以上タップすると、プログラムを終了できます。

4 [ok]をタップ

■クイックメニューを有効にする

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[タスクマネージャ]→[ボタン]タブをタップ**

2 **[Today画面でクイックメニューを有効化]をチェック**

3 **[ok]をタップ**

memo

◎クイックメニューの詳細については、「クイックメニュー」(▶P.34)をご参照ください。

◎[その他]タブをタップすると、クイックメニューで表示する実行中のプログラムの並び順などを設定できます。

E30HTをリセットする

リセットには、実行中のプログラムを強制終了してE30HTを再起動するソフトリセットと、E30HT内のデータや各種設定内容をすべて削除するフォーマットの2つがあります。

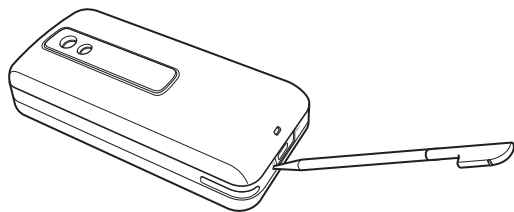
項目	設定	データ
ソフトリセット	削除されない	削除されない(ただし編集中データは削除)
フォーマット	お買い上げ時の状態にリセット	すべて削除(microSDメモリカードのデータを除く)

フォーマットを行うと、連絡先やメールに保存されているメッセージなど、お買い上げ以降に登録されたすべてのデータおよび設定内容は削除されます。

ソフトリセット

E30HTを使用中に、リセットが必要になる場合があります。E30HTをソフトリセットすると、アクティブプログラムメモリがすべて消去され、すべてのプログラムがシャットダウンされます。E30HTの動作が極端に遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりしたときには、ソフトリセットが有効です。また、インストールした後にソフトリセットが必要なプログラムもあります。プログラム実行中にソフトリセットを行うと、保存していない情報はすべて失われます。

■ソフトリセットを行う

底面のリセットボタンをスタイラスで押し込みます。E30HTが再起動し、Today画面が表示されます。

フォーマット

フォーマットは、システムにソフトリセットでは解決できない問題が生じた場合に実行します。フォーマットを実行すると、E30HTはお買い上げ時の状態にリセットされます。ご自身でインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタム設定などはすべて失われます。Windows Mobileソフトウェアと、お買い上げ時にインストールされていたプログラムだけが残ります。

■スタートメニューからフォーマットを行う

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[ストレージをクリア]をタップ

2 "1234"と入力→[はい]をタップ

■強制的にフォーマットを行う

「スタートメニューからフォーマットを行う」の操作でフォーマットできない場合は、以下の操作でフォーマットを行えます。

1 E30HTの電源を切る

2 Enterボタンと音量(下)ボタンを同時に押したまま電源ボタンを長押しして電源を入れる

```
This operation will delete
all your personal data,
and reset all settings
to manufacturer default.
Press VolUp to restore
manufacturer default, or
press other keys to cancel.
```

画面に次のような警告メッセージが表示されるまで、そのまま押し続けてください。
(訳)「フォーマットを行うと、本機の中のすべてのデータや設定内容が削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。音量(上)ボタンを押すとフォーマットを実行します。フォーマットを中止する場合は、音量(上)以外のボタンを押してください。」

3 音量(上)ボタンを押してフォーマットを実行

フォーマットを中止する場合は、その他のキーを押します。

memo

◎フォーマットを行うと、E30HTはお買い上げ時の状態に戻ります。E30HTに後からインストールしたプログラムやユーザーデータなどのバックアップを取ってから実行することをおすすめします。

◎microSDメモリカード内のファイルを暗号化するを設定している状態、または以前に設定していた場合は、フォーマットを行う前にmicroSDメモリカード内のすべてのファイルをバックアップしてください。暗号化したmicroSDメモリカードのファイルにアクセスすることができなくなります。microSDメモリカードとパソコン間でファイルを転送するには、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用してください。処理が終了したら、ファイルをmicroSDメモリカードにコピーし直してください。

システム情報を確認する

E30HTの技術仕様（プロセッサタイプや速度、メモリサイズなど）は[設定]から確認することができます。

■オペレーティングシステムのバージョンを確認する

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[バージョン情報]をタップ**

E30HTのオペレーティングシステムのバージョンは、バージョン情報画面の上方に表示されます。

■E30HTの詳細を確認する

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[バージョン情報]をタップ**

[バージョン]タブに、E30HTのプロセッサタイプ、メモリ容量などの重要な情報が表示されます。

Windows Update

Windows UpdateのWebサイトへリンクし、E30HTのWindows Mobileを最新のセキュリティパッチや修正版に更新します。

memo

◎お買い上げ時は更新ができない場合があります。
◎更新データをダウンロードするにはインターネットに接続する必要があります。

■Windows Updateの設定

初めてWindows Updateを行うときは、更新をチェックする方法を選択する必要があります。

1 **[スタート]→[設定]→[システム]タブ→[Windows Update]をタップ**

2 **更新のセットアップ画面で[次へ]をタップ**

3 **更新をチェックする方法を[手動]／[自動]から選択→[次へ]をタップ**

memo

◎[自動]を選択すると、データ通信プランを使用するかどうかを設定する画面が表示されます。[データプランを使用して更新をチェックし、ダウンロードします]にチェックを入れると、パケット通信によって更新をチェックします。チェックを外すと、パソコンとのUSB接続によるネットワーク経由で更新をチェックします。
契約したプランによってはパケット通信費用がかかります。

4 **[完了]をタップ**

■ Windows Updateの設定を変更する

1 [スタート]→[設定]→[システム]タブ→[Windows Update]をタップ

2 [メニュー]をタップ→変更したい項目を選択

- データプランを使用して更新をチェックするかどうかの設定を変更する場合は、[接続]をタップします。
- 更新をチェックする方法を変更する場合は、[スケジュールの変更]をタップします。

memo

◎ Windows Update画面で[確認する]をタップして更新のチェックを行うこともできます。

電池を節約するには

電池の持続時間は、E30HTの使いかたにより大きく左右されます。次のような方法で電池を節約することができます。

- E30HTを使用していないときは、電源ボタンを押して画面をオフにしておきます。
- Today画面の電池アイコン( )をタップします。電源設定画面の[詳細設定]タブで自動的にE30HTの画面がオフになるタイミングを設定することができます。電池を最大限に節約するには、3分以内の設定を推奨します。
- microSDメモリカードにアクセスしたり、ミニUSB端子に周辺機器を接続している場合、使用しないときは、E30HTから取り外してください。
- バックライトは、必要以上に明るくしないように設定し、用途に合わせて一定時間後に切れるように調整します。詳しくは、「一定時間後にバックライトを消すよう設定する」(▶P.150)をご参照ください。
- Bluetooth®通信機能は、使用していない場合はオフに設定します。また、ペアリングを行うときだけE30HTを検出可能にします。詳しくは、「Bluetooth®について」(▶P.114)をご参照ください。
- ビデオや音楽の再生音量を必要以上に大きくしないようにします。
- 使用していないプログラムは終了してください。プログラムがバックグラウンドで実行しておらず、完全に終了していることを確認します。詳しくは、「タスクマネージャ」(▶P.156)をご参照ください。
- インターネット接続を使用しないときは切断します。メールやインターネットなどの使用後は、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、Comm Manager画面で、データ接続をオフにしてください。(▶P.152)

グローバル機能を設定する

E30HTは、「グローバルパスポートCDMA」に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。
ただし、一部の機能についてはご利用になれません。**また、海外でのご利用はパケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。**

機能／サービス名	海外でのご利用	起動時の利用制限表示	料金に関する警告表示	エリア設定を[日本]から[海外]にすると	参照先
グローバル機能	可	－	あり	－	P.161
電子メール	可	－	あり	－	P.73
Cメール※	可	－	なし	－	P.72
インターネット共有	可	－	－	－	P.93

※ Cメールは受信のみ利用可能です。また、受信料は無料です。

PRL（ローミングエリア情報）の取得方法を設定する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

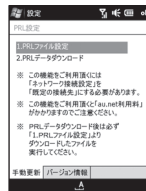
● **渡航前に必ずPRLの更新を行ってください。**

1 [スタート]→[設定]→[接続]タブをタップ

2 [グローバル機能]→[PRL設定]→[手順更新]タブをタップ

3 [2.PRLデータダウンロード]をタップ

PRLデータをダウンロードします。

4 [1.PRLファイル設定]をタップ→PRLデータを設定

◎ PRLのバージョン情報は、[グローバル機能]→[PRL設定]→[バージョン情報]タブで確認できます。
◎ 海外渡航時には、最新のPRLを取得するため、手動で更新・設定してから渡航先でお使いください。
◎ 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
◎ PRLデータのダウンロードにはパケット通信料、およびau.NET利用料が発生します。

エリアを設定する

E30HTを使用するエリアを設定します。

1 [スタート]→[設定]→[接続]タブをタップ

2 [グローバル機能]→[エリア設定]をタップ

3

日本	日本国内でご利用になる場合
海外	海外でご利用になる場合(PRLに従って自動設定)

4 [完了]→[はい]をタップ

memo

◎エリア設定を[海外]に設定すると、待受画面にローミング先が表示され、通話可能な状態のときは が表示され、パケット通信が可能なときは が表示されます。
ブラジルの一部の地域では、パケット通信が利用できない場合でも が表示されることがあります。

◎エリア設定を[海外]に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。

◎複数の機能を起動しているときは、設定の変更ができません。他の機能を終了してから設定してください。

◎日本に帰国後、エリア設定を[日本]に設定してください。

海外で安心してご利用いただくために

ご利用前に必ずお読みください。

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■携帯電話を盗難・紛失したら

速やかにauへご連絡ください。

- 海外で携帯電話を盗難・紛失された場合は、弊社お問い合わせ先まで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様負担になりますのでご注意ください。

第三者による不正利用を防ぐため PIN1コードを設定しましょう。

- au携帯電話に挿入されているauICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外の携帯電話を含みます)に挿入され不正利用される可能性がありますので、PIN1コードを設定されることをおすすめいたします。設定方法はau携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスおよび無料通話付き料金プランの無料通話の対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、通話ボタンを押した時点から通話料がかかる場合があります。

国際電話を利用する

◎ 国際アクセス番号は国によって異なります。

E30HTで海外から日本国内へ電話をかける(グローバルパスポートCDMA)

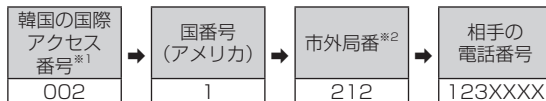
渡航先の国際アクセス番号と、日本の国番号を付加して電話をかけることができます。エリア設定を[海外]に設定し、通話可能なエリアにいる場合のみ操作できます。

1 電話番号を入力→通話ボタンを押す→[はい]をタップ

◎ E30HTを海外でご使用する場合は、あらかじめ設定が必要です。(▶P.161「グローバル機能を設定する」)
◎ 渡航先が不明な場合は、日本国内へ電話をかけるかどうかを確認するポップアップ画面は表示されません。(▶P.162「エリアを設定する」)

E30HTで海外から日本以外の国へ電話をかける(グローバルパスポートCDMA)

例:韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号を入力→通話ボタンを押す

※1 をタップしたままにすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。

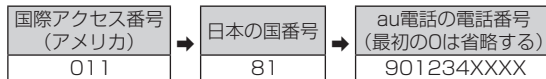
memo

◎ E30HTを海外でご使用する場合は、あらかじめ設定が必要です。エリア設定を[海外]に設定し、通話可能なエリアにいる場合のみ使用できます。(▶P.161「グローバル機能を設定する」)

海外からau電話に電話をかけてもらう

ここで説明するのは、海外にいる相手の方がお客様のau電話に電話をかけるときの操作です。

例:アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→発信

グローバルパスポートCDMA

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ au携帯電話からのお問い合わせ方法(無料)

渡航先の国際アクセス番号 + 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

アジア	
韓国	002-800-00777113
中国	00-800-00777113
香港/タイ	001-800-00777113
マカオ/台湾	00-800-00777113
インドネシア	001-803-81-0235
インド	000800-810-1134

北米/中南米	
アメリカ(本土)	1-877-532-6223
メキシコ※1	01-800-123-0281
バミューダ諸島	1-800-623-2011
ブラジル	0021-800-00777113

オセアニア	
ハワイ	1-877-532-6223
サイパン	811-0064
ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間:24時間(国内通話料がかかります)

※1 KDDIジャパンダイレクトによるお問い合わせとなります。国際電話センターへおつなぎしますので、ダイヤル後にグローバルパスポート担当へコレクトコールでつなぐようお申し出ください。

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 + 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間(国際通話料がかかります)

日本国内からのお問い合わせ

- ●一般電話から 0077 − 7 − 111 (無料)
- ●au携帯電話から 局番なし − 157 (無料)

受付時間 9:00～20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

渡航先の国･地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

	国･地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	韓　国	○	○	50	125	265	70
	中　国	○	○	70	175	265	145
	香　港	○	－	70	175	265	145
	マカオ	○	－	70	175	265	145
	台　湾	○	○	70	175	265	145
	タ　イ※	○	○	70	175	265	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	バングラデシュ	○	－	70	180	280	180
	インド	○	○	70	180	280	180
	イスラエル	○	○	70	260	280	140
北米	アメリカ(本土)	○	○	120	140	210	165
中南米	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	バミューダ諸島	○	－	120	140	210	165
	ジャマイカ	○	－	120	140	210	165
	バハマ	○	－	120	140	210	165
	ベネズエラ	○	－	130	330	330	140
	ペルー	○	－	70	230	280	140
	ブラジル	○	－	80	280	280	140

	国･地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	ニュージーランド	○	－	80	180	280	80

※タイのバンコクおよびその周辺地域ではご利用できません。（2009年3月現在）

memo

- ◎ **最新のグローバルパスポートCDMA対応機種についてはauホームページをご覧ください。**
- ◎ 各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスおよび無料通話付き料金プランの無料通話の対象となりません。
- ◎ **海外で着信した場合でも通話料がかかります。**
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 渡航先でコレクトコール･フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
- ◎ アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国･地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
- ◎ ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
- ◎ 韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
- ◎ 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。
- ◎ 国･地域によっては、通話ボタンを押した時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
- ◎ 2009年3月現在の情報です。

パケットサービスと通信料

■ 海外では以下のパケットサービスがご利用いただけます

インターネット接続	○
Cメール(受信のみ)	○

※ 通信方式:CDMA20001X方式パケット通信(下り最大144Kbps上り最大64Kbpsのベストエフォート。ただし、海外通信事業者の提供速度によります。)

※ Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。

※ 海外での接続プロバイダは、au.NETのみご利用いただけます。(月額使用料945円(税込)※ご利用月のみ発生)

※ 海外でもインターネット共有(▶P.93)をご利用いただけます。ただし、パケット通信料定額サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。

■ パケット通信などの通信料(免税)

パケット通信料	Cメール受信料
0.2円/パケット	無料

※ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます(1パケット=128バイト)。

※ 渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスおよび無料通話付き料金プランの無料通話の対象となりません。

国際アクセス番号&国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国・地域	番号	国・地域	番号
アメリカ本土、ハワイ、プエルトリコ、米領バージン諸島、ジャマイカ、グアム、サイパン、カナダ、バミューダ諸島、バハマ			011
ニュージーランド、中国、マカオ、ベトナム、メキシコ、ペルー、イスラエル、インド、バングラデシュ、ベネズエラ			00
韓国	002	台湾	005
香港、タイ、インドネシア	001	ブラジル	0021

■ 国番号(カントリーコード)

国名	番号	国名	番号
アイルランド(IRL)	353	ドイツ(DEU)	49
アメリカ合衆国(USA)	1	日本(JPN)	81
アラブ首長国連邦(ARE)	971	ニュージーランド(NZL)	64
イギリス(GBR)	44	ノルウェー(NOR)	47
イスラエル(ISR)	972	バミューダ諸島(BMU)	1
イタリア(ITA)	39	ハンガリー(HUN)	36
インド(IND)	91	バングラデシュ(BGD)	880
インドネシア(IDN)	62	フィリピン(PHL)	63
オーストリア(AUT)	43	フィンランド(FIN)	358
オランダ(NLD)	31	ブラジル(BRA)	55
カナダ(CAN)	1	フランス(FRA)	33
韓国(KOR)	82	ベトナム(VIE)	84
ギリシャ(GRC)	30	ペルー(PER)	51
ジャマイカ(JAM)	1	ベルギー(BEL)	32
シンガポール(SGP)	65	ポルトガル(PRT)	351
スイス(CHE)	41	香港(HKG)	852
スウェーデン(SWE)	46	マカオ(MAC)	853
スペイン(ESP)	34	マレーシア(MYS)	60
タイ(THA)	66	メキシコ(MEX)	52

台湾(TWN)	886	ルクセンブルグ(LUX)	352
中国(CHN)	86	ロシア(RUS)	7
デンマーク(DNK)	45		

※ハワイ、プエルトリコ、米領バージン諸島、グアム、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

ご利用上のご注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール・フリーダイヤル・クレジットコール・プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- **国・地域によっては、通話ボタンを押した時点からの課金となる場合があります。**
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau携帯電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関するご注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先での電子メール・Cメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、パケット利用可能なマークの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話のみご利用可能です。
- Cメールのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、Cメールの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がCメールを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- Cメールを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりCメールを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのCメールを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたCメールはCメールセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上のご注意

- 渡航前のPRLファイルのダウンロードにはパケット通信料、およびau.NET利用料がかかります。
- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスおよび無料通話付料金プランの無料通話の対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。

- 各国に対応したプラグもしくはACケーブル（オプション）をご利用ください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートから発信した場合、原則として着信側に発信者番号は通知されません。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」やまったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象にはなりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用いただけますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au携帯電話の電源をOFF/ONすることでご利用可能となる場合があります。

グローバルパスポートGSM

GLOBAL PASSPORT GSM（グローバルパスポートGSM）について

グローバルパスポートGSMとは、au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えてご利用いただく国際ローミングサービスです。いつもの電話番号のまま世界のネットワークで話せます。

E30HTはグローバルパスポートCDMAに対応しています。（▶P.163「E30HTで海外から日本国内へ電話をかける（グローバルパスポートCDMA）」）

グローバルパスポートGSMとグローバルパスポートCDMAの対応エリアについてはauホームページもしくは、auお客様センターにてご確認ください。

- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、GSM携帯電話、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページもしくは、auお客様センターにてご確認ください。

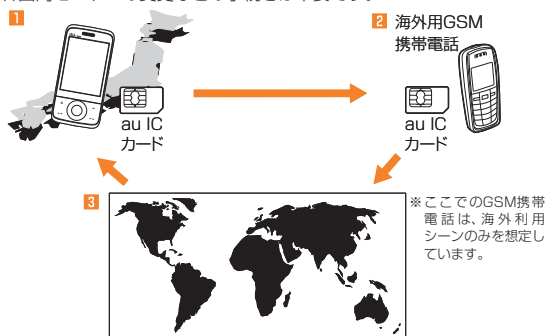
memo

◎ GSMとは、Global System for Mobile Communications の略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

◎ 国際ローミングとは、日本でお使いの携帯電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用イメージ

1. **国内では、au ICカード対応携帯電話としてご利用になれます。**
2. **au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えます。**
3. **世界のGSMネットワークでいつもの番号で話せます。**
4. **帰国したら「au ICカード」をいつもの携帯電話へ戻します。**

★国内モードへの変更などの手続きは不要です。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、E30HTからau ICカードを取り外し、海外用GSM携帯電話の『取扱説明書』に従い、取り付けてください。（▶P.24「au ICカードを取り外す」）

memo

◎ 設定方法はGSM携帯電話のメーカーおよび機種により異なりますので、その『取扱説明書』をご確認ください。
◎ auホームページに記載されているGSM携帯電話以外での本サービスの利用可否、au ICカードの故障、破損などにより、万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましてはKDDI（株）、沖縄セルラー電話（株）では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ 国内でお客様がPINコード入力の必要な設定をしている場合、GSM携帯電話でも同様の入力が必要になります。（▶P.153「PINコードでau ICカードを保護する」）
◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。
◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。携帯電話もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。
◎ グローバルパスポートGSMは、ぷりペイド専用契約の方はご利用になれません。
◎ au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PIN1コードを設定されることをおすすめします。（▶P.153「PINコードでau ICカードを保護する」）

付録

ローマ字→かな変換表

■五十音

あ　A	い　I	う　U	え　E	お　O
か　KA(CA)	き　KI	く　KU	け　KE	こ　KO
さ　SA	し　SI(SHI)	す　SU	せ　SE	そ　SO
た　TA	ち　TI(CHI)	つ　TU(TSU)	て　TE	と　TO
な　NA	に　NI	ぬ　NU	ね　NE	の　NO
は　HA	ひ　HI	ふ　HU(FU)	へ　HE	ほ　HO
ま　MA	み　MI	む　MU	め　ME	も　MO
や　YA		ゆ　YU		よ　YO
ら　RA	り　RI	る　RU	れ　RE	ろ　RO
わ　WA				を　WO
ん　N　(NN)				

■濁音／半濁音

が　GA	ぎ　GI	ぐ　GU	げ　GE	ご　GO
ざ　ZA	じ　ZI	ず　ZU	ぜ　ZE	ぞ　ZO
だ　DA	ぢ　DI	づ　DU	で　DE	ど　DO
ば　BA	び　BI	ぶ　BU	べ　BE	ぼ　BO
ぱ　PA	ぴ　PII	ぷ　PU	ぺ　PE	ぽ　PO
		ヴ　VU		

■拗音1　（ゃ、ゅ、ょ）

きゃ　KYA	きゅ　KYU	きょ　KYO
しゃ　SYA(SHA)	しゅ　SYU(SHU)	しょ　SYO(SHO)
ちゃ　TYA(CHA)	ちゅ　TYU(CHU)	ちょ　TYO(CHO)
にゃ　NYA	にゅ　NYU	にょ　NYO
ひゃ　HYA	ひゅ　HYU	ひょ　HYO
みゃ　MYA	みゅ　MYU	みょ　MYO
りゃ　RYA	りゅ　RYU	りょ　RYO
ぎゃ　GYA	ぎゅ　GYU	ぎょ　GYO
じゃ　ZYA(JA)	じゅ　ZYU(JU)	じょ　ZYO(JO)
ぢゃ　DYA	ぢゅ　DYU	ぢょ　DYO
びゃ　BYA	びゅ　BYU	びょ　BYO
ぴゃ　PYA	ぴゅ　PYU	ぴょ　PYO

■拗音2　（ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ）

くぁ　QA	くぃ　QI	くぅ　QWU	くぇ　QE	くぉ　QO
ぐぁ　GWA	ぐぃ　GWI	ぐぅ　GWU	ぐぇ　GWE	ぐぉ　GWO
つぁ　TSA	つぃ　TSI		つぇ　TSE	つぉ　TSO
ふぁ　FA	ふぃ　FI		ふぇ　FE	ふぉ　FO
ヴぁ　VA	ヴぃ　VI		ヴぇ　VE	ヴぉ　VO

■ 拗音3 （その他）

いぇ　YE	うぇ　WE			
てゃ　THA	てぃ　THI	てゅ　THU	てぇ　THE	てょ　THO
でゃ　DHA	でぃ　DHI	でゅ　DHU	でぇ　DHE	でょ　DHO
ふゃ　FYA		ふゅ　FYU		ふょ　FYO
とぅ　TWU	どぅ　DWU			
ヴゅ　VYU				

■ 小さい文字のみの入力

ぁ　LA(XA)	ぃ　LI(XI)	ぅ　LU(XU)	ぇ　LE(XE)	ぉ　LO(XO)
ゃ　LYA	ゅ　LYU	ょ　LYO	っ　LTU	

■ 「ん」の入力

- 通常は「N」を入力
- 「ん」の次に母音（A, I, U, E, O）またはYが続くとき、文末が「ん」のときは「NN」を入力

例：

KANSEI ー かんせい

TANNI　ー　たんい

KONNYAKU　ー　こんやく

■ 「っ」の入力

- 子音を2 回連続して入力（NとYを除く）

例：

SAKKA　ー　さっか

HASSINN　ー　はっしん

ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターの動作環境

■ ActiveSync

- E30HTをパソコンと接続してデータを同期するためには、パソコンにMicrosoft ActiveSync プログラムがインストールされている必要があります。
- ActiveSync は同梱の「お使いになる前にディスク」に格納されています。
  なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています。(2009年3月現在)

■ オペレーティングシステム

- Windows XP Service Pack 1／2／3
- Windows XP Tablet PC Edition
- Windows XP Media Center Edition
- Windows XP Professional x64 Edition
- Windows 2000 Service Pack 4
- Windows Server 2003 Service Pack 1
- Windows Server 2003 Service Pack 1 for Itanium-powered Systems
- Windows Server 2003 Standard x64 Edition

■ アプリケーション

データの同期（電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り）

- Microsoft Office XP ／ Microsoft Outlook 2002
- Microsoft Office 2003 ／ Microsoft Office Outlook 2003
- Microsoft Office 2007 ／ Microsoft Office Outlook 2007
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- Microsoft Systems Management Server 2.0

Windows Mobile デバイスセンター

- E30HTをWindows Vista 搭載のパソコンと接続してデータを同期するには、Windows Mobile デバイスセンターを利用します。
- Windows Mobile デバイスセンターは同梱の「お使いになる前にディスク」に格納されています。なお、このプログラムは以下のオペレーティングシステムおよびアプリケーションに対応しています(2009年3月現在)。

■オペレーティングシステム

- Windows Vista Ultimate(32ビット/64ビット)
- Windows Vista Enterprise(32ビット/64ビット)
- Windows Vista Business(32ビット/64ビット)
- Windows Vista Home Premium(32ビット/64ビット)
- Windows Vista Home Basic(32ビット/64ビット)

■アプリケーション

データの同期(電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り)
- Microsoft Office XP ／ Microsoft Outlook 2002
- Microsoft Office 2003 ／ Microsoft Office Outlook 2003
- Microsoft Office 2007 ／ Microsoft Office Outlook 2007
- Internet Explorer 7

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
電源ボタンを押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.28
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.25
	電池パックの端子が汚れていませんか？	−
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.28
起動画面表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？ ※電池残量が少ない場合、電源を入れると、起動画面が表示され、しばらくすると画面が消えます。	P.28
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.29
	au ICカードが挿入されていますか？	P.24
	電話番号が間違っていませんか？ (市外局番から入力していますか？)	P.52
	電話番号入力後、通話ボタンを押していますか？	P.52
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.162
	Comm Managerで「電話」がオフになっていませんか？	P.152
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.33
	サービスエリア外にいませんか？	P.33
	電源は入っていますか？	P.29
	au ICカードが挿入されていますか？	P.24
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.162
	Comm Managerで「電話」がオフになっていませんか？	P.152
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.104

こんなときは	ご確認ください	参照
圏外アイコンが表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.33
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	–
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.162
通話ボタンやLEDリングは点滅するが着信音が鳴らない	着信音量が「サイレント」または「マナーモード」（バイブ）に設定されていませんか？	P.42 P.151
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.28
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.25
	ACアダプタの端子などが汚れていませんか？	–
ボタン操作ができない	電源は入っていますか？	P.29
	「ロック」が設定されていませんか？	P.153
au ICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.24
	異なるau ICカードを挿入していませんか？	P.23
充電してください、電池切れなどと表示されて警告音が鳴った	電池残量がほとんどありません。	P.33
電池パックを利用できる時間が短い	電池パックが寿命となっていませんか？	–
	「 」が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.33
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.33
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	–
タッチスクリーンのバックライトがすぐに消える	バックライト点灯時間が短く設定されていませんか？	P.150
相手の方の声が聞こえない	受話音量が小さく設定されていませんか？	P.42
	受話口を耳でふさいでいませんか？	P.20
Bluetooth®対応機器から検出されない	Comm ManagerでBluetooth®の通信機能がオフになっていませんか？	P.152
ワイヤレスLAN（無線LAN）に接続できない	Comm ManagerでワイヤレスLAN機能がオフになっていませんか？	P.152
画面が動かなくなり操作できない	リセットボタンを押してみてください。 電源を自動的にOFFした後、もう一度電源ONになります。編集中のデータは消失される可能性がありますが、保存しているデータは消失されません。	P.158

仕様

■システム情報

プロセッサ	Qualcomm MSM7500 400MHz
メモリ	ROM:512MB RAM:256MB
オペレーティングシステム	Windows Mobile® 6.1 Professional

■電源

電池パック	リチウムイオン電池 1340mAh	
充電時間	約180分	
連続待受時間	国内	約330時間
	国外	約120時間:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土 約220時間:ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/バングラデシュ/バハマ/香港 約340時間:ニュージーランド/タイ/マカオ/ジャマイカ/ペルー/ブラジル/バミューダ諸島/ベネズエラ ※ 対象国は2009年3月時点
連続通話時間	国内	約260分
	国外	約280分:アメリカ本土/メキシコ/サイパン/中国本土/ハワイ/韓国/台湾/インドネシア/イスラエル/インド/ベトナム/ニュージーランド/タイ/マカオ/ジャマイカ/ペルー/ブラジル/バングラデシュ/バミューダ諸島/バハマ/ベネズエラ/香港 ※ 対象国は2009年3月時点
電源電圧入力	AC100-240V 50/60Hz、出力DC5V 1A	

■ディスプレイ

LCD	2.8インチTFT液晶(タッチスクリーン)
解像度	480 × 640 (VGA)

■CDMA

通信方式および帯域	CDMA 1X EV-DO Rev.A(CDMA 1X WIN)
アンテナ	内蔵

■外装

サイズ	(W)約52mm ×(H)約106mm×(D)約18mm (最厚部約18.8mm)
質量	約154g(電池パック・スタイラスを含む)

■カメラ

タイプ	カメラ: 320万画素カラーCMOS	
解像度	フォト	2048 × 1536(3M) 1600 × 1200(2M) 1280 × 960(1M) 640 × 480(大) 320 × 240(中)
	ビデオ	352 × 288(CIF) 320 × 240(大) 176 × 144(中) 128 × 96(小)
デジタルズーム	フォト:最大4倍　ビデオ:最大1.5倍	

■オーディオ

コーデック	AMR/AAC/WAV/WMA/MP3

■外部接続

ミニUSB	USB、シリアル、オーディオ、電源接続用
Bluetooth®	Bluetooth® Ver.2.0 + EDR 準拠
ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g準拠

■拡張スロット

カードスロット	microSD™(最大:2GB)/microSDHC™(SD 2.0準拠)(最大:8GB)

■ACアダプタ

電源電圧	AC100V-240V、50-60Hz
消費電力	15 W
出力電圧/出力電流	5V/1A
充電温度範囲	5℃～ 35℃
サイズ	43mm×78mm×22mm

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種E30HTの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W／kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機E30HTのSARは0.563W／kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

◯ 総務省のホームページ：
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

◯ 社団法人電波産業会のホームページ：
　http://www.arib-emf.org/index02.html

◯ auのホームページ：
　http://www.au.kddi.com

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのE30HT本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています。(月額315円、税込)故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはauお客様センターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記auお客様センターへお問い合わせください。

auお客様センター(紛失・盗難・故障・操作方法について)

一般電話からは　フリーコール0077−7−113(通話料無料)
au電話からは　局番なしの113(通話料無料)

■auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
①保証サービス 注:保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
②修理代金割引サービス 注:水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引 (無料)	お客様負担額 5,250円(税込)
③水濡れ・全損時リニューアルサービス 注:水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円(税込)	お客様負担額 10,500円(税込)
④紛失時あんしんサービス 注:盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引	**フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合**	
	フルサポート解除料 全額免除	フルサポート解除料 お客様負担額 最大10,500円(税込)まで
	新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合	
	新しいau電話購入代金 最大18,000円(税込)OFF	新しいau電話購入代金 最大6,120円(税込)OFF
⑤電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上(または3年以上)継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

◎ 水濡れ･全損はこの対象とはなりません。

◎ お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ･全損時リニューアルサービス

◎ お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎ 「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失･盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎ お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ ご購入から同一のau携帯電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎ 電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年～2年までの間、3年～4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎ 「修理代金割引サービス」「水濡れ･全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1000ポイント進呈します。

※ 1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

索引

数字／アルファベット

あ

い

お

か

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

わ

利用許諾契約

本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。(米国輸出規制により、以下の国々に本機を持ち込むことはできません。(2009年3月現在)キューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリア)

U.S law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries-Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

microSDHC ロゴは商標です。

Operaは、Opera Software ASAの商標または登録商標です。
Operaに関する詳細については、http://jp.opera.comをご参照ください。

JavaおよびJavaに関する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

Powered by JBlend™ Copyright 1997-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、HTC Corporationは、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Mobile®、Windows Vista®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™およびInternet Explorer のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® Word は、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

Adobe®、Reader® は、米国Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

NAVITIMEは、株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。

Scan R®は、米国scanR, Inc.の登録商標です。

walkinghotspot™は米国TapRoot Systems, Inc.の商標です。

本書では各OS (日本語版) を次のように略して表記しています。
Windows®XP は、Microsoft® Windows® XP Professional、またはMicrosoft® Windows® XP Home の略称です。Windows Vista® は、Microsoft® Windows Vista® Ultimate、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® Home Basic の略称です。
その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user’s authority to operate the equipment.

FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human exposure to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

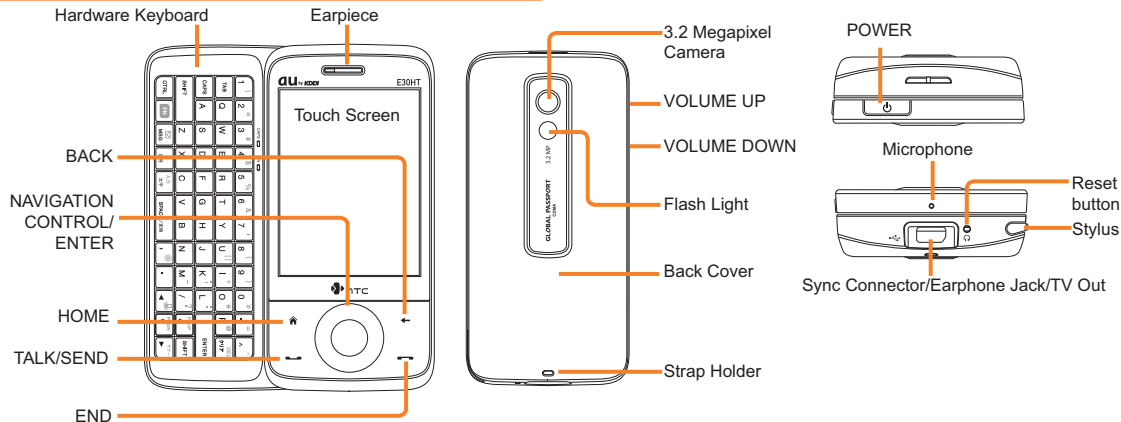
Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.59 inches (1.5 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.59 inches (1.5 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

Simple English Guide （簡易英語版）

E30HT au by KDDI

Turning Power On and Off

Turning Power On

Press [power] for a few seconds.

Turning Power Off

- Press and hold [power] for a few seconds.
- Tap **Yes** when a message prompts you to choose whether or not to turn off the device completely.

Making and Answering a Call

Making a Call

- Press [TALK/SEND].
- Tap the keys on the keypad to enter the phone number.
- Press [TALK/SEND] to place the call.
- Press [END] to end the call.

Answering a Call

- Tap **Answer**, or press [TALK/SEND] to answer the call.
- Tap **Ignore**, or press [END] to reject the call.

Storing and Recalling Address Book Entries

● **Storing an Entry**

▶ From the Today screen, tap **Contacts**.

▶ Tap **New Contact**.

▶ Enter the data for the new contact.

▶ Tap **OK** to save the contact.

● **Recalling an Entry**

▶ From the Today screen, tap **Contacts**.

▶ Scroll up or down the contact list to find the desired contact. Tap the contact name to display contact details.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● **Recording a Movie Clip**

▶ From the Today screen, tap **Start > Programs > Camera**.

▶ Press NAVIGATION right or left to select Video mode .

▶ Touch ENTER to activate auto-focus and then press ENTER to begin recording video.

▶ Press ENTER to stop recording video.

▶ Tap to view the captured video or tap to discard the video.

● **Taking a Snapshot**

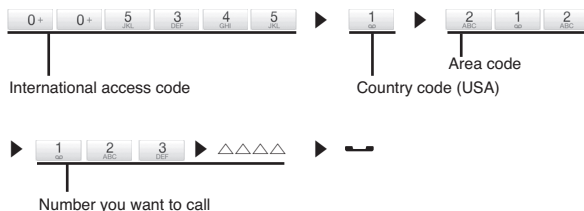
▶ From the Today screen, tap **Start > Programs > Camera**.

▶ NAVIGATION right or left to select Photo mode .

▶ Touch ENTER to activate auto-focus and then press ENTER to take the shot.

▶ Tap to view the captured image or tap to discard the image.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

Other Handy Features

● **Locking the Device**

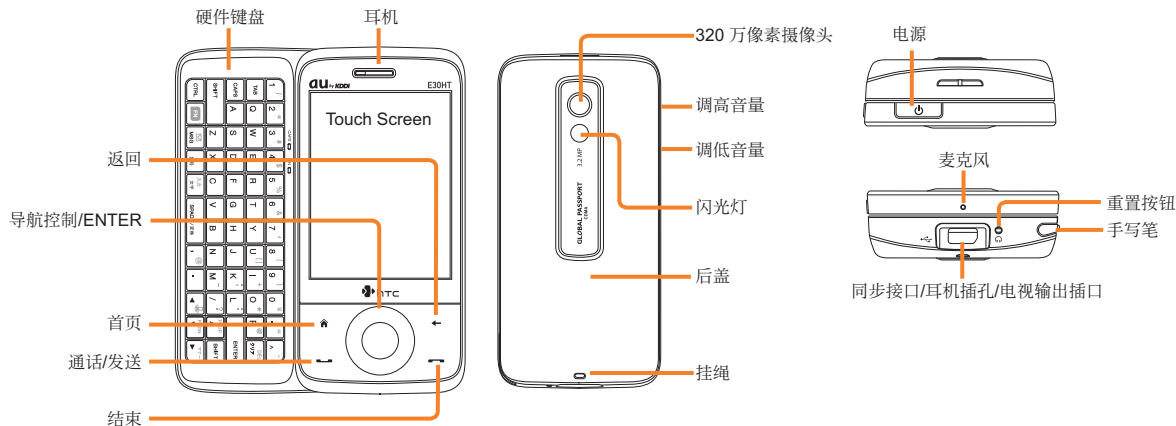
Press and hold to lock the touchscreen and device buttons (except for the POWER button) against accidental presses. Tap unlock on the touchscreen and then tap unlock again to unlock the device.

● **Hardware Volume Control**

Press the volume control buttons on the left side of the device to raise or lower the earpiece volume during a call. When not in a call, use the volume control buttons to raise or lower the device system and ring tone speaker volume.

For inquiries, please contact
au Customer Service Center (General Information)
● If you are calling from a landline phone: 0077-7-111 (toll free)
● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

中文简易说明书 （簡易中国語版）

E30HT au by KDDI

开启或切断电源

● **开机**

按住 ⏻ 几秒钟。

● **关机**

▸ 按住 ⏻ 几秒钟。

▸ 出现要您选择是否彻底关机的提示信息时，轻击**是**。

拨打和接听电话

● **拨打电话**

▸ 按 通话键。

▸ 轻击键盘上的按键输入电话号码。

▸ 按 通话键 拨打电话。

▸ 按 结束键 结束通话。

● **接听电话**

▸ 轻击**接听**，或按 通话键 接听来电。

▸ 轻击**拒绝**，或按 结束键 拒绝接听。

保存和查看电话簿内的名单

● **存储条目**

- 在“今日”画面中，轻击**联系人**。
- 轻击**新建联系人**。
- 输入新联系人的数据。
- 轻击**确定**保存联系人。

● **调用条目**

- 在“今日”画面中，轻击**联系人**。
- 在联系人列表中上下滚动可查找所需联系人。轻击联系人姓名可显示该联系人的详细信息。

使用照相机（动画和快照）

● **录制视频片段**

- 在“今日”画面中，轻击**开始** > **程序** > **相机**。
- 按导航左/右键可选择“视频”模式。
- 轻触 ENTER 激活自动对焦功能，然后按 ENTER 开始录制视频。
- 按 ENTER 可停止视频录制。
- 轻击 可查看拍摄的视频，轻击 则放弃该视频。

● **拍摄快照**

- 在“今日”画面中，轻击**开始** > **程序** > **相机**。
- 按导航左/右键可选择“照片”模式。
- 轻触 ENTER 激活自动对焦功能，然后按 ENTER 拍摄快照。
- 轻击 可查看拍摄的照片，轻击 则放弃该照片。

拨打国际长途电话

例如：拨打美国的 212-123-△△△△

其他手机功能

● **锁定设备**

按住 可锁定触摸屏和设备按钮（电源键除外），避免意外按键的情况。轻击触摸屏上的解锁，然后再次轻击解锁，可解除设备锁定。

● **硬件音量控制**

通话时按设备左侧的音量控制按钮可调高或调低耳机的音量。未通话时，使用音量控制按钮可调高或调低设备系统及铃声的扬声器音量。

如需咨询，请联系

au客户服务中心（一般信息）

● 使用固定电话请拨打：0077-7-111（免费电话）
● 使用手机请拨打：157（免费电话）

お客様各位

このたびはE30HTをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書の記載内容に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに以下訂正させていただきます。

■ USBイヤホンの保留機能に関するお詫び■

●取扱説明書　43ページ

「USBイヤホンについて」の「操作方法」の記載内容において、USBイヤホンの通話ボタンを押すことで保留にできる旨の記載がありますが、実際には保留機能はご利用いただけません。

発売元：　ＫＤＤＩ㈱
沖縄セルラー電話㈱
製造元：HTC Corporation
2009年4月　第1版

お問い合わせ先番号 auお客様センター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話•PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

バーコード記載予定

２００９年３月第1版

発売元：KDDI（株）•沖縄セルラー電話（株）
製造元：HTC Corporation